

第八十一回帝國議會
衆議院

臨時利得稅法中改正法律案外十一件委員會會議錄(速記)第三回

昭和十八年二月三日(水曜日)午前十時十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 松村 光三君

理事川崎巳之太郎君 理事小泉 純也君

理事河野 密君 理事永野 護君

理事藤本 捨助君 理事三木 武夫君

有馬 英治君 池本甚四郎君

小野 義一君 小野 秀一君

川崎末五郎君 勝 正憲君

木村 正義君 九鬼 紋七君

小林 絹治君 紅露 昭君

駒井 重次君 作田高太郎君

田中勝之助君 田下 政治君

中島彌次君 原口 純允君

橋本 祐幸君 一松 定吉君

古河和一郎君 松岡 秀夫君

松永 壽雄君 前田 善治君

正木 清君 山中 義貞君

渡邊善十郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省主税局長 松隈 秀雄君

大藏書記官 池田 勇人君

大藏書記官 平田敬一郎君

專賣局長官 木内 四郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)

臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)

酒稅法中改正法律案(政府提出)

酒造組合法中改正法律案(政府提出)

清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)

取引所稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

物品稅法中改正法律案(政府提出)

遊興飲食稅法中改正法律案(政府提出)

入場稅法中改正法律案(政府提出)

特別行爲稅法案(政府提出)

輸出スル物品ニ對スル内國稅免除又ハ交付金交付ノ停止等ニ關スル法律案(政府提出)

○松村委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス

○河野(密)委員 當局ニハ恐縮ナンドスガ、

細カイ點ヲ二、三御尋ネシタイト思ヒマス、

今度ノ増稅案ハ要綱デ大體分ツテ居リマス

ルヤウニ、目的ハ消費ノ抑制、購買力ノ吸

收ヲ圖ルト共ニ國庫ノ收入ヲ増加シテ戰時

財政ヲ強化スル、斯ウ云フノデアリマス、

サウ云フヤウナ前提ノ目的ノ下ニ、大體方

針ガ六ツゴザイマシテ、戴キマシタ資料ニ

依リマスルト、間接稅ヲ中心ニスル増稅デ、

間接稅トシテ増徵ニナリマス部分ガ、大體

初年度デ十億四千三百餘萬圓、直接稅ノ方

ガ三千八百餘萬圓、其ノ中デ減稅ニナル部

分ガアリマスノデ、差引キマシテ十億七千五

百萬圓、斯ウ云フノガ今度ノ増稅案ノ概略

デアルト思フノデアリマス

ソコデ私ガ御尋ネシタイト思ヒマス第一

ノ點ハ、此ノ方針ノ第一項デアリマス「消

費ノ抑制、購買力ノ吸收ヲ圖ルト共ニ國庫

收入ヲ増加シテ戰時財政ヲ強化スル爲」云

云トアルノデアリマス、私ノ記憶ニ間違ヒ

ガナイナラバ、昭和十六年ノ臨時議會ニ於

キマシテ増稅ヲセラレタ場合ニ、是亦購買

力ノ吸收、消費ノ抑制ヲ圖ルト共ニ歳出増

加ノ財源ノ一部ニ充ツル爲メト、斯ウ云フ

ノデ間接稅ヲ中心ニスル増徵シテ居リマス、

ソレカラ昭和十七年度ノ通常議會ニ於キマ

シテハ、是ハ直接稅ヲ中心ト致シマシテ増

徵ヲシタノデアリマスルガ、其ノ直接稅ヲ

中心トシテ増徵致シマスル際ニハ、昭和十

七年度ニ於テハ國庫ノ收入ヲ圖リ戰時財政

ノ強化ニ努メ、一面購買力ノ吸收ニ資スル

爲メ直接稅ヲ中心トスル増稅ヲ行フコト、

斯ウ云フ方針デ増稅ヲサレテ居ルノデアリ

付託議案

臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)(第一〇號)

臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)(第一號)

酒稅法中改正法律案(政府提出)(第二號)

酒造組合法中改正法律案(政府提出)(第三號)

清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)(第四號)

取引所稅法中改正法律案(政府提出)(第五號)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)(第六號)

物品稅法中改正法律案(政府提出)(第七號)

遊興飲食稅法中改正法律案(政府提出)(第八號)

入場稅法中改正法律案(政府提出)(第九號)

特別行爲稅法案(政府提出)(第二〇號)

輸出スル物品ニ對スル内國稅免除又ハ交付金交付ノ停止等ニ關スル法律案(政府提出)(第二一號)

マス、茲デ私ガ御尋ネシタイト思ヒマスルノハ、間接稅ヲ中心ニシテ増稅サレル場合ニ於テハ、購買力ノ吸收、消費ノ抑制、斯ウ云フコトヲ先ヅ第一ニ御掲ゲニナリ、直接稅ヲ増徵サレル場合ニ於テハ、國庫ノ收入ヲ圖ツテ財政ノ基礎ヲ固クスル、斯ウ云フコトヲ言ハレハ、ソレデ増稅額ハ何レモ十億圓前後デアリマスルガ、ソコデ私ノ疑問ト致シマスルノハ、大藏當局デハ消費稅、所謂間接稅ヲ増徵サレルノハ、大體其ノ狙ヒ所ガ消費ノ抑制ニアリ、購買力ノ吸收ニアル、直接稅ヲ増徵スル場合ニ於テハ國庫ノ收入ヲ圖ツテ、消費ノ抑制トカ購買力ノ吸收トカ云フコトハ間接的ノ狙ヒデアル、斯ウ云フコトニ御考ヘニナツテ居ルヤウニ見エルノデアリマスガ、ソコガ私ハ問題デアルト思フノデアリマシテ、先ヅ第一ニ御尋ネシタイノハ、購買力ノ吸收トカ消費ノ抑制トカヲスルノハ、間接稅ニ依ルノガ宜シイト御考ヘニナツテ居ルノカドウカ、若シサウダトスレバ、是ハ私トハ少シク意見ガ違フノデアリマシテ、其ノ考ヘ方ニ是正シナケレバナライ點ガアルト思フノデアリマスガ、先ヅ其ノ點ヲ御尋ネシタイ

○松隈政府委員 今回ノ間接稅ヲ中心ト致シマスル、平年度約十一億四千五百万圓ニ達シマスル増稅案ノ目的ト致シマスル所ハ、曩ニ大藏大臣ノ御説明モアリマシタ通り、消費ノ抑制、購買力ノ吸收ト、併セテ國庫收入ノ増加ヲ圖ルト云フ目的ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、從來間接稅ヲ中心ト致シマスル増徵ノ際ニ於キマシテハ、消費ノ抑制、購買力ノ吸收ト云フヤウナコトヲ先ニ述べ、國庫收入ノ増加ノ方ヲ後ニ述べ直接稅ヲ中心ト致シマスル増徵ヲ行ヒマスル場合ニハ、財政需要ニ對應シテ國庫收入ノ増加ヲ圖リ、併セテソレニ依ツテ購買力ノ吸收ニモ資シタイ、斯様ニ書イテ居ルノガ通常デゴザイマスガ、大體増徵ノ目的ト致シマシテハ、國庫收入ノ増加ト、ソレニ依ツテ購買力ノ吸收スルト云フコトハ並立の目的トシテ考ヘテ居ルノデアリマシテ、ドツチカ一方ヲ主トスルト云フ考ヘ方デナイノデゴザイマス、唯説明ノアヤトシテ、マア從來間接稅中心ノ場合ニ於テハ消費ノ抑制、購買力ノ吸收カラ書出シ、直接稅ノ場合ニ於テハ其ノ反對ノヤウナ書キ方ヲシテ居ル、斯ウ云フ次第デアリマス、ソレカラ購買力ノ吸收ニ當ツテ、直接稅ノ方ガ宜シイカ間接稅ノ方ガ宜シイカト云フコトニナリマスレバ、直接稅ヲ以テ購買力ノ吸收ヲ圖リマスルコトノ方ガ間接稅ニ依ツテ行ヒマスルヨリモ一層直截簡明デアリマスルコトハ論ヲ俟タナイ所デアラウト思ヒマス

○河野(密)委員 今主稅局長ノ御話デ能ク趣旨ハ分ツタノデアリマスガ、古イ話ヲ持出スヤウデスガ、一昨年間接稅ヲ中心ニシテ増徵スル場合ニモ、購買力ノ吸收スル爲ニハ間接稅ヲ中心ニシテキツタ方ガ宜シイノダ、或ハ其ノ時ノ言譯デアツタカモ存ジマセスガ、サウ云フ意見ガ政府ノ方カラモ言ハレ、ソレカラ之ヲ支持スル側カラモ言ハレタノデアリマス、私ハ其ノ當時カラ、サウ云フ馬鹿ナ議論ハナイノダ、購買力ヲ吸收スルノハ寧ロ直接稅ヲ増徵スルニ如カナイノダ、斯ウ云フコトヲ申シタノデアリマスガ、ソレト符節ヲ合ハセルヤウニ、何時モ間接稅ヲ増加スル場合ニ於テハ消費ノ抑制、購買力ノ吸收、斯ウ云フコトヲ先ニ言ツテ、其ノ目標ヲ中心ニシテ増徵ヲナサルカノヤウニアルノデアリマシテ、其ノ點ハ只今ノ御話デハツキリシタノデアリマスルガ、動モスレバ間接稅ヲ増徵スル方ガ購買力ノ吸收ノ役ニ立ツノダ、斯ウ云フ誤ツタ考ヘ方ヲ私ハ是正シタイト思フノデアリマス、サウ云フ觀點カラ見マスルト、何故直接稅ヲ増徵シナカツタカト云フコトニ付キマシテハ自ラ議論ガ起リ得ルト思フノデアリマス、賀屋大藏大臣ニナリマシテカラ最近デ三遍ノ増稅デアリマスガ、二度トモ間接稅デアリ、一遍ガ直接稅、勿論昭和十五年度ニ於キマシテハ稅制改革ガゴザイマシテ、全面的ナ稅制ノ改革ニ伴フ増稅ガ行ハレタ、併シ昭和十六年度ノ通常議會ニ於キマシテハ遂ニ増稅ト云フモノハナカツタノデアリマス、其ノ年ノ臨時議會ニ於キマシテ、大東亞戰爭ノ直前ニ於テ間接稅ノ増徵ガアツタ、斯ウ云フコトデアリマス、私ハ前主稅當局ニ御尋ネスルノガ妥當デアラウカト思ヒマスルケレドモ、ドウモ考ヘ方ノ何處カニ所謂間接稅ヲ増徵スル方ガ購買力ノ吸收、消費抑制ノ爲ニ宜イノダト云フ考ヘ方ガアルノデハナイカ、斯ウ云フ感ジヲ私ハ強ク持ツノデアリマス、其ノ點ニ付テ重ネテ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○松隈政府委員 間接稅ノ増徵デアリマスルガ、今回ノ増徵ニ當リマシテハ奢侈的分子ノ強イ方面ニ特ニ増徵率ヲ重ク致シテ居リマス、其ノ意味ニ於テ大體負擔力ノ多イモノガ奢侈的消費ノ方ニ資金ヲ向ケ易イノデアリマスルカラ、隨ヒマシテ結果トシテ奢侈的性質ノ強イモノニ重課致シマスレバ、間接稅ノ増徵デアリマスルガ、幾分負擔力ノ關係ヲ考慮シタコトト相成ル譯デアリマス、一例ヲ以テ申上ゲマスレバ、今回ハ酒類ノ増徵ニ當リマシテモ其ノ品質ヲ考慮致シマシテ、從來ハ二階級デアリマシタ清酒ヲ特ニ四階級ニ區分シマシテ、稅率ニ相當ノ差等ヲ設ケルコトニ致シタノデアリマス、サウ致シマスレバ、勢ヒ負擔力ノアル方面ハ増稅率ノ高イ酒類ヲ消費スルコトニナリ、負擔力ノ少イ方面ハ増稅率ノ少イ酒ヲ消費スルコトニナル、殊ニ酒類ノ配給ノ統制ニ當リマシテ、其ノ點ヲ考慮シタヤウナ配給ノ仕方ヲ致スト云フコトニシ、

且ツ昨日モ申上ゲマシタヤウニ、重要産業
勞務者等ニ對シマシテハ、特ニ増稅シナイ
酒ノ配給マデ考ヘルト云フコトニ致シマス
レバ、方針ノ第二ニアリマスルヤウナ負擔
力ノ關係ヲモ考慮シタト云フコトガ言ヒ得
ルカト思フノデアリマス

○河野(密)委員 御趣旨ハ能ク分リマシ
タ、大體私モサウ想像シテ居タ、要スルニ
生活必需品ノ消費ニ對スル課稅ニ付テハ、
之ヲ最モ輕クスル、大衆的ナ奢侈消費ニ對
スル課稅ハ其ノ次、大所得者ノ奢侈ニ對ス
ル課稅ヲ最モ重クスル、斯ウ云フ御趣旨デア
ラウト存ズルノデアリマス、併シコトデ問
題ニナリマスノハ、稅率ガ非常ニ高クナツ
テ參リマスノデ、其ノ稅ノ課カル部分ト課カ
ラナイ部分トノ間ニ於ケル懸隔ト云フモノ
ガ非常ニ大キクナツテ參リマスルト、サウ云
フ考慮ガ果シテドレダケノ效果ガアルダラ
ウカト云フコトニ付テ疑問ヲ持ツノデアリ
マス、今酒ノ例ヲ御引キニナリマシタガ、
ソレハ結局稅ノ方面ノ考慮デナクシテ、酒
ノ配給トガ、サウ云フ方面ノ考慮ニ依ツテ
初メテソレガ可能ニナル、斯ウ思ハレルノ
デアリマス、ソコデ私ハ稅ノ方面デ百分ノ
二百トカ、百分ノ百二十トカト云フヤウナ
モノヲ上ニ課セル、下ノ方ハ百分ノ三十或
ハ百分ノ十デアル、斯ウ云フヤウナコトニ
依ツテ、國民生活ニ對シテ考慮ガ拂ツテア
ルノダト云フ其ノ考ヘ方ヲ私ハ是正シナケ
レバナラヌノデハナイカ、寧ろ是ハ國民ノ
消費生活ニ對スル配給トカ、サウ云フ方面ノ
考慮ガ中心ニナツテ、稅率ニ徒ラニ段階ヲ
澤山付ケタカラシテ、是ガ戰時國民生活ニ對
シテ考慮ガ拂ツタト云フコトニハ相成ラヌ
ト思フノデアリマシテ、是ハ徒ラニ稅法ヲ

複雑ニスルダケデアツテ、政府ノ御狙ヒニ
ナツタ效果ト云フモノハ之ニ依ツテハ私ハ
達成出來ナイ、斯ウ思フノデアリマスガ如
何デアリマスカ

○松隈政府委員 國民ノ戰時生活ヲ確保ス
ルニ當リマシテ、必要物資ヲ初メト致シマシ
テ、其ノ他ノ物資ニ付テモ出來ルダケ配給
ノ適正ヲ圖ルト云フコトハ必要デアリマス、
酒類ノ如キモノニ付キマシテハ、最近數量
モ減ツテ參リマシタノデ、益々之ヲ重點的ニ
必要ナ方面ニ配給スルヤウニ心掛ケテ、其
ノ計畫ヲ致シツアルノデアリマスルガ、
配給ノ徑路ヲ確立シ、配給ヲ合理化スルト
同時ニ、稅率ニ於キマシテモ比較的負擔ニ
餘裕ノアル方面ノ消費致シマスル部面ト、
負擔力ニ比較的餘裕ノ乏シイ方面ノ消費致
シマスルモノニ付キマシテハ、或ル程度差
等ヲ設ケテ區分課稅スルノガ適當ダト思フ
次第デアリマス、尤モ一方徵稅技術ノ關係
モアリマスカラ、餘リ細分致シマスコトハ
官民共ニ其ノ煩ニ堪ヘナイノデアリマスガ、
是ハ程度ノ問題デゴザイマシテ、今回提案
致シテ居リマスル酒類ニ於ケル差等課稅、
或ハ物品稅、遊興飲食稅、入場稅等ニ於テ
設ケマシタ程度ノ稅率ノ段階デアアルナラ
バ、著シク複雑デアルトマデハ言ヒ得ナイ
ノデハナイカト思ツテ居リマス

○河野(密)委員 私が實際ニ工場ノ勞務者
ニ付テ調査シタ所ニ依リマスルト、配給ノ米、
味噌、副食物、酒、鹽トカ配給サレタモノ
ヲ、配給サレタ額ニ依ツテ生活致シマスル
ト、大體一人ノ一箇月間ノ消費ハ十四圓カ
ラ十五圓デアリマス、其ノ程度デ一人ノ勞
務者ハ生活ガ出來ルノデアリマス、所ガ配
給サレタモノダケデ、ソレナラバ榮養ガ足
リ、ソレダケニ依ツテ生活ガ確保サレテ行
クカト申シマスルト、絕對ニ出來マセヌ、
主人ガ、殊ニ働ク勞務者ガ何日カ外デ食ベ
ナケレバ其ノ家ノ家族ノ者ガ食糧ニ困ルト
云フヤウナ狀況デアリマス、ソコデ其ノ勞
務者ガ外デ食事スルト云フコトニ相成リマ
スルト、所謂飲食稅ニ依リマシテ、一寸食
ベルト莫大ナル稅ヲ取ラレ、莫大ナ費用ガ
掛ルノデアリマス、今日工場アタリノ勞務
者ガ實際ニ於テ相當ノ賃金ヲ取リナガラ、
生活ガ樂デナイト云フノハ、其ノ面ニ主ト
シテアルノデアリマス、ソコデサウ云フ飲
食稅ヲ徒ラニ段階的ニスルトカ云フコトニ
依ツテ、サウ云フ問題ガ私ハ解決出來ルノ
デナクシテ、問題ハ寧ろ其ノ配給ノ面ニ於
ケル規正、機構ト云フヤウナモノヲモツト
合理化スルト云フ所ニアルト思フノデアリ
マス、サウ云フ點カラ言ヒマスルト、稅ヲ
幾ラ斯ウ云フ點デ複雑ニシテモ、私ハ其ノ點
ニ對スル戰時下ニ於ケルサウ云フ大衆ノ生
活ト云フ面ニ對シテハ、實際ハ役ニ立タナ
イノデハナイカト云フ感ジヲ強クスルノデ
アリマス、サウ云フ意味合ニ於キマシテ、
是ハ稅ガサウ云フコトマデ餘リニ細カク神
經ヲ使フト云フコト自身ニ無理ガアルノデ
ヤナイカト云フコトヲ強ク感ズルノデアリ
マスガ、其ノ點ニ付テ重ネテ御意見ヲ承リ
タイ

○松隈政府委員 租稅ノ負擔ガ比較的輕イ
時代ニ於キマシテハ、租稅ノ理論ヲ主ト致
シマシテ、只今御話ノヤウニ餘リ多方面ニ
神經ヲ使ハヌデモ宜シイ、斯ウ云フコトガ
言ヘタノデアリマスルガ、段々租稅ノ負擔
ガ重クナツテ參リ、殊ニ今回ノ提案ニ依リ
マシテ、間接稅ノ稅率ハ非常ニ重クナツテ
參リマシタノデ、サウ云フ重イ負擔ヲサセ
ル場合ニ於キマシテハ租稅ノ上ニ於テ幾分
複雑ニスル議リハアルト致シマシテモ、或
ル程度段階ヲ設ケテ、負擔力ニ餘裕アル方
面ノ消費ニ對シテハ思ヒ切ツテ重イ稅率ニ
シ、尙ホソレダケノ課稅デハ十分デアリマ
セヌカラ、戰時下ノ國民生活トシテハ、尙
ホ幾分消費ヲ節約シ得ルヤウナ方面ニ對シ
テモ或ル程度ノ課稅ヲスル、同時ニ配給部
面ニ於キマシテモ出來ルダケ考慮ガ拂フト
云フ風ニ、アレコレ勘案シテ案ヲ立デルト
云フコトガ、今日ノ時世ニ於テハ必要デア
ラウカト思フノデアリマス、尙ホ遊興飲食
稅ノ對象トナル普通ノ飲食ニ付キマシテハ、
只今ノ御話ニモアリマシタヤウニ、勞働者
等ノ外食等ノ關係モ考慮致シマシテ、今回
普通ノ飲食ノ免稅點ト一圓五十錢ト云フノ
ハ据置ニ致シテ居リマスルノデ、特ニ奢侈
的ト認メラレルヤウナ外食デナケレバ、普
通ノ程度デアレバ大體課稅外ニナルデアラ
ウト思ハレマス

○河野(密)委員 其ノ點ハ其ノ程度ニ止メ
マシテ、次ニ三ト四トハ昨日中村三之丞君
カラ詳シク質問ガアリマシタノデ私ハ省略
シマスガ、唯一點特別行爲稅ノ納稅義務者
トハ誰デアアルカト云フ點ト、ソレカラ此ノ
特別行爲稅ト云フモノヲ設ケラレマシタ以
上ハ、物品稅ノ中ニモ、或ハ既ニ實施サレ
テ居リマスル廣告稅ノ如キモノモ、是ハ當
然一本ニサレテ然ルベキモノト思フノデア
リマスルガ、ソレ等ノ點ハ如何デアリマス
カ

○松隈政府委員 特別行爲稅ハ之ヲ間接稅
ト致シマシテ、第一條ニ掲ゲデアリマス寫
眞ノ撮影以下印刷製本ニ至リマス行爲ヲナ

ス業ヲ營ム者カラ之ヲ徵收スルト云フコトニ致シテ居リマス、隨テ納稅義務者ハ是等ノ行爲ヲ營業トシテ居ル者デアリ、擔稅者ハソレ等ノ行爲ヲ營ンデ居ル者ニ依頼スル者、斯ウ云フコトニナリマシマス、尙ホ特別行爲稅ヲ設クルニ當リマシテ、廣告稅又ハ物品稅トノ整理統合ヲ考ヘル必要ガアルノデハナイカト云フ御意見ニ付キマシテハ、見方ニ依ツテハ其ノ通りデアリマス、併シ今回ハソレ等ノモノヲ統一スルト云フコトニナリマス、寧ロ賣上稅ト云ツタヤウナ形ニ致スノガ一番便宜ナノデアリマスガ、現在ノ時期ニ於テ一般賣上稅ヲ創設スベキヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ研究ヲ致シタノデアリマスガ、マダ實行ノ機ニアラズト認メラレマシタノデ、特ニソレ等ノモノヲ統合シテ一ツノ法案トスルコトナク、特別行爲稅ハ之ヲ別個ニ提案シタヤウナ次第デアリマス

○河野(密)委員 其ノ次ハ第五ノ點デアリマスガ、今回ノ増稅ノ對象トナツタ間接稅ノ課稅物件ニ付テハ、増徵稅額ニ相當スル價格ノ引上ヲ認ムルコト云フノデアリマシテ、是ハ大藏大臣ノ説明ニモアツタヤウニ、其ノ増徵額ダケハ引上ゲルコトヲ許ス、増徵額ダケハ引上ゲルコトハ差支ヘナイト云フコトダト思フノデアリマスガ、ソレハ其ノ通りデアアルカドウカ、ソレカラ増徵額ニ限ルノデアツテ、増徵額以上ノ引上ハ許サヌ、斯ウ云フ方針デアアルカドウカ、是モ恐ラク其ノ通りデアルト思ヒマスガ、言明ヲ戴キタイト思ヒマス

○松隈政府委員 今回ノ増稅ニ當リマシテ、方針ノ一ツトシテ増稅ノ對象トナル間接稅ノ課稅物件ニ付キマシテハ、増徵額ニ

相當スル價格ノ引上ヲ認ムルコトニ致スコトニシタノデアリマシテ、是ハ間接稅ノ増徵ヲ致スモノデアリ、其ノ目的トスルコトノ一半ガ消費ノ抑制、購買力ノ吸收ニアル點カラ申シテモ、當然ノコトデアルト思フノデアリマス、此ノ場合ニ問題トナリマスノハ、増徵額ニ相當スル價格ノ引上ハ已ムヲ得ナイトシテモ、ソレニ便乘シテ増徵稅額以上ノ引上ヲ行ツタリ、或ハ増徵ノナイモノノ價格マデ上ゲルト云フヤウナコトガアツテハナリマセヌカラ、其ノ點ニ付キマシテハ、物價ヲ管掌シテ居リマス當局トモ密接ナ連絡ヲ圖リマシテ、十分ニ監督シテ參リタイト思ツテ居リマス、唯此ノ増徵稅額何程ナリヤト云フコトノハツキリ出ナイヤウナ部面モアリマスノデ、ソレ等ニ付テハ殊更慎重ヲ期スル必要ガアルト思フノデアリマス、ソレカラ端數ヲ付ケルト云フヤウナ問題ガ起ツテ參ルノデアリマスガ、價格トシテ端數ヲ付ケニクイ場合ガアルノデアリマス、其ノ場合ニ於テ切下、切捨ノヤウナ問題ノ起ルコトモ已ムヲ得ナイカト思フノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ於テモ若シ數量等或ハ品質等ダ加減出來ルモノハ出來ルダケ其ノ加減マデモ行ヒマシテ、原則トシテ増徵稅額ニ相當スル額以上ノ引上ヲ認メナイヤウニ十分留意シテ參リタイト思ヒマス

○河野(密)委員 第六ノ產業ノ再編成、資金云々ノ點ニ付キマシテハ、適當ノ機會ニ商工大臣ヲ御呼ビ願ツテ其ノ時ニ御質疑申上ゲタイト存ジマス

方針ハ以上ノ通りノコトデ、政府ノ御考ヘニナル點ハ能ク分ツタノデアリマスガ、其ノ次ニ少シク細カイ點ニ付テ御尋

ネシタイト思ヒマス、第二ノ要領ノ點ニ十數目ゴザイマスガ、其ノ第一ノ酒稅デアリマス、酒稅第一級乃至第四級ト云フ區別ヲ御設ケニナツタノデアリマス、是ハ或ル意味カラ言ハバ適當ナコトデゴザイマスルガ、或ル意味カラ言ハバ非常ニムヅカシイコトデアアルノデアリマス、先般事前審査ノ場合ニ、ドウ云フ方法デ此ノ第一級酒カラ第四級酒ヲ區別サレルカト云フコトモ一應御伺ヒシタノデアリマス、「アルコール」分ヲ土臺トシテ糖度ヲ勘案シテ、更ニ専門家ノ利キ酒ニ依ツテ其ノ標準ヲ決メル、斯ウ云フ御話デアアルノデアリマスガ、是ハ非常ニハツキリシテ居ルヤウデアリマシテムヅカシイノデアリマス、既ニ數年前カラ斯ウ云フ議論ハアリマシタ、昭和十二年ノ馬場財政ノ場合ニ於テモサウ云フ議論ガ出タノデアリマスガ、酒ノ上下、良シ惡シヲ區別スル標準ヲ立ルコトハ困難デアアル、斯ウ云フコトデ實ハ實行ノ運ビニ至ラナカツタノデアリマス、然ルニ今回モソレヲ極メテ細分サレテ、一級、二級、三級、四級ト、斯ウ御分ケニナル、斯ウ云フコトハ本當ニ實際問題トシテ可能デアアルカドウカト云フコトニ付テ私ハ疑問ヲ持ツノデアリマス、當局ノ考ヘ方ニ私ハ決シテ反對スル譯デハゴザイマセヌガ、實行困難ナイカト思フノデアリマス、其ノ點ニ付テドウ云フ御用意ガアルカ承リタイト思ヒマス

○松隈政府委員 只今ノ御尋ネハ主トシテ清酒ニ付テ御尋ネデアリマスルカラ、清酒ニ付テ御答ヘ申上ゲタイト思ヒマス、清酒ニ付キマシテ今回第一級酒カラ第四級酒マデノ四階級ニ分ケタノデアアルガ、ソレハドウ云フ標準デ區分スルノデアアルカト云フコ

トデアリマスルガ、第一級酒ハ「アルコール」分十六度以上、原「エキス」分——是ハ大體酒ノ味ノ付ク本ニナル所ノ「エキス」ヲ謂フノデアリマスルガ、三十三度以上、時ニ依ツテハ三十二度ノモノデモ宜イカト思ツテ居リマス、第二級酒ハ「アルコール」分十六度、原「エキス」分三十一度、第三級酒ハ「アルコール」分十五度、原「エキス」分二十九度、第四級酒ハ「アルコール」分十四度、原「エキス」分二十七度ヲ標準ト致シタイト思ツテ居リマス、此ノ品質ノ規格ニ依ツテ一應區分致シマスル上ニ、更ニ第一級酒ト第二級酒トニ付キマシテハ、品質審査ヲ官能審査ノ方法ニ依ツテ行ヒタイト思フノデアリマス、第一級酒ニ付キマシテハ、酒類委員會ノ中央ノ委員會ニ於テソレニ附屬セシメマスル專門ノ審査委員ヲシテ審査セシメテ決定致シタイト思ツテ居リマス、第二級酒ニ付キマシテハ、地方ニ設ケラレ

大體財務局別ニ設ケタイト思ヒマスガ、其ノ審査會ニ於キマシテ同ジク官能審査ニ依ル品質ノ鑑定ヲ行ヒタイト思フノデアリマス、ソレデハ大體下ノ位ノ酒ガ一級酒ト二級酒ニナリ、果シテサウ云フ酒ヲ鑑定スルコトガ出來ルカドウカト云フ問題デアリマスガ、只今ノ酒類ノ級別審査目標ト致シマシテハ、清酒ノ全體ノ生産見込石數ガ百六十萬二千石程度デアリマスルコトハ、昨日申上ゲタ通りデアリマスガ、第一級酒ハ約三%、五万石程度出來ル見込デアリマス、第二級酒ハ約一二%、約二十万石程度、第三級酒ハ約六四%、約百二十万石程度、第四級酒ハ約二〇%程度、三十二万石程度ト見込シテ居リマス、第一級酒ハ其ノ割合ガ全體ノ僅カ三%程度、石數ニシテモ五万石程度

ノ僅カ三%程度、石數ニシテモ五万石程度

デアリマス、是ハ計畫生産ヲ行ハスコトニ
致シテ居リマシテ、從來特等酒トシテ選定
サレテ居ルヤウナ清酒ヲ造ツテ居ル酒造倉又
ハ特等酒ニ將ニ入ラントスル所マデ來テ居
リマスヤウナ酒造倉ヲ選ビマシテ、各酒造
倉ニ於テ從來ノ製造ノ成績ヲモ勘案致シマ
シテ、之ニ付キマシテハ酒造組合中央會ノ
意見モ聽キ、又全國ノ技術者ノ意見モ綜合
致シマシテ、大體各倉毎ニ一級酒ニ當ルモ
ノガ凡ソ幾ラ位ハ出來ルデアラウト云フ見當
ヲ付ケテ、其ノ範圍内ニ於テ計畫生産ヲサ
セマシテ、其ノ品物ヲ集メテ審査ヲ致シマ
スレバ、第一級酒トシテ合格致シマスルモ
ノガ約五万石位アルデアラウト見込デ居
リマス、御參考マデニ現在ノ所デ特等酒ト
シテ認定シテ居リマシテ、特別高價價格ヲ
付ケテ賣ツテ居リマスル酒ヲ申シマス、
約二万三千石バカリデゴザイマス、是ハ非
常ニ嚴選シテ居リマスノデ、此ノ石數ヲ倍
程度マデハ殖ヤシ得ル見込ガアルデアリ
マス、第二級酒ハ先程申上ゲマシタヤウニ、
全體ノ一二%程度デ約二十万石程度ノモノ
デアリマスノデ、此ノ程度ノ酒ハ得ルコト
ガ可能ト思ツテ居リマス、之ニ付キマシテ
モ、大體地方ノ銘醸家ノ倉ヲ選ビマシテ、
從來ノ地方ノ品評會ノ成績等ヲ勘案シテ大
體倉別ニ第二級酒ノ生産ヲ計畫シテ造ツテ
賞フコトニ致シテ居リマス、其ノ中カラ選
定致シマスレバ、此ノ程度ノモノハ得ラレ
ル見込ミデゴザイマス、サウシテ二十万石
程度デアリマスレバ、全國七ツノ財務局別ノ
審査會デ審査シテ等級ガ付ケラレト見込
ンデ居ルデアリマス、第三級酒、第四級酒
ニ付キマシテハ石數モ多イコトデアリマス
ルノデ、是ハ官能審査ハ行ハナイデ成分規
格タケデ決メタイト思フデアリマス、大

部分ノ酒、百二万石程度ノモノハ第三級酒
ニ屬スルデアリマシテ、第四級酒ハ第三
級酒ヲ水デ薄メタ程度ト云フ譯デアリマ
ス、水デ薄メタマスカラ、「アルコール」分モ
下リ「エキス」分モ下ツテ來ル譯デアリマ
ス、是ハ夏分デアリマス「アルコール」分
十四度ノ酒ト云フモノハ倉ヲ出テカラ餘リ
長ク品質ノ保證ハ出來ナイデアリマスル
ガ、冬分デアリマスレバ此ノ程度ノ「アル
コール」分ノ酒デアリマシテモ、相當保存ガ效
クト思ヒマスルノデ、主トシテ冬分ニ付キ
マシテハ第四級酒モ出サセルコトニスル、
昨日モ申シ上ゲマシタヤウニ、清酒ニ付キ
マシテハ約二割減産ニナツテ居リマスノデ、
幾分「アルコール」分ハ薄イト致シマシテモ、
數量ガ或ル程度伸バサレマシテ、餘分ニ配
給サレルコトモ望マシイ次第デアリマスル
カラ、冬分デ品質ニ差支ヘナイヤウナ時ニ
ハ「アルコール」度數ノ少シ下ツタ薄イ酒ニ
シテデモ出來ルダケ多ク配リタイ、是ハ全
ク水ヲ割ルト云フダケノモノデアリマス、
以上申上ゲタヤウナ計畫生産、審査ノ方法
ヲ考ヘテ見マスルニ、大體ニ於テ目下計畫
シテ居リマスル酒類ヲ四階級ニ分ケルコト
ハ實施可能ナリト云フ見透シヲ立テテ居ル
ヤウナ次第デアリマス

○河野(密)委員 一級酒五万石、二級酒二
十万石ト云フコトデアリマスガ、是ハ一體
ウ云フ標準デ御算定ニナルデアリマスガ、
之ヲ特ニ造ラセル必要ガアルト云フヤウナ
御考ヘナノデアリマスガ、場合ニ依レバ斯
様ナモノハ生産ヲ複雑ニシナイデヤツテモ
宜イノデヤナイカト云フヤウナ感ジモスル
ノデアリマスガ、其ノ點ヲ承リタイノト、
ソレカラ一級酒、二級酒、三級酒、四級酒
ト云フノガアリマスガ、是ガ需要者ノ手ニ
渡ル場合ニ於テ、是ハ一級酒デアアル、二級
酒デアアルト云フヤウナコトハ、例ヘバ其ノ
容器等ニ於テ區別ヲ付ケテハツキリ明示ス
ルデアリマスルカ、ソレ等ノ點ハドウ云
フ御用意ガアリマスカ

○松隈政府委員 清酒ニ付キマシテ從來モ
特等酒ト上等酒ト並等酒ト云フヤウナ三通
リノ品物ガ市場ニ出テ居ル譯デアリマス、
清酒ガ減ツタ場合ニ於キマシテ特等酒ノヤ
ウナ比較的米ノ搗減リヲ多クシタヤウナ酒
ヲ造ラナイデ、成ベク搗減リノシナイ方
法デ澤山ノ酒ヲ造ルト云フノモノツノ考ヘ
方デアリマスルガ、清酒ハ御承知ノ通り永
イ沿革ガアルモノデアリマシテ、多年ノ研
究ニ依リマシテ非常ニ醇良ナル優等清酒ヲ
造ツテ居リマシテ、是ハ全ク一種ノ技術ニ
屬スルモノデアリマス、此ノ古典的技術ト
云フモノハ或ル程度之ヲ尊重致シマシテ、
技術ノ保存ヲ圖ル必要モアルト考ヘマシテ、
從來特ニ特等酒ノ製造ヲ繼續シテ參ツタノ
デアリマスガ、今回モ大體從來ノ特等酒ノ
程度ノ石數ヲ或ル程度増シタ程度ニ於テ第
一級酒ヲ認メテ、一方ニ於テ技術ノ保存ヲ
圖リマスルト共ニ、他面此ノ種ノ酒ノ需要
ニモ應ジタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、
其ノ場合ニ於キマシテモ、從來デアリマスル
ト、特等酒ヲ造ルヤウナ場合ニ於キマシテ
ハ相當米ヲ精白致シマシテ、其ノ精白ニ依
ル減少割合ハ或ハ四割、時ニハ五割ニ及ブ
ト云フヤウナコトニナツテ居ツタノデアリ
マスガ、清酒ノ原料デアリマスル米ガ國民
ノ主要食糧デアリ、食糧自給ノ關係カラ嚴重
ナ制約ヲ受ケテ參ツテ居リマスノデ、最近
ニ於キマシテハ搗精歩合ヲ制限致シマシテ、
最高ト雖モ二割五分ヲ超エタイカスト云
フコトニ致シテ居リマス、第一級酒ニ該當

スルモノモ、第二級酒ニ該當スルモノモ最
高ヲ二割五分程度デ押ヘテ居リマス、一方
第三級酒、第四級酒ニ致シマシテモ、平均
致シマスレバ一割三四分程度ノ所マデハ精
白致スノデアリマスルカラ、其ノ間ノ差ハ
大シタ差デハナイ、殊ニ一級酒、二級酒ノ
石數モサウ多クナイノデアリマスガ、之
ニ依ツテ減少スル米ノ量ハ左程重大視シナ
イデモ宜イノデハナイカト斯様ニ考ヘマシ
テ、日本古來ノ銘酒ノ保存ヲ圖ルコトニ致
シタ次第デアリマス、此ノ場合ニ於キマシ
テ一級酒、二級酒ガドウシテ表示サレルカ、
其ノ配給ハ如何ニスルカト云フ御疑問ノ起
ルコトハ當然デアリマスガ、第一級酒、第二級酒
ニ付キマシテハ原則トシテ嚙詰デ配給致シタイ
ト思ヒマス、家庭用ノ配給ハ勿論、業務用
ノ配給ニ付デモ出來ルダケ嚙詰ヲ以テ致シタ
イト思ヒマス、合ハセテ二十五万石程度デ
アリマスレバ、現在ノ嚙ノ状況カラ勘案致
シマシテ、全部ヲ嚙詰ニスルト云フコト
モ可能デアルト思ハレルデアリマス、
但シ嚙ノ状況如何ニ依リマシテ、一部業務
用ニ付キマシテハ樽等ヲ用ヒルコトモ出來
ルカト思ツテ居リマス、尙ホ一級酒、二級
酒ノ配給ニ當リマシテハ、相當稅ガ増徴
サレマシテ價格ガ上ツテ居リマスルノデ、
擔稅力ノ點ヲ考ヘマシテ都會等擔稅力ノ多
イ方面ニ主トシテ配給スルヤウナ配給計畫
ヲ立テタイト思フノデアリマス、其ノ場合末
端配給ニ於テ一級酒、二級酒ガ來タ時ニド
ウ配ツタラ宜イカト云フ問題ガ起ルノデア
リマスガ、此ノ時ニ於テハ或ハ希望ノ申出
ニ依ツテ分ケル、或ハ希望ガ多過ギレバ
抽籤ニ依ルト云フヤウナ方法ニ依ツテ適當
ニ分ケ得ルト思フノデアリマス、尙ホ業務

用酒、殊ニ飲食店、料理店等ニ參リマシタ場合ニ於テ一級酒、二級酒ノ値段ヲ如何ニスルカト云フコト、殊ニ料理店等ニ於キマシテ三級酒、四級酒ノ配給モ受ケルコト云フヤウナ場合ニ立チ至リマスルコト、料理店ハ蠟詰ノ儘客席ニ持運ブト云フヤウナコトガ稀デアリマスルノデ、其ノ間價格ノ混亂ヲ生ジマスルノデ、今回ノ如ク酒ヲ階級別ニ分ケマシタ曉ニ於キマシテハ、業務用ノ酒類ヲ販賣致シマスル店ハ、目下ノ所ニ階級又ハ三階級ニ區別シマシテ、酒類ヲ決メテ配給スルヤウニ致シタラドウカト思フノデアリマス、是等ノ配給ノ細カイ點ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタ酒類委員會ト云フモノヲ稅法上設ケル、其ノ構成、權限等ノ詳細ハ勅令ヲ以テ決メルコトニナツテ居リマスガ、其ノ酒類委員會ニ諮問致シマシテ決メタイト思フノデアリマス、酒類委員會ノ意見モ能ク聽キマシテ、料理屋ヲ或ハ三階級ニシタ方宜イカ、或ハ大キク二階級ニシタ方宜イカト云フ風ナ點ヲ決メマシテ、各料理店ニ於テ出シマス酒ノ階級ヲ、季節等ニ依ツテ分ケル場合モアリマスガ、大體或ル期間ハ一定セシメルコトニ致シマシテ、サウシテソコニ於テ賣出ス酒ノ價格ヲ何等カノ方法ヲ公示サセルヤウニ致シマシテ、消費者ガ所謂胡麻化サレシマフコト云フヤウナコトノナイヤウニ、取締上ノ苦心ヲ拂ツテ參リタイ、斯様ニ存ジテ居ル次第デアリマス

○田中(勝)委員 今ノニ關聯致シマシテ一寸御尋ネ申上ゲタイト思ヒマス、農村等ニ於キマシテハ分量ヲ非常ニ要求スルノデアリマスガ、是ハ勞働階級ニ於テ特ニ然リガラウト思ヒマス、從來ノ行キ方デ見マス、並

等酒デモ分量ヲ餘計ニ欲シイト云フ場合ニ、上等酒シカ配給ハ出來ナイト云ツタヤウナ、結制會社ノ割當ヲ受ケテ居ルヤウナ實情ガアルノデアリマスガ、是等ノコトニ付キマシテハ大體稅務署單位、或ハ縣單位ニ依ツテ適當ニ其ノ地方ノ實情ニ合フヤウニ、配給ノ計畫ガ立テラレルモノデアリマスガ、或ハ政府ノ方カラ上等酒幾ラ並等酒幾ラト云フ割合ヲ御示シナルモノデアリマスガ、其ノ點ヲ一寸御伺ヒヲシテ見タイト思ヒマス

○松隈政府委員 先程モ申上ゲマシタ通り、酒類委員會ト云フモノガ法律上設ケラレルコトニナツテ居リマスノデ、配給ノ大綱ハ中央ニ設ケラレマス酒類委員會ニ於テ決メタイト思フノデアリマス、其ノ場合ニ於キマシテ六大都市デアルトカ、或ハ市制施行地デアルトカ、農村方面デアルトカ云フヤウニ方面ヲ分ケマシテ、一級酒乃至三級酒ヲ如何ナル程度ニ組合ハセテ配ルカト云フ風ナコトニ付キマシテハ、各關係官廳、學識經驗アル者、其ノ他ノ意見モ徵シテ決メルコトニ致シタイト思フノデアリマス、其ノ場合ニ於テ決メマスノハ、大體府縣別ノ配給數量デアルト思フノデアリマスガ、其ノ府縣別ノ配給數量ヲ更ニ當該府縣内ニ於テ如何ニ分ケルカト云フコトニ付キマシテハ、現在モ各縣毎ニ知事ヲ會長ト致シマスル酒類配給協議會ガ設ケラレテ居リマスノデ、今後モ其ノ配給協議會ヲ活用致シマシテ、必要ナ方面ニ必要ナ酒類ノ配給ノ出來マスルヤウニ指導シテ參リタイト思フノデアリマス、農村方面ニ於キマシテハ、擔稅力等ノ關係等カラ第三級酒若シクハ第四級酒ヲ多ク好ムト云フコトニナリマスレバ、

成ベクサウ云フ酒ノ配給ノ出來マスルヤウナ風ニ案ヲ工夫シテ參リタイト思ツテ居リマス

○田中(勝)委員 重要產業勞務者ニハ今日ノ増稅ヲ課セズニ、從來ノ稅率デ以テ若干數量ヲ御分ケニナルト云フヤウナ政府ノ御意圖ノヤウデアリマスガ、之ニ付キマシテ農民トカ、製炭者トカ云フヤウナ者ハ、所謂重要產業勞務者ノ中ニ御入レニナルノデアリマスガ

○松隈政府委員 農民ニ對シマシテモ重點配給ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯農民ニ對シマシテハ、年中萬遍ナク重點的ニ配給スルト云フコトハ困難カト思フノデアリマス、農家戸數モ非常ニ多イコトデアリマスカラ、從來モ農民ニ對シマシテハ一年中時期ヲ限ツテ配給酒ノ特配ヲ行ツテ居リマス、例ヘバ田植ノ場合トカ、或ハ稻刈ノ場合等ニ於キマシテハ、全農家ニ對シテ一戸平均五合程度ノ配給ヲ行ツテ居リマス、ソレカラ昨年ニ於キマシテハ、新穀感謝ニ當リマシテ、特ニ農民ガ酒類ノ製造原料ニナル米ヲ生産シテ下サツタト云フ關係モ考ヘマシテ、一戸平均當リ一升ノ特配ヲ致シテ居リマス、今後モサウ云フ風ニ時期ヲ限リマシテ、或ル程度ノ酒類ヲ特配シテ參ル積リデアリマシテ、其ノ中相當部分ヲ特ニ價格ノ低イ酒ヲ配ルヤウニシテ參リタイト思ヒマス

○松村委員長 田中君宜シウゴザイマスカ——デハ河野君

○河野(密)委員 大體能ク分リマシタガ、其ノ程度ニ統制ヲ強メテ行ケバ、是ハ殆ド酒ノ專賣制ト同ジデアリマスガ、酒ノ專賣制、買上專賣ヲナサツタ方ガ寧ロ事務モ簡捷デアリ、配給モ圓滑ニ行クシ、合理的デハナイカト

思ヒマスガ、政府ハ買上專賣ヲナサル御意思デアリマスカドウカ、其ノ方ガ寧ロ實情ニ即スルノデハナイカト思フノデアリマス、計畫生産、計畫配給ニナレバ、是ハ實質的ニ專賣デアリマスガ、思切ツテ專賣ヲナサツタ方ガ寧ロ宜シイノデハナイカ、ドウ云フ懸念カラ專賣ヲナサラナイノカト云フコトヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○松隈政府委員 酒類ニ付テ專賣ヲ斷行スベキカドウカト云フコトハ、多年政府部内ニ於テ研究ヲ續ケテ參ツテ居ル所デアリマス、今回ハ尙ホ專賣ヲ實施致シテ居リマセマスガ、只今モ申上ゲマシタヤウニ、酒類ノ生産ニ付テモ計畫生産ヲ行ヒ、配給方面ニ付キマシテモ、一方ニ於テ酒造組合法ノ改正等ヲ行ヒ、又酒稅法中ニ於キマシテモ統制ニ關スル規定ヲ強化スル等ノ方法ニ依リマシテ、專賣ニ近イ制度ヲ實施スル所マデ參ツテ居ルノデアリマス、謂ハバ準專賣トデモ言フベキカモ知レナイノデアリマス、ソレナラバ御説ノ通りモウ一步進ンデ專賣マデナゼ行カナカツタカ、斯ウ云フコトデアリマスルガ、ソレニ付テハ種々ノ點ガ考慮サレタノデアリマス、酒類ヲ專賣スルト云フコトデアラナラバ、寧ロ製造專賣マデ行カナケレバ趣旨モ徹底致シマセヌシ、ソレニ依ル增收モ多クヲ期待シ得ナイノデアリマス、所ガ清酒ノヤウナ製造技術ガ非常ニ區々デアツテ困難ヲ伴フモノガアリ、且ツ其ノ貯藏運搬中ノ腐敗變味等ノ危險ヲ多分ニ持ツテ居ルモノニ付テ製造專賣ヲ致スト云フコトハ、尙ホ十分考ヘナケレバナリマセヌシ、又製造專賣ニ移行スルトナリマスレバ、製造設備ノ買上等ノ爲ニ公債モ増發シナケレバナラス、更ニ政府ニ於テ或ル

程度ノ製造工場ナリ倉庫ナリ増設スルト云フヤウナコトカラ、物資モ使フト云フヤウナコトニナリマスノデ、ソコマデハ行キ得ナカツタノデアリマス、販賣專賣ナラバ實行シ易イデハナイカト云フノデアリマスガ、販賣專賣ニ致シマシタノデハ増收ノ上ニ於テ多クヲ期待シ得マセヌノミナラズ、販賣專賣ヲ行フト致シマシテモ、酒類、特ニ清酒ノ如キモノニ付キマシテハ、前申述ベマシタヤウナ品質ノ確保ト云フコトニ付テ中々困難ナ問題ガゴザイマスノデ、政府ニ於テ全責任ヲ以テ販賣專賣ヲ行フト云フノニハ尙ホ慎重考慮ヲ要スルノデハナイカ、斯様ニ考ヘタノデアリマス、又販賣專賣ニ致シマシタ所デ、之ヲ實行スルト云フコトニナリマスト相當官吏ノ増員モ致スノデアリマス、民間デ從事シテ居ツタ者ヲ官吏ニ組替ヘルト致シマシテモ、或ル程度官吏ノ數モ増加スルト云フヤウナコトニナツテ參リマスシ、又專賣トナリマス、民間ニ於テ行フヨリモ蠟燭ハ箱、繩其ノ他ノ資材ヲ要スルコトガ勢ヒ殖エテ參リマスルノデ、目下ノヤウナ時期ニ於テハ之ヲ出來ルダケ避ケル方ガ宜シカラウト考ヘテ、一方民間ノ機構ヲ整備致シマシテ、其ノ統制ヲ強化致シマスレバ、強ヒテ政府ノ專賣マデシナクテモ大體ニ於テ目的ヲ達シ得ルナラバ、此ノ方ガ目下ノ時局トシテハ賢明ナ策デハナカラウト考ヘマシテ、今回程度ノ改正案ニ致シテ提案シテ居ルヤウナ次第デアリマス

ラ見デモ合理的ダト思フノデアリマスガ、是ハ篤ト御研究ヲ願フコトニ致シマス其ノ次ニ今度酒造組合法ヲ御改正ニナツテ、酒造組合、酒販賣組合ト云フモノヲ御作リニナルノデアリマスガ、是ハ國策ニ協力スルト云フ團體ニナツテ居リマスガ、其ノ性格ハ大體今度商工省ガ提案サレテ居ル商工組合法、アレト同ジモノデアル、商工組合法ニ謂フ統制組合デアルト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ宜シイノデアリマセウカ

○松隈政府委員 今回酒造組合法ノ改正ニ依リマシテ、販賣部面ニ於キマス販賣業者ヲシテ酒販賣組合ヲ結成セシメルコトニ致シテ居リマスルガ、其ノ性格ハ非常ニ統制會ニ似テ居ルノデアリマスガ、單ニ統制ノミヲ行フノデナクテ、或ル程度業者ノ共同ノ施設モ行ヒ得ルト云フコトニ相成ツテ居ル次第デアリマス

○河野(密)委員 サウスルト商工省デ出シタ商工組合法トハ少シク違フ、アノ統制組合ニ依リマス、大體統制ノ爲ニ必要ナル統制事業及ビ經濟行爲ヲ營ムコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマスガ、其ノ程度ヨリハモウ少シ進シテ居ル、施設組合ノ性格ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ宜シイノデアリマスカ

○松隈政府委員 組合ノ目的ノ所ニハ、例ヘバ酒造組合デアリマス、酒類製造業ノ整備發達ヲ圖ルト云フコトヲ書イテ居リマスノデ、或ル程度利益團體タル色彩モ殘ツテ居ルノデアリマスガ、又一面酒造業ノ統制運營ヲ圖リ且ツ當該事業ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トスト書イテ居リマスノデ、是等ノ點ハ商工組合法ニ於キマスル商工統制會ト全ク同一ノ様相ヲ備ヘテ

居ル譯デアリマス、ソレカラ事業ノ中ヲ見マシテモ「組合員ノ當該事業ニ關スル統制指導」ト云フヲ眞先ニ掲ゲテ居リマスルガ、尙ホ事業ノ中ニハ「組合員ノ當該事業ニ關スル共同施設」ト云フヤウナモノモ掲ゲラレテ居ルヤウナ次第デアリマス

○河野(密)委員 其ノ點ハ其ノ程度ニシマシテ、次ニ物品稅ニ付テ御尋ネシタイト思フノデアリマス、物品稅ニ今度丁類ト云フモノヲ御設ケニナリマシテ、丁類ノ中ニ新シク一番最後ノ四十九ノ所ニ「滋養強壯劑及口中劑」トアツテ、是ガ新タニ課稅サルルコトニ相成ツタノデアリマス、此ノ滋養強壯劑及ビ口中劑、例ヘバ養命酒トカ或ハ仁丹トカ云フヤウナモノヲ御考ヘニナツタノダラウト思ヒマスガ、此ノ滋養強壯劑及ビ口中劑ト云フコトヲ御考ヘニナルナラバ、一歩進シテ賣藥全體ト云フモノニ對スル課稅、新藥新製劑等ニ對スル課稅ト云フコトヲ當然御考ヘニナツテモ宜カラウト思フノデアリマスガ、賣藥課稅ト云フモノニ付テハドウ御考ヘニナツテ居リマスルカ、御尋ネシタイトデアリマス

○松隈政府委員 今回物品稅法ノ改正ニ依リマシテ、第二種丁類ニ「滋養強壯劑及口中劑」ヲ加ヘタノデアリマスガ、是ハ「ヴィタミン」劑、「ホルモン」劑、人參製劑、其ノ他之ニ類スル滋養強壯劑ニ課稅致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、補血劑トカ變質強壯劑ノヤウナモノハ、其ノ特殊ノ目的ニ鑑ミテ、課稅致サナイ積リデアリマス、ソレカラ口中劑ト致シマシテハ仁丹、清心丹等ノ口中劑デアリマスコトハ御示シノ通りデアリマス、尙ホ此ノ場合ニ於キマシテモ、同ジク「ヴィタミン」劑等デアリマシテモ、注

射藥其ノ他專ラ醫師ノ使用スルモノハ課稅外ニ置キタイト思ツテ居ルノデアリマス、以上説明申シマシタ所ニ依リマシテ御承知ノ如ク、病氣ヲ治ス方面ヲ主眼ニシテ居リマスル所謂藥劑ト云フモノニ對シテハ今回課稅致サナイコトニシテ居ルノデアリマス、之ヲ擴張致シマス、新藥、新製劑、賣藥、賣藥部外品、其ノ何レモ課稅シテモ宜イノデハナイカト云フ議論ハ出ルノデアリマスガ、賣藥ニ對シマスル課稅ハ曾テアツタノデアリマスガ、是ハ惡稅ノ一ツトシテ非難攻撃ガアツタコトハ御承知ノ通りデアリマス、今日ト雖モ新藥デアラウト、賣藥デアラウト、賣藥部外品デアラウト、全部ニ課稅致シマス、現在其ノ區別ハ届出者ノ届出ニ依ツテ分レテ居リマシテ、隨テ名前ダケデ、主トシテ滋養強壯劑デ、ソレヲ飲マズデモ宜イケレドモ、飲メバ尙ホ宜イト云フヤウナ程度ノモノガ何處ニ入ツテ居ルカト云フコトハ區々ナノデアリマス、ソコデ只今御示シノヤウナ方法ヲ以テ課稅致シマス、分界ガ不明瞭ノ爲ニ課稅上不均衡ヲ來シマスノデ、茲ニ滋養強壯劑及ビ口中劑トシテ掲ゲテ、其ノ細目ハ大體私ガ只今申述ベタヤウナコトハ勅令ヲ以テ指定シタイト思ツテ居リマス、尙ホ此ノ場合ニ於キマシテモ、同ジク「ヴィタミン」劑等ニアリマシテモ、例ヘバ國民學校ノ兒童デアルトカ、或ハ勞務者等ニ特別ノ組織ヲ以テ配給致シマスモノガアリマス、是ハ勞務者ノ身體ヲ特ニ強壯ニシテ生産力ヲ増強セシメル必要ガアル、國民學校ノ虛弱兒童ヲ丈夫ニスル爲ニ肝油ヲ飲マセルト云フヤウナ特殊徑路ヲ以テ兒童及ビ勞務者等ニ配給致サレマスモノニ付テハ特ニ課稅カラ除外スルヤウニ

取扱ヒタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○河野(密)委員 御趣旨ハ能ク分リマシタガ、今度御承知ノヤウニ藥事ニ關スル法律案ガ提案サレテ居リマシテ、從來アツタ賣藥ト新藥、新製劑トカ云フヤウナモノノ區別ハ全然撤廢スルコトニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ意味カラ見マシテモ、中々課稅對象ニナルモノト對象ニナルモノカラ除外サレルモノトノ區別ガ困難デハナイカト思フノデアリマス、限界點ガ段々不明確ニナルノデアリカト考ヘラレマスノデ、私ハ賣藥ニ對スル課稅ヲ撤廢サレタ會デノ趣旨ハ能ク分ツテ居リマスガ、是ダケ凡ユル方面ニ互ツテ、食料品ノヤウナモノニモ相當課稅サレテ居ル、藥ト食料品トドチラガ大切カト云フヤウナコトモ考ヘラレルノデアリマシテ、サウ云フヤウナ點カラ考ヘテ見マス、是ハ御考ヘニナル方ガ寧ロ妥當デハナイカト思フノデアリマスガ、如何デアリマセウカ

○松隈政府委員 滋養強壯劑、口中劑等ニ至リマシテハ、純粹ノ病氣ヲ治ス藥ト、弱者ヲ強クスル、或ハ強イ者ヲ更ニ強クスルト云ツタヤウナ境ガ非常ニ引キニクイノデアリマシテ、其ノ兩極端ヲ捉ヘレバ、片方ハ藥トシテ課稅ナシカスルノハ妥當デナイ、片方ハ奢侈品ニ類スルヤウナモノデアツテ課稅シタツテ差支ナイ、サウ云フモノヲ消費スルモノハ比較的負擔力ニ餘裕ノアル階級ダ、斯ウ言ヘルノデアリマスガ、其ノ境目ガ非常ニ切リニクイ爲ニ、從來モ物品稅ニ追加シヨウトシテ何回カ考慮シタノデ、アリマスガ、容易ニ實現ヲ見ナカッタノデアリマス、今回ハ此ノ程度ニ法律ニ掲ゲマシテ、其ノ内容ニ付テハ勅令ヲ以テ先程

申上ダタヤウナ範圍ニ於テ指定シテ參リタイト思フノデアリマスガ、一方藥事法案ノ通過ヲ見マシテ、滋養強壯劑ト純粹ノ藥品トノ間ノ限界ガ或ル程度明瞭ニナツテ參リマスルナラバ、先程來申シテ居リマスヤウニ、純粹ノ藥品ノ部分ニハ課カラズ、滋養強壯劑、口中劑ニ對スル部分ハ出來ルダケ課稅範圍ニ入ルヤウニ考慮シマシテ、將來十分研究スルコトニ致シマス

○河野(密)委員 次ニ特別行爲稅ノ一ツニ付テ御尋ネシタイト思ヒマス、織物衣類ノ染色、仕立ト云フモノニ付テ、昨日モ中村君カラ其ノ點ニモ觸レタノデアリマスガ、現在織物業者ト云フカ、呉服屋ガ非常ニ轉職ヲシマシテ、東京アタリデハ所謂悉皆屋ト云フモノニ非常ニナツテ居リマス、此ノ織物衣類ノ染色、仕立ト云フコトニナリマス、其ノ染色捺染ノ方面ノ何處ノ部分ニ課稅サレルカト云フコトニ付テハ中々明確デナイノデアリマスガ、所謂古イ反物ノ色ヲ抜イテ、ソレヲ又染色シテ新シイ反物ヲ作ルヤウナ場合ニ於テ、ドノ段階ニ課稅ヲスルノデアルカ、幾ツカノ工程ヲ經テ居リマス、其ノ工程ノ何處ノ所ノ部分ヲヤツタ者ガ稅ヲ納メルノデアルカ、其ノ點非常ニ細カイ問題デアリマスガ、御示シテ願ヒタイト思フノデアリマス

○松隈政府委員 織物及ビ被服類ノ染色等ニ付キマシテハ、染色ニ附帶シテナス各種ノ行爲ガアルノデアリマス、例ヘバ染色ニ附帶シテ、精練ヲスル、防水加工ヲスル、ソレカラ只今御話ノ染色品ノ脱色ヲスル、湯伸ヲスルト云フヤウナコトマデ含ンデ居ルノデアリマスガ、ソレ等ノ附帶スル行爲ノ爲ニ徵收スル料金ヲ含ミマシテ、織物ノ染

色ニ關シテ行爲ノ代價トシテ取得スベキ金額全體ヲ課稅標準トスル次第デアリマス、デアリマスカラ一ツノ古着ヲ出シテ、其ノ元ノ色ヲ脱色シテ、ソレヲ湯伸ヲシテ、サウシテ新シク染メテ、其ノ上ニ防水加工ヲスル、サウシテ其ノ全體ノ代金ガ二十圓デアツタト云フコトデアレバ、其ノ二十圓ニ對シテ課稅スル、斯ウ云フ譯デアリマス

○河野(密)委員 サウ致シマス、其ノ途中ニ於テ、例ヘバ脱色スル場合、ソレヲ特殊ナ人ニ業者カラ業者ニ又下請サセルヤウナ場合デアツテモ、ソレハ最初ニ請ケタ者ガ一括シテ拂フト云フコトニナル譯デセウカ

○松隈政府委員 御話ノ通りデアリマス

○河野(密)委員 分リマシタ、次ニ物品稅ノ方ニ付テ洋服ト云フヤウナモノト、今度特別行爲稅ニ付テ課稅ヲスル場合ト、其ノ權衡上如何ナモノカト思ハレルノデアリマスガ、權衡ノ點ニ付テ十分御考慮ニナツテ居リマスカドウカ、其ノ點ヲ承リタイト思ヒマス

○松隈政府委員 物品稅ト特別行爲稅トニ付キマシテ權衡ノ問題ハ主トシテ免稅點ノ點ニアルト思フノデアリマスガ、其ノ中デ問題ニナリマス洋服ニ付テ申上ゲマス、物品稅ノ洋服背廣三ツ揃ニ付キマシテハ從來一組七十圓デアリマスガ、今回、勅令ハマダ提案シテ居リマセヌガ、近ク御示シ致シマスル勅令案ニ依リマス、七十圓ヲ六十圓程度ニ引下ゲタイト思ツテ居ルノデアリマス、物品稅ノ課カラナイヤウナ洋服ニ對シマシテ、ソレト同ジヤウナ洋服生地ヲ持ツテ居リマシテ仕立ダケヲ頼ミマシタ場合ニ、仕立ニ對シテ特別行爲稅ガ課カルト云フコトデハ御話ノヤウニ物品稅ト特別行爲稅ト權衡ヲ得マセヌカラ、大體洋服ニ

付キマシテ背廣三ツ揃二十五圓ト云フ仕立ノ場合ノ免稅點ヲ置キマスレバ、物品稅ノ課カラナイ程度ノ洋服ハ仕立ダケヲ頼ンダト致シマシテモ、課稅ニナラナイヤウニナルカト思ツテ居リマス、一應持ツテ居リマスル調ベニ依リマス、背廣三ツ揃販賣價格六十圓ノモノハ表生地代ガ二十五圓、裏地代ガ八圓、ソレカラ附屬工料トシテ二十七圓ト云フコトニナツテ居リマス、此ノ附屬工料ト云フノガ仕立ニ當ルノデアリマスガ、洋服ノ場合ニ於テハ裏地代ハ引イテ課稅スルト云フコトハ、昨日御示シ致シマシタ命令案ニモアル所デアリマスカラ、裏地代ノ八圓ト云フモノヲ引イテ、附屬工料ヲ考ヘマスレバ、大體此ノ場合ニ於テ二十五圓ト云フ免稅點ニ依ツテ課稅ニナラナイ、斯ウ云フ風ナ權衡ヲ取ツテ居リマス

○河野(密)委員 ソレカラ特別行爲稅デアリマスルカラ、洋服ヲ仕立直シマス、更生サセルト云フコトモ當然一組二十五圓ヲ超過スル場合ニ於テハ、其ノ中ニ含マレルモノト承知シテ宜シイノデアリマスガ

○松隈政府委員 古イ洋服ヲ仕立直ス場合ニモ色々ノ場合ガアリマシテ、單ニ裏ガ切レタカラ裏ヲ取替ヘルト云フヤウナ程度デアレバ、此ノ仕立ニハ入ラナイノデアリマス、全體ヲ解キホドシテ、所謂裏返シヲスルト云フヤウナコトヲ言ツテ居リマスガ、アア云フ程度ノコトヲスレバソレハ仕立ニ入リマス、其ノ場合ニ於テ三ツ揃ヒノ洋服デ二十五圓以上ノ仕立代ニナルト云フコトニナレバ、課稅サレル譯デアリマス

○松村委員長 ソレデハ暫時休憩致シマシテ、午後一時カラ引續キ開會致シマス

午前十一時四十五分休憩

午後一時八分開議

○松村委員長 休憩前ニ引續き會議ヲ開キマス——駒井君

○駒井委員 昨日ノ中村委員モ一寸觸レラレタノデアリマスガ、租税ノ新シイ理念ト申シマスガ、ソレニ付テ明確ナル解釋ヲ御與ヘニナル方宜イノデハナイカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、賀屋大藏大臣モ從來時々租税ニ對スル新シイ理念ニ付テ少シツツ觸レテ居ラレルヤウデアリマスガ、併シ是モ餘リ明確ニ御示シナツタコトハナイヤウデアリマス、舊來ノ租税ト云フモノハ應能負擔ヲ基準トシタ租税デアリマス、ソレガ今日ノ租税ハ或ハ消費抑制、或ハ購買力ノ吸收、更ニ進ンデハ生産力増強ヲ基準トスル租税ニ移行シツアルト言ハレテ居リマス、又或ル人ハ、收入第一主義ノ租税カラ、餘剩購買力吸收ヲ第一主義トスル租税ニ轉換シテ居ルノダト云フ議論モアリマス、又租税ニ付テノ權利義務ノ觀念ヲ拂拭シヨウト云フ意見モゴザイマス、其ノ議論ノ是非ハ兎モ角ト致シマシテ、主税當局ガ此ノ租税ニ對スル新シイ理念ヲ明確ニ御示シニナルコトガ宜イコトダト考ヘマスノデ、若シ主税局長ニ御意見、御解釋ガゴザイマシタラバ御聽カセテ願ヒタイト思ヒマス

於キマシテハ、租税ハ單ニ負擔力ニ應ズル課税ヲスルト云フノミデハ足りナクテ、他ノ各種ノ國家ノ重要政策ト適當ナル調整ヲ執ルト云フ必要ガ出テ參ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ應能負擔ノ原則カラ申シマスレバ、モツト重ク課税ヲシテモ宜シイト云フヤウナ場合ニ於キマシテモ、他ノ政策ヲ遂行スルニ支障ガアル、或ハ他ノ政策ヲ遂行スル援助ヲ致シマスル爲ニハ、特ニ租税ヲ輕減免除スルト云フヤウナ政策モ執ラレテ參ツテ來テ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、今回ニ於キマシテモ、租税ノ負擔力ノ點カラ申シマスレバ果シテ如何カト思ハレルヤウナ場合ニ於キマシテモ、他ノ經濟諸政策トノ調和ヲ圖ル意味カラ致シマシテ、廣ク臨時租税措置法ニモ改正ヲ加ヘテ提案致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、併シナガラ昨日モ大藏大臣カラ御話ノアリマシタ如ク、租税ノ様相ガ或ル程度變ツテハ參リマシタケレドモ、租税ニ於ケル應能負擔ノ原則ト云フモノヲ全ク一擲シテシマツテ、弊端ノ如ク顧ミザルト云フコトハ出來ナイコトデアリマシテ、又ソレハ結局戰時下ニ於キマシテ國民ニ租税ヲ通ジテ國家ニ御奉公セシメル所以デモアリマセヌノデ、租税ノ負擔力ト云フコトガ今日依然トシテ重要ニ持タナケレバナラヌト云フコトハ、是亦當然ノコトト思ハレル次第デアリマス

○駒井委員 來年度ハ恐ラク更ニ増税案ガ提案セラレルト思フノデアリマスルガ、其ノ際ニ於キマシテハ、ヨリ一層此ノ新シイ理念ヲ採入セラレテ増税案ヲ組立テラレルコトガ必要ダト實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、今回ノ増税案ノ態様ヲ拜見致シマスト、大體ニ於テハ新シイ考ヘ方ガ多分ニ採入セラレテ居リマスノデ、其ノ點ハ非常ニ満足ト考ヘル次第デアリマス、唯實際問題ト致シマシテ、是ガ運用ニ當ツテ果シテ政府ノ考ヘテ居ラレルヤウナ結果ヲ得ラレルカドウカ、或ハ法律ノ期待シテ居ル結果ヲ得ラレルカドウカト云フコトニ付テハ多分ノ疑念ガ存スルノデアリマス、其ノ一ツハ此ノ徵稅ニ關スル經費ノ問題デアリマスガ、從來増稅ガ行ハレル、然ルニ財務局或ハ稅務署ニ對スル經費ノ配分ハ此ノ増稅ニ要スルダケノモノヲ配分セラレナイカノ如キ感ジヲ致スノデアリマス、此ノ徵稅費ノ、増稅ト同時ニ増加ヲ致シテ居リマス何カ數字ヲ御示シ願ヘレバ大變幸ヒダト思フノデアリマス

○松隈政府委員 今回ノ増稅ニ伴ヒマシテ所要經費ヲ計上致シマシテ、御協賛ヲ御願ヒ致スコトニ致シテ居ルノデアリマスルガ、其ノ金額ハ約五百八十餘萬圓ニ相成ツテ居ル次第デアリマス

○駒井委員 五百八十餘萬圓ノ金額ガ大體、例ヘバ東京市内ノ稅務署ニハドレ位配分セラレルノデアリマセウカ、從來東京市ニ於ケル稅務行政ノ運用ノ實際ヲ見マスルト、ドウモ經費ガ非常ニ不足デアルノカ、各稅務官吏ノ擔當致シテ居リマスル事務ノ數量ト云フモノガ非常ニ龐大デアリマシテ、到底之ヲ消化シ切レナイト云フヤウナ實情ヲ見受ケラレルノデアリマス、東京市内ノ稅務署ニドレ位ノ經費ガ配分セラレルノデアリマセウカ

○松隈政府委員 經費トシテ御協賛ヲ願ツテ居リマスル金額ハ五百八十餘萬圓デアリマシテ、是ガ御協賛ヲ得マシタ曉ニ於キマシテハ、適當ナル配賦計畫ヲ立テルモノデアリマスガ、未ダ其ノ計畫ガ出來テゴザイマセヌカラ、東京市内ノ稅務署ニドレ位割當ルデアラウカト云フコトノ計算ヲ申上ゲコトハ困難ナノデアリマスルガ、此ノ豫算ノ中ニ計上シテアリマスル人ノ方面ヲ申上ゲマスルト、奏任官トシテ技師ガ七人、判任官ガ六百十九名程計上シテゴザイマス、六百十九名ト云フ判任官ノ増員ハ全國ノ稅務署ノ數割リマスルト、一稅務署二人ニモナラヌト云フ譯デアリマスルガ、課稅物件ノ分布狀況カラ申シマスレバ、全國平均ト云フ譯デハゴザイマセヌデ、課稅物件ノ主ナルモノハ六大都市等ニ集中シテ居ル譯デアリマスルカラ、此ノ人員ヲ配付致シマスレバ自然東京市内ノ稅務署ノヤウナ所ニハ、全國平均デハ二人デアルトシテモ、或ハ四人行キ五人行クト云フヤウナコトニナリマシテ、或ル程度人員ノ充實モ出來ルカト考ヘテ居リマス

○駒井委員 今回ノ増稅ハ昭和十八年度ニ於テ十億何千萬圓、平年度ニ於テ十一億何千萬圓トカニナル譯デアリマスガ、ソレニ對シテ五百八十餘萬圓ノ徵稅費ノ増加率ト云フモノハ、餘リニ低イノデハナイデセウカ

○松隈政府委員 徵稅當局ト致シマシテハ、増稅ノ爲ノ經費ノ相當多キコトヲ希望致シテ居ルノデゴザイマスルガ、何シロ戰時下ノ財政ノコトデアリマスノデ、各方面ニ於テ人員ニ於キマシテモ、經費ニ於テモ最少限度ノ人員、最少限度ノ經費ヲ以テ出來ルダケ能率ヲ發揮スルヤウニト云フ趣旨カラ豫算ガ編成サレテ居リマスノデ、此ノ程度ノ人員、經費ヲ以テ出來ルダケ能率ヲ舉ゲル外ナイト思フノデアリマス、尙ホ從來カ

ラノ人員、經費ニ付キマシテモ、多少慣レテ居リマス仕事ノ方ハ手ヲ抜イテデモ、新シク殖エマシタ事務ノ爲ニハ萬全ヲ期シ得ルヤウニ致シマシテ、彼此差違ヲ行キマスレバ、決シテ完全トハ申兼ネルノデアリマスケレドモ、戰時下ノ稅務行政トシテハ我慢ノ出來ル程度ノ經費アラウト思フノデアリマシテ、之ヲ御認メ願ツタ上出來ルダケソレヲ活用シテ參ルヤウニ致シタイト存シテ居リマス

○駒井委員 從來デモ稅務官吏ノ待遇ト云フモノハ低キニ失スルト云フ批評ガ非常ニ多イノデアリマス、特ニ稅務官吏ガ實際ニヤツテ居リマス仕事ハ、相當重要ナ仕事ヲ擔當致シテ居リマス、然ルニ之ヲ實際ニ見マス、其ノ能力ニ於キマシテモ甚ダ足ラザルト考ヘラレルヤウナ官吏ガ實際ノ調査ニ當ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀態デハ、一面ニ於テ非常ナ脫漏ガ行ハレテ、租稅收入ノ上カラ考ヘマシテモ非常ニ遺憾デアルノミナラズ、實際問題ト致シマシテハ、稅務官吏ハ非常ナ仕事ノ重壓ニ苦ミマシテ、一面ニ於テハ能率ヲ阻碍シテ居ルト云フノガ現狀デアリヤウデアリマス、今日ノ稅務官吏ノ、例ヘバ東京市內ノ例ニ引キマシテモ、東京市內ニ於ケル稅務官吏ノ判任官ノ平均俸給ト云フノハ、一體ドレ位ニナツテ居ルノデアリマセウカ

○松隈政府委員 東京市內ノ判任官ノ平均俸給ハ大體六十四圓位カト思ツテ居リマス、全國平均デ見マシテモ、平均俸給トシテハ六十六圓程度デアラウト思ヒマス

○駒井委員 今日此ノ六十六圓ノ俸給デ稅務官吏ガ生活ヲシテ居ルト云フコトガ、實ハ不思議ニ考ヘラレルノデアリマス、モウ

少シ稅務官吏ヲ優遇シテ戴イテ、同時ニ稅ノ過誤ヲ少クスル、或ハ收入ヲモウ少シ上ガルト云フコトニ御考ヘニナツタラ如何カト思ヒマス、特ニ東京市內ハ稅務署ノ數ガマダ少イノデアリマシテ、モウ少シ稅務署ノ數ヲ殖ヤシテ戴キ、稅務官吏ノ人員モ殖ヤシテ戴クト云フコトハ御考ヘニナラヌノデアリマセウカ、御尋ネ致シマス

○松隈政府委員 平均俸給ハ六十六圓デゴザイマスルガ、之ニ昨年ノ十一月カラ戰時手當ガ俸給ノ一割付キマスシ、家族手當ニ付キマシテモ一人三圓ガ五圓ニ引上ゲラレテ居リマスヤウナ事情モアリマスシ、又賞與等ニ付キマシテハ、經費ノ許ス限り優遇スルヤウナ方法モ考ヘテ居リマスノデ、稅務官吏ノ生活ニ付テモ相當改善ハサレテアルト思フノデアリマスガ、是ハ一般ノ官吏ノ給與ノ問題トモ關係ガアルノデアリマスカラ、是ノミ切離シテ特別ナコトヲスルト云フコトハ中々困難ナ問題ガアルノデアリマス、併シ只今御同情ノアル御話ヲ伺ヒマシタノデ、今後徵稅費ノ方面ニ付キマシテハ吾々モ十分御趣旨ノ通ルヤウニ工夫改善ヲスル努力ヲ續ケタイト思ツテ居リマス、ソレカラ東京市內ノ稅務署ノ數ニ付テハ、警察等トノ比較カラ言ツテ數ガ少ナ過ギル、現在三十五區アルノニ對シマシテ、稅務署ノ數ハ一區必ズシモ一ツニナツテ居リマセヌ、隨テモウ少シ増設スル必要ガアルノデハナイカト云フコトハ、洵ニ御尤モナ意見デアリマシテ、吾々モ其ノ事ヲ研究致シテ居ルノデアリマシテ、經費ノ許ス範圍內ニ於テ、實際問題トシテ稅務署ヲ分轄スルコトガ出來ナイコトハナイノデアリマスノデ、近ク東京市內ノヤウナ所ニ付キマシ

テ、モウ少シ稅務署ヲ分離スル案ヲ立デマシテ、之ヲ實行ニ移スコトヲ考ヘテ見タイト思ツテ居リマス

○駒井委員 此ノ稅務行政ノ運行上、稅務官吏ノ待遇改善ト云フコトハ、最も喫緊ノ問題デハナイカト思フノデアリマス、從來財政學ニ於キマシテモ、最少ノ徵稅費ノ原則トカ云フ考ヘ方ガアリマシテ、徵稅費ト云フモノハ少クナケレバナラヌト云フコトガ、財政學ノ建前デアル、併シ今日デハサウ云フ原則ヲ固守セラレル必要ガナイノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、今日ノ稅務官吏ノ待遇ハ餘リニ低イノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テハ十分御考慮ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、此ノ反面ニ、例ヘバ遊興飲食稅デアリマス、或ハ物品稅ノ如キモノハ違反事件ガ非ニ多クテ、殆ド稅務當局ガ調査ニ臨ミマシタ際ニ於テハ、違反事件ガ起ルコトハ百パーセントデアルト謂ハレデ居リマス、何カ遊興飲食稅、或ハ物品稅ニ付テ違反事件ノ統計ガゴザイマシタラ、一ツ御示シテ願ヒタイト思フノデアリマス

○松隈政府委員 遊興飲食稅、物品稅等ニ付キマシテハ、稅ノ性質カラ他ノ稅ニ比シテ比較的脫稅ガ行ハレ易イ憾ミガアルノデアリマシテ、此ノ犯則ノ檢舉モ、是等ノ稅ノ創設當時ニ於キマシテハ、業者ガ不慣レデアリマスル關係上、指導ノ立場ヲ以テ臨ンデ業者ノ自肅改善ニ俟ツヤウニシテ參ツタノデアリマスガ、施行以來既ニ年數モ經チ、業者モ手續ニ慣熟シテ參リマシタ、一方稅額モ創設當時カラ見マスルト急激ニ増シテ參リマシタノデ、最近及ビ今後ニ於キマシテハ取締ヲ相當嚴重ニシテ行カナケレ

バナラスト考ヘテ居リマス、犯則檢舉ノ狀況ニ付テ數字ヲ申上ゲマスルト、先ヅ場數ト對比シテ申上ゲテ見タイト思ヒマス、物品稅、遊興飲食稅、入場稅ニ付キマシテ昨年ノ十月末現在ノ場數ハ、物品稅デハ四十九萬五千場程ゴザイマス、遊興飲食稅デハ二十二萬九千程ゴザイマス、入場稅ニ付テハ一万三千程アルノデアリマス、調査致シマシタ結果犯則トシテ檢舉サレマシタ件數ハ——物品稅、遊興飲食稅ニ付テハ昨年中ノ實績デアリマス、入場稅ニ付テハ昨年ノ四月カラ十月マデノ期間ノ數字デアリマス、物品稅ノ犯則檢舉數ガ六千九百餘件、遊興飲食稅ノ犯則檢舉數ハ五千五百餘件、入場稅ニ付テハ二百二十餘件ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、場數ニ對シマスル割合ハ物品稅ノ場合ハ一分四厘、遊興飲食稅ノ場合ハ二分四厘、入場稅ノ場合ハ一分七厘程度ニ相成ツテ居リマス

○駒井委員 只今ノ數字ヲ伺ツテ見マス、遊興飲食稅及ビ物品稅ノ稅金ヲ政府ニ代ツテ徵收シマスル場數ト申シマスルカ、人員ガ七十萬ニ近イ數ニ達シテ居リマス、更ニ今回特別行爲稅法ヲ實施セラレルニ至リマスルナラバ、其ノ數ト云フモノハ非常ニ莫大ナ數ニ達スルダラウト思ヒマス、是ダケノ澤山ナ徵稅擔當者ト申シマスカ、之ヲ取締ルト云フコトハ非常ニ困難ナ問題デアルト思ヒマス、此ノ點ニ付テ今度ノ增稅案ヲ機會ニ、何等カノ施策ヲ稅法ノ上ニ於テ作ツテ戴イタナラバト云フコトハ私共ノ考ヘテ居ル所デアリマスガ、此ノ點ニ付テ何等ノ施策ヲ御加ヘニナラスト云フコトハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、將來斯クノ如キ狀態ガ續キマスナラバ、稅務官吏ハ檢舉ニ

沒頭シテモ足リナイト云フ實情ニナルト思フノデアリマス、殆ド稅務官吏全部ガ遊興飲食稅、或ハ物品稅、或ハ特別行爲稅ノ犯則者檢擧ニ沒頭シテ居ツテモヤリ切レナイト云フヤウナ狀態ニ達スルノデアリハナカト云フコトヲ悞レルノデアリマス、是ハ何等カ此ノ法律ニ規定ガナクトモ、此ノ方面ニ對スル取締ニ付テ御考ヘニナツテ居ル點ガオアリデシトラバ一ツ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松隈政府委員 只今申述ベマシタ物品稅、遊興飲食稅等ニ付キマシテ或ル程度ノ犯則ガ行ハレテ居リマスノデ、是ガ取締ニ付テ何カ考慮スル所ガナクテハナラヌト云フ御説ハ洵ニ御尤モデアリマス、今回施設致シマシタコト竝ニ今後ノ取締等ニ付キマシテ、氣ノ付キマシタコトヲ申上ゲマシルト云フト、其ノ一ツハ業者ヲシテ團體ヲ組織セシメマシテ、政府ハ此ノ業者ノ團體ニ對シテ徵稅上必要ナル徵收設備ヲナサシメ、或ハ徵收事務ノ補助ヲナサシムルト云フコトヲ規定シテ居ルノデアリマス、其ノ場合ニ於テ業者ノ方ニモ色々負擔ヲ掛ケルコトニモナリマスノデ、サウ云フ場合ニ於テハ政府ハ交付金ヲ交付スルコトヲ得ルト云フ規定ヲ置イテ居リマス、其ノ爲ニ交付金ト致シマシテ二百五十萬圓程ノ金額ヲ豫算ニ見積ツテ居ルノデアリマス、新タニ交付金ヲ交付スルコトナリマシタ團體ノコトヲ申上ゲマシルト云フト、酒類販賣業團體ニ對シテ交付金ヲ交付致シマス、是ハ酒造組合法ヲ改正シマシテ、酒類販賣業者ニ團體ヲ組織セシメルノデアリマスガ、是等ノ團體ハ酒類ノ適正圓滑ナル配給ヲ行ヒマスル爲ニ、政府ノ指示ヲ受ケテ、政府ノ

施策ニ協力スル譯デアリマスノデ、ソコデ交付金ヲヤルト云フコトデアリマス、此ノ方ハ徵稅ニハ直接ノ關係ハゴザイマセヌ、間接ノ關係デゴザイマス、ソレカラ特別消費稅ヲ徵收スル團體ノ交付金ガ砂糖消費稅法ノ中ニ設ケラレテ居ルノデアリマスガ、是ハ加工用其ノ他ノ業務用ノ砂糖ニ對シテ新シク特別消費稅ヲ課スルノデアリマス、其ノ徵收義務者ハ砂糖ノ販賣業者デアリマスノデ、其ノ數ハ相當ノ數ニ上リマス、是等ノモノヲシテ團體ヲ組織セシメテ、徵收事務其ノ他ニ協力セシメル爲ノ交付金デアリマス、次ニ物品稅ニ付テハ從來團體ヲ作ラシメテ、ソレニ交付金ヲ與ヘルト云フ規定ガナカツタノデアリマスガ、今回物品稅ノ課稅最低限ヲ或ル程度引下ゲ、新シイ物品課稅範圍ニ採入レ、又稅率モ高クナリマシタノデ、物品稅徵收團體ヲ組織セシメテ、之ニ交付金ヲ交付スル必要ヲ認メテ居ルノデアリマス、遊興飲食業者ノ團體ニ對シテハ、從來カラモ是等ノ團體ニ對シテハ交付金ヲ交付シテ居リマスノデ、是ハ從來ト大體同ジヤウニ致シテ行キタイト思ツテ居リマス、ソレカラ特別行爲稅デアリマスガ、之ニ付キマシテモ印刷業者デアルトカ、或ハ裁縫ノ仕立等ヲ致シマスル業者等相當ノ數ニ上ルモノガゴザイマスルノデ、業態別ニ團體ヲ作ラシメテ、ソレニ交付金ヲ與ヘテ徵稅ノ完壁ヲ期スルヤウニ致シタイト思ツテ居リマス、ソレカラ入場稅ニ付キマシテモ、今回新シク入場稅徵收團體ヲ作ラシメマシテ、ソレニ交付金ヲ與ヘルヤウニ致シマシテ——政府ニ於テ取締ヲ強化致スコトモ勿論デアリマスルガ、一方業者ノ自治的ナ行動ニ依ツテ自肅自戒シテ、國ノ徵稅機關ト

シテノ職責ヲ果サユウニ導イテ參リタイ、ソレガ爲ニ經費ノ一部分ヲ交付金トシテ與ヘルト云フヤウナコトニ致シマシテ、徵稅者タル稅務署ノ側ト徵稅補助機關タル業者ノ團體ト兩々相俟チマシテ、脫稅行爲ノ行ハレル機會ヲ出來ルダケ少ク、出來レバ絶減シタイ、斯様ナ心組ヲ以テ居ルヤウナ次第デアリマス、次ニ改正致シマシタコトト致シマシテハ、入場稅ニ付キマシテハ從來直接消費稅ト云ツタヤウナ形式ニナツテ居ツタノデアリマスガ、今回入場稅法改正ノ機會ニ於キマシテ、之ヲ間接稅ノ式ニ改メタルコトニ致シマシテ、間接稅犯則者處分法ヲ適用シ得ル稅目ノ一ツトシテ擧グルコトニ致シマシテ、間接稅犯則者處分法ニ於ケル比較的簡易ナル犯則ノ檢擧ヲ行ヒマシテ、脫稅ノ非違ノ餘地ヲナカラシムルヤウニ致シタイト思ツテ改正案ヲ出シテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレカラ遊興飲食稅ニ付キマシテハ從來業者ノ團體ト話合ヒマシテ、業者ノ團體ヲシテ稅務署ノ指示ニ從フ一定ノ領收書ヲ作ラシメテ、之ニ料金稅額其ノ他必要ナ事項ヲ記入セシメテ、オ客ニ渡サユウニ指導シテ參ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ點未ダ十分デナイ點ガゴザイマス、ソコデ今回遊興飲食稅法ヲ改正シマシテ、遊興飲食稅ノ徵稅義務者タル業者ニ對シテハ、受取書ヲ作成シテ命ジ得ル旨ノ規定ヲ置クコトニ致シマシタ、受取書ノ作成義務ト云フモノヲ法律上明カニ致シマシテ、受取書ヲ作ラナカツタト云フヤウナ場合ニ於テハ、稅額ニ付テハ取損ヒガナカツタト致シマシテモ、受取書ヲ作ラナカツタト云フダケデ罰則ヲ適用シヨウト思ヘバ出來ルヤウニ致シマシテ、受取書ヲ作成ヲ

法律的ニ強制致シマシタ一方、オ客ノ方モ出來ルダケ受取書ヲ貰ツテ其ノ法律ノ狙ツテ居ル所ノ目的ニ合致スルヤウニ助力ヲ願ツテスルナラバ、脫稅ヲ敢行スル機會モ餘程減ツテ來ルカト思フノデアリマス、以上氣ノツキマシタ二三ノ點ヲ申上ゲマシタ

○駒井委員 只今御話デ稅務當局ノ方々ガ此ノ遊興飲食稅或ハ物品稅ノ脫稅ニ付テ非常ニ御考慮ヲナサツテ居ラレルト云フコトハ明瞭ニナリマシテ、喜バシク考ヘルノデアリマス、併シナガラ今日ノ實情ヲ以テ致シマスレバ、其ノ程度ノ施設ヲナサツタダケデハ尙ホ足ラザルモノガ甚ダ多イノデハナイカト思ヘルノデアリマス、特ニ特別行爲稅ガ實施サレル曉ニ於キマシテハ、之ニ依ツテ徵稅ヲ擔當シマス業者ノ數ハ、一體ドレ位ニナルノデアリマセウカ、是非常ニ雇大ナモノデハナイカト考ヘラレルノデアリマス

○松隈政府委員 特別行爲稅ヲ創設致シマシタ場合ニ於ケル業者ノ營業場數ノ増加見込ハ約八萬ト見込デ居リマス

○駒井委員 私ハ色々考ヘテ見マスルト、是ハ實際ノ擔稅者デアルオ客ニ、モウ少シ協力セシメルト云フ方面ニ一ツ考ヘテ置イテ戴イタナラバドウカト實ハ思フノデアリマス、例ヘバ擔稅者デアルオ客ノ方面ニ申告ノ義務ヲ負ハセルトカ何トカ云フヤウナ考ヘテ、將來考ヘテ戴イタナラバドウカト實ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ此ノ機會ニモウ一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマスコトハ、昨年ノ議會デ稅務代理士法ガ通過ヲ致シマシテ、稅務代理士ノ制度ガ確立致シマシタ、此ノ戰時議會ニ稅務代理士法ノ通過ヲ圖ラレマシタ當時ノ大藏大臣ノ御話デモ、此ノ

稅務代理士ノ制度ヲ確立シテ稅務官廳ノ補助機關トシテ役割ヲ果サセタイ、其ノ意味ニ於テ此ノ法律ガ戰時立法トシテ意義ノアルコトデアルト云フヤウナ御話ガアツタ譯デアリマス、今日稅務代理士ノ制度ガ確立シマシタ以上、モウ少シ之ヲ活用スルコトニ付テ御考ヘテ願フタラドウダラウカ、實ハ私ノ考ヘテ居リマスコトハ、例ヘバ一ツノ業態——業務別ノ組合ガアル、其ノ組合ニ稅務代理士ヲ指定致シマシテ、其ノ中ノ信用ノアル、經驗ノアル者ヲ財務局カラ指定代理士トシテ指定ヲシテ戴ク、其ノ指定サレタ稅務代理士ノ調査致サレマシタコトニ付テハ、或ル程度マデ稅務署ニ於テ手ヲ省イテヤルト云フヤウナコトモ其ノ一ツデアリマス、或ハ又今度納稅施設法案ト云フモノガ出テ居リマスガ、非常ニ調査ガ面倒デアル場合ニ、財務局或ハ稅務署ト稅務代理士トノ共同調査ヲ命ズルト云フヤウナコトモ稅務署ノ手ヲ省ク一ツノ方法デハナイカト思ヒマス、其ノ他稅務代理士ノ制度ヲ活用シテ戴イテ、此ノ戰時立法トシテ生レ出タ此ノ制度ガ今日有效ニ活用出來ルヤウニ御配慮願ヒタイト思ヒマス、此ノ點ニ付テ御意見ガゴザイマスナラバ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○松隈政府委員 稅務代理士法ガ昨年ノ議會ニ於テ決定サレタノデアリマスガ、其ノ趣旨ハ稅務代理士ノ素質ヲ向上セシメマシテ、徵稅者側ト納稅者側トノ間ニ立ツテ正シイ稅務ノ履行ニ協力セシメルト云フ趣旨デアリマスコトハ御説ノ通りデアリマス、其ノ後新法ニ依リマシテ新シク稅務代理士ノ認可ヲ得マシタ稅務代理士ガ約二千名程現在出來テ居リマスガ、段々ニ法律ノ趣旨ヲ

理解致シマシテ、稅務ノ圓滿公正ヲ執行ニ助力サレツツアリマスルコトハ非常ニ喜バシイコトデアリマス、今後モ益々稅務代理士法制定ノ趣旨ニ副フヤウニ運用ヲシテ參ル必要ガアルト思フノデアリマス、其ノ場合ニ於キマシテ具體的例トシテ只今御話ノアリマシタヤウニ、徵稅義務者ノ團體ニ稅務代理士ノ中人格高潔ノ者ヲ所屬セシメテ、サウシテ其ノ團體ノ徵稅事務ノ補助ニ付テ遺憾ナカラシメルヤウニスルト云フコトニ付テモ、今後研究ヲスル必要ガアルト思フデアリマス、ソレカラ今回政府ハ別ニ納稅施設法案ヲ提案致シテ居ルノデアリマスガ、之ニ依リマスルト法人ハ決算ノ際ニ於テ自己決算ニ依ル見込稅額ニ對シテ法人納稅積立金ヲ積立テ居ルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、從來稅金引當金ヲ積立テテ居ル會社モゴザイマスケレドモ、積立テテナイ會社ノ方ガ多イヤウナ實情ニアリマスノデ、ソレ等ノ會社ニ付キマシテ自己決算ニ依ツテ見込稅額ニ依ル納稅積立金ヲサセテ行クト云フヤウナ上ニ於キマシテハ、稅務代理士ノ方々ノ指導斡旋宜シキヲ得ルト云フヤウナコトモ必要デアラウカト思フノデアリマス、又納稅ヲ容易確實ナラシメル爲ニ納稅準備預金ノ制度モ設ケテ居ルノデアリマスルガ、是等ニ付キマシテモ中々其ノ趣旨ノ普及徹底ヲ圖ルコトハ困難ナコトデアリマスノデ、斯ウ云フコトニ付テモ稅務代理士會等ノ御發動ヲ願フト云フヤウナ機會モアラウカト思フテ居リマス、今後ノ問題ト致シマシテハ各地方ニ稅務代理士會ガアリ、中央ニ聯合會モ出來テ居リマスノデ、サウ云フ團體トモ密接ナ聯繫ヲ取リマシテ、十分國家目的ニ副ツテ稅務代理士ノ各位ガ

御働キ下サルコトノ出來ルヤウニシテ參リタイト思フテ居リマス

○駒井委員 只今ノ御答ヘデ非常ニ満足致シタノデアリマスガ、將來一ツ此ノ制度ヲ活用セシメル爲ニ十分ニ御考慮ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ制度ガ新シク出來マスマデハ非常ニ熱心ニ何時モヤラレテ、サア是ガ爲運營ト云フ段ニナリマス、ドウモ放任セラレルト云フヤウナ傾向ガナイデハナイノデアリマス、ソレデハ折角斯ウ云フ制度ガ出來マシタ趣旨ニ副ハナイノデアリマスルカラ、一ツ稅務代理士、或ハ稅務代理士會ニ對シテ、具體的ニ國家ノ稅務行政ノ一翼ヲ擔當セシメルト云フ風ニ御指導ヲ願ヒタイト思ヒマス

此ノ機會ニモウ一ツ伺ツテ置キタイコトハ、此ノ稅務代理士ト計理士トノ關係デアリマス、計理士法ニ付テハ或ハ主稅局長ハ所管外デアリマスカラ御答ヘニクイノデハナイカト思ヒマスケレドモ、私ハ計理士法モドウシテモ此ノ際改正ノ必要ノアル法律ダト實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、現在ノ計理士會ノ實情ト云フモノハ、殆ド二萬人、或ハソレ以上ノ計理士ガ登録セラレテ居ル、サウシテ實際ニ於テハ計理士ノ仕事ヲシテ居ル者ハ其ノ一割位シカ居ラナイ、斯ウ云フヤウナ狀態デハ、今日ノ計理士會ト云フモノガ、公的ナ仕事ニ參畫スルト云フ機會ヲ與ヘラレナイノハ當然デアアルデアリマスカラ、計理士法ヲ將來改正セラレマシテ、一面ニ於テハ稅務代理士トノ分野ヲ明確ニシテ戴キタイ、ソレカラ一面ニ於テハ計理士ト云フモノハ、ヤハリ許可制度カ試驗制度カニ致シマシテ、サウシテ此ノ計理士ニ一ツノ職場ヲ法律的ニ與ヘラレ

ルト云フコトガ必要デハナイカト考ヘルノデアリマス、現在ノ計理士ト云フモノハ誰デモナレルシ、計理士ノ仕事ハ誰デモ出來ルト云フノガ現狀デアリマス、併シ今日例ヘバ經理統制令ニ致シマシテモ、其ノ他ノ法律命令ニ致シマシテモ、計理士ノ働クベキ職場ト云フモノハ甚ダ多イ、之ヲ今日徒ラニ放任セラレテ其ノ職場ニ働カシメナイ、又名バカリノ計理士ガ續出シテ、一向今日此ノ非常時ニ働カナイト云フヤウナコトデハ極メテ遺憾デアリマスカラ、此ノ點ニ付テハ一ツ御考慮ヲ大藏當局ニ御願ヒ致シテ置キタイト思ヒマス、私極メテ概念的ナ質問バカリ致シマシタケレドモ、又機會ガアリマシタナラバモウ少シ質問サシテ戴キタイト思ヒマスノデ、今日ハ是デ打切りマス

○松隈政府委員 午前ノ河野委員ノ御質問中洋服ノ仕立ノ免稅點ト物品稅ノ免稅點ノ所デ少シ説明ガ混雜致シマシテ、誤リノアツタ點ガゴザイマスルカラ、一應訂正致シテ置キマス、洋服ノ免稅點ハ背廣三ツ揃ヒニ付テ申シマスレバ、現在七十圓以上ハ課稅ニナルノデアリマス、今度ハ六十圓以上カラ課稅致シタイト思フテ居ルノデアリマス、其ノ六十圓ト云フ販賣價格ノ内譯ヲ見テミマスルト、先程御話致シマシタヤウニ、表生地代ガ二十五圓デ、裏生地代ガ八圓デ、附屬工料ガ二十七圓トナツテ居リマス特別行爲稅ニ於テ課稅ノ對象ト致シマスノハ表生地代モ、裏生地代モ除イタ附屬工料ノ二十七圓ガ對象ニナル譯デアリマス、ソレデアリマスカラ、課稅最低限ハ仕立代洋服三ツ揃ヒノモノハ二十五圓ニナツテ居リマスカラ、此ノ場合ハ課稅ニナル譯デアリマス、丁度物品稅モ六十圓以上ハ課稅ニナリマス

カラ、仕立代二十七圓モ課税ニナルト云フ
コト釣合ガ取レテ居ル譯デアリマス、先
程ハ其ノ場合ニ於テ二十七圓ノ中ニ裏生地
代八圓ガ入ツテ居ルヤウニ説明致シタ點ガ
少シ間違ツテ居リマスノデ、ソレヲ訂正致
シテ置キマス、假ニ其ノ場合ニ於テ裏生地
マデ洋服屋サンノ方ニ持タセルトスレバ、
洋服屋サンガ裏生地込ミデ仕立料トシテ受
取ル金ハ三十五圓ニナル譯デアリマスガ、
其ノ場合ニ於テモ三十五圓ヲ課税ノ對象ト
スルノデハナクシテ、裏生地代八圓ヲ引イ
タ二十七圓ヲ課税ノ對象ニスルノデアリマ
ス、尙ホ五十圓位ノ洋服ニナリマス、附
屬工料ハ二十三圓位——即チ物品税ノ掛ラ
ナイ五十圓位デアリマスレバ仕立代モ二十
三圓デアツテ、課税ニナラナイト云フコト
デ、物品税ノ課税ノ對象ト、特別行爲税ノ課
税ノ對象ハ、大體ニ於テ一致スルヤウニ標
準ヲ定メタイト云フ譯デアリマス

○松村(光)委員長 此ノ際古河君ニ御相談
ヲ申上ゲマス、今駒井君カラ御質疑ノアリマシ
タ稅務代理士法ト計理士法ノ關係ニ付テ、
關聯事項デ質疑ヲ致シタイト云フ御希望デ
アリマスガ、此ノ際ソレヲナサイマスカ、
稅務代理士ノ方ハ主トシテ主稅局長ノ所管
デアリマスガ、計理士法ノ方ハ理財局長ノ
所管ト思ハレマスノデ、改メテ理財局長ノ
出席ヲ仰イダ上デオヤリニナリマスカ、如
何致サレマスカ

○古河委員 其ノ方ガ結構デアリマス
○松村(光)委員長 ソレデハ兩者ノ關係ハ
兩方ニ關係ガアリマスノデ、理財局長立合
ノ上デ御願ヒスルコトニ致シマス
○古河委員 尙ホ私ハ只今ノ駒井委員ノ御
質問ニ關聯シテ少シク御尋ネ致シタイと思

ヒマス、駒井委員ノ質問サレマシタ稅務官
吏優遇案デアリマス、今回増税ニ關シマシ
テ、東京市内ノ稅務吏員ノ配置人員ハ只今
承ツタノデアリマスガ、大阪市内ニ於ケル
配置人員ハ如何程ニナツテ居リマスカ、承
リタイト思ヒマス

○松隈政府委員 豫算デ要求致シテアリマ
スル人員ニ付キマシテハ、豫算ノ御協賛ヲ
經タル後ニ於テ配付案ヲ立テタイト思ツテ
居リマスカラ、先程駒井委員ノ御質問ニ御
答ヘシタコトモ假定ノ數字ニ過ギナイノデ
ゴザイマス、尙ホ假定ノ數字デモ差支ヘナ
イト云フコトデアリマスナラバ、課税物件
ノ分布狀況カラ申上ゲマスレバ、東京市内
ト大阪市内ハ大體同様ニ認メラレルト思フ
ノデゴザイマス、ソコデ今回ノ豫算ニ認メ
ラレマスル増加人員ヲ全國平均ニ割付ケマ
スレバ、一稅務署二人ニモ足リナイ程度デア
リマスルガ、大阪市内ノ稅務署デアリマス
レバ、平均ヨリモ相當多イ人數、即チ四人
ナリ五人ナリ、或ハ署ニ依ツテハソレヨリ
モウ少シ多ク行クヤウナ署モアルカト思フ
ノデアリマス

○古河委員 只今東京デハ奏任官ガ七人、
判任官ガ六百十九人ト云フ數字ヲ仰セニナ
ツタノデアリマスルガ、大阪ニ於キマシテ
ハ一署ニ判任官ガ四人、五人ト云フコトニナ
リマス、非常ナ相違ニナルカト思フノデ
アリマス、ソレハ數字ノ間違ヒデナカラウ
カト思ヒマス

○松隈政府委員 私ガ先程申上ゲマシタノ
ハ、今回ノ増税ニ基ク經費ノ要求ガ全體デ金
額トシテハ五百八十餘萬圓、其ノ全體ノ金
額ノ中ニ入ツテ居リマスル人件費ト致シマ
シテハ奏任官ガ七人、判任官ガ六百十九人

ト云フコトヲ申上ゲタ積リデアリマスノデ、
高等官七人、判任官ノ六百十九人ト云フコ
トハ、是ハ全國ニ對スル數字デゴザイマス、
ソレヲ判任官ニ付テ全國ノ稅務署ノ數デ割
レバ平均ハ二人ニモナラナイ、併シ課税物
件ノ狀況ヲ勘案シテ配レバ、東京市内トカ
大阪市内ハ大體平均ノ倍位ノ人數ハ配ラレ
ルノデハナカラウカ、斯ウ云フ譯デアリマ
ス

○古河委員 能ク分リマシタ、現在ニ於キ
マシテモ相當ノ缺員ヲ見受ケルノデアリマ
ス、殊ニ臨時雇ニ對シマシテハ一署ニ十五
人乃至二十人位ノ缺員ガアルノデアリマス、
是等ヲ如何ニシテ補充サレルカ、私ハ考ヘ
マスノニ、判任官デスラ平均給ハ僅カ六十
六圓デアリマス、臨時雇ハソレ以下デナケ
レバ採用ガ出來スト云フ狀態ニナツテ居ル
次第デアリマスルカラ、中々雇ハウト致シ
マシテモ得難イノデアリマス、ソレデ斯ウ
云フコトハ中々至難ナコトト考ヘルノデア
リマスルガ、徵用令ニ依リマシテ徵用サレ
タ人物ノ中ニ、所謂算數ニ長ケタ、サウシ
テ工場生活ノ出來ナイ人、サウ云フ人ガ多
多アルヤウニ見受ケラレルノデアリマス、
之ヲ軍部方面ト協調致サレマシテ、サウ云
フ方ヲ稅務當局ノ方ニ御廻ハシニナルヤウ
ニナリマスレバ、非常ニ幸ヒノヤウニ思フ
ノデアリマス、大藏省トシテハサウ云フコ
トヲナサル意思ガアルカドウカト云フコト
ヲ御聽キシタイノデアリマス

○松隈政府委員 稅務署ニ於キマスル判任
官竝ニ雇員ノ補充ニ付キマシテハ、時節柄
或ル程度マデ困難ヲ感ジテ居ルコトハ事實
デアリマス、併シ幸ヒニ致シマシテ何トカ
彼トカ補充ノ途ハ付イテ行ツテ居ルヤウデ

アリマス、現ニ先日ノ稅務講習所ノ爲ニ志
願者ヲ募集致シマシタ所、募集人員ノ三倍
程ノ應募者ガアリマシタヤウナ次第デ、其
ノ場合ニ於キマシテ、稅務講習所ノ方ニハ
人員ノ關係デ收容シ切れナイケレドモ、稅
務署ノ方デハ世話ヲシタイ、斯ウ申シテ、
ソレデモ差支ヘナイト云フヤウナコトヲ申
出タ者モアツタヤウナ事實デアリマシタ、
今日ノ狀況デアリマスレバ、マダ徵用令ニ
依ツテ徵用サレテ來タ者ノ一部ヲ稅務署ニ
廻ハスト云フ所マデハ考ヘテ居ラナイ次第
デアリマス

○古河委員 私ノ今申上ゲマシタコトハ、
私ノ單ナル意見ト違フノデアリマス、大阪
ニ於ケル稅務署ノ署長ノ意見デアツタノデ
アリマス、故ニ稅務署ニ於キマシテハ、臨
時雇ヲ雇フニ付キマシテ非常ニ苦慮シテ居
ルト云フコトヲ察知致シタノデアリマス、
此ノ機會ニ御尋ネシタ次第デアリマス、
ソレカラ優遇案ニ付キマシテ、給料ノ點ニ
付キマシテハ他省トノ關係モゴザイマセウ、
故ニ此ノ六大都市ニ奉職シテ居ル所ノ稅務
官吏ニ對シマシテハ、住宅料及ビ交通費ヲ
支給サレル意思ハナイカト云フコトヲ御尋
ネ致シマス

○松隈政府委員 六大都市ニ勤務シテ居リ
マス者ハ、他ノ地方ニ勤務シテ居リマス者
ヨリモ、住宅料乃至ハ交通費ニ付テ負擔ガ
多イコトハ事實デアリマシテ、ソレガ爲メ
相當困ツテ居ル向キモアルノデアリマスガ、
住宅料或ハ交通費ト云フヤウナ名目ヲ以テ
支出スルコトニナリマス、是ハ獨リ稅務
官吏ニ限ラズ、ヤハリ他ノ官吏ニ付テモ同
ジヤウナ支給ヲ必要トスル狀態ニナリマス
ノデ、是ハ大藏省ノ豫算ノ査定ノ問題トシテ

全般的ノ問題ニナルノデアリマスルカラ、全體ノ官吏ノ給料ノ問題トシテ解決サルベキ問題デアツテ、稅務ダケ拔擢ケのニヤルコトハ困難デアラウカト思ヒマス、ソコデサウ云フ名目デハ出セナイケレドモ、賞與ニ於テ加減スルツカ、或ハ昇給ノ期間ヲ幾分短縮スルツカ云フヤウナ手摺算ノ範圍内ニ於テ、六大都市ニ在勤政シマスル者ヲ、他ノ者ヨリモ幾分デモ優遇スルツカ云フヤウナコトニ付テハ、出來ルダケノ注意ヲ拂ツテ居ル積リデアリマス

○古河委員 稅務官吏ハ他省ノ官吏ト比較致シマシテ非常ニ精勤ナ、事務ニ忠實ナ人バカリナノデアリマス、サウシテ他ノ官廳ノ事務ト違ヒマシテ、中ニ稅務事務ハ難カシイノデアリマス、其ノ事務ニ精通シタ所謂忠實ナル稅務官吏ガ、多ク時局ノ波ニ乗ツテ相當ノ利潤ヲ得ル所ノ會社ニ吸收サレルノデアリマス、折角頭ノ良イ、能ク仕事ノ出來ル人ダト思ヒマス、イツカ辭メテシマウ、斯ウ云フ風ニナリマシテ、若イ人バカリ現在居ルヤウナ狀態ニナツテ居リマス、此ノ事務ニ精通シタ經驗者ヲ食止メル方法ヲ御當局ニ於テハ御考ヘニナツテ居ルカドウカラ御尋ネシタイト思ヒマス

○松隈政府委員 稅務官吏ガ極メテ重要ナル事務ヲ分擔シテ居ルモノデアアルコト、其ノ勤務振ガ精勵恪勤デアアルコトニ付キマシテ、昨日以來多クノ方々カラ御意見ヲ承リマスルコトハ、洵ニ御理解ヲ有難ク感謝シテ居ル次第デゴザイマス、稅務官吏中優秀ナ者ガ動モスレバ高給ヲ以テ民間ニ抱ヘラレテ行クト云フ御話デゴザイマスガ、多少サウ云フ事實ハアルノデアリマシテ、此ノ點ハ吾々トシテモ實ハ惱ンデ居ル次第デア

リマスルガ、之ニ付キマシテハ民間ノ仕事モ大事デアアルケレドモ、國家ノ徵稅事務モ戰時財政ヲ維持經營シテ參ル爲ニハ、ソレニモ増シテ重要デアアルツ云フ自覺ヲ喚ビ起シテ貰ツテ、苦シクテモ自己ノ與ヘラレタル天職ニ甘ンジテ職域奉公スルツ云フヤウニ仕向ケテ行キマスルト共ニ、給與ナリ待遇ノ改善ナリニ付キマシテモ及ズナガラ出來ルダケノコトハ致シタイト思ツテ居リマス、從來カラ比ベマスルト、昇給ノ年限モ大分早クナツテ參ツタヤウデアリマスルシ、又高等官ノ數モ或ル程度増エマシタ爲ニ高等官ニ昇進スルコトモ從來ニ比較スレバ多クナツテ來マシタ、又今回官吏ノ優遇ニ關スル勅令ガ制定致サレマスレバ從來ニモ増シテ身分上ノ優遇、給與ノ改善ト云ツタコトモ行ハレマスルノデ、精神的、物質的兩方面カラ有能ナ官吏ニ此ノ際稅務ノ爲ニ働イテ貰フヤウニ工夫改善ヲシテ參リタイト思ツテ居リマス

○古河委員 能ク分リマシタ、次ニ遊興飲食稅ノ犯則デアリマス、私資料ヲ要求シテ置キマシタガ、マダ出マセヌノデ、今駒井サンガ質問サレマシタコトニ付テ關聯シテ申上ゲ、資料ノ要求ヲ取消シマス、元來遊興稅ト云フモノハ營業者ガ納稅者デハナクシテ、お客ガ納稅スルモノデアリマス、故ニオ客カラ營業者ガ税金ヲ徵收シテ置イテ、其ノ税金ヲ稅務署ニ納メナイト云フコトハ脱稅デハナクシテ横領ノデアリマス、此ノ脱稅デナクシテ横領ナル罰則ノ規定ガ甚ダ輕微ナノデアリマス、僅カ三百圓以下ノ罰金ト云フ風ニナツテ居リマス、斯クノ如ク劃期的ナ増稅ヲナス上ニ於キマシテハ、現在デサハ一箇年ニ五千五百名バカリノ犯

則者ガアルノデアリマスカラ、此ノ増稅案ノ通過後ニ於キマシテハ益、増加スルト私ハ想像致シマス、故ニ五倍ノ罰金ノ上ニ罰則ヲ嚴重ニサレマシテ、僅カ三百圓バカリノ罰金デナクシテ、之ヲ殆ンド體刑ニ等シイヤウナ嚴罰ニ處スル規定ガ設ケラレバ、徵稅成績ヲ上ゲル上ニ宜カラウト私ハ考ヘルノデアリマス、大藏當局ニ於カレマシテハ、之ニ對シテ如何様ナ御意見デアリマセウカ

○松隈政府委員 遊興飲食稅ニ付キマシテ、オ客カラ税金相當額ヲ徵收シテ置キナガラ、ソレヲ國庫ニ拂込マナイト云フ者ノ不都合デアリマスルコトハ、仰セノ通りデゴザイマス、此ノ場合ニ於テ現在ハ脱稅額ノ五倍ニ相當スル罰金ニ處シテ居リマスルノデ、時ニ依リマスルト相當巨額ノ金額ノ罰金ヲ拂ハサレテ居ル例モアルノデゴザイマス、先程ハ脱稅額トカ罰金額ノコトヲ申上ゲマセヌデシタガ、物品稅ノ脱稅額ダケデ百四十萬圓位アルヤウデアリマスカラ、ソレノ罰金額ハ七百萬圓ヲ超エルト云フヤウナコトニナツテ居リマスルノデ、或ル程度金錢的ニハ重イト思フノデアリマス、併シ更ニ此ノ上ニ體刑マデ加ヘルヤウニスルカドウカト云フコトニ付テハ考慮ノ餘地ガアルカト思ツテ居リマス、ソコデ先程申上ゲマシタヤウニ、罰則ヲ強化致スコトモ必要デアリマスルガ、ソレヨリモ取締ヲ從來ニ比シテ一層嚴重ニ致シマスルト共ニ、取締ノ人數ニハ自ラ限リガゴザイマシテ、手ノ廻ハリ兼ネル場合ガ生ジマスルカラ、業者ノ團體ヲ作ラシメマシテ——現在モ遊興飲食稅ニハアリマスガ、其ノ業者ノ團體ノ自肅、自戒ニ依リマシテ、又徵稅事務ヲ扱ツテ居

ル其ノ職務ノ重責ヲ自覺セシメルヤウニ致シマシテ、オ互ヒニ脱稅シナイヤウニ致サセテ行ク必要ガアルト思フノデアリマス、業者同志デアリマスレバ、場合ニ依リマスト稅務官吏以上ニオ互ヒノ釣合、均衡ト云ツタヤウナモノヲ知ツテ居リマスノデ、業者ガ眞ニ自覺ニ燃エルツ云フヤウナコトニナリマスレバ、非違ヲ敢行スル機會モ餘程減ツテ參ルデアラウト思フノデアリマス、ソレト共ニ只今御話ノアリマシタヤウニ、オ客ノ方面ニ於テモ協力ヲシテ戴イテ、面倒臭イカラ受取ナンカ要ラナイト云フヤウナコトハ出來ルダケ言ハナイデ、受取ハヤハリ取ツテ戴ク、ソレカラ此ノ受取ヲ何等カノ方法デ稅務署ニ集メルコトガ出來マスレバ、ソレヲ以テ點檢的ニ考查シテ納稅ノ良否ヲ見ル便宜ニナルノデアリマシテ、時々其ノ受取ヲ無料郵便デ稅務署ヘ送ル方法ヲ考ヘタラドウカトカ、或ハ料理店、待合等ノ密集シテ居ルヤウナ花街ニ近イ所ニ稅務署ノ「ポスト」ヲ設ケテ、ソレニ受取ヲ投込マセルヤウニシタラドウカト云フヤウナ御注意ノ投書ヲ戴イテ居ルノデアリマスルガ、是等ノコトニ付キマシテモ、ドノ程度ニ實行シタラ宜シイカト云フコトニ付テ折角苦心致シテ居リマスノデ、或ハ其ノ案ノ一部位ヲ實行ニ移シテ反響ヲ見ルト云フヤウナコトモ一ツノ方法カト思ツテ居リマスガ、マダ具體的ニ案ヲ立テルマデニハ至ツテ居リマセヌ

○古河委員 主稅局長ノ御話モ御尤モデアリマスルガ、東京デハ待合ト言ヒマスシ、大阪方面デハオ茶屋ト言フノデアリマスガ、此ノ兩者トモ客選ビヲ致シマシテ、一現ノ客ハ殆ドセナイヤウナ狀態デアリマス、尤

則者ガアルノデアリマスカラ、此ノ増稅案ノ通過後ニ於キマシテハ益、増加スルト私ハ想像致シマス、故ニ五倍ノ罰金ノ上ニ罰則ヲ嚴重ニサレマシテ、僅カ三百圓バカリノ罰金デナクシテ、之ヲ殆ンド體刑ニ等シイヤウナ嚴罰ニ處スル規定ガ設ケラレバ、徵稅成績ヲ上ゲル上ニ宜カラウト私ハ考ヘルノデアリマス、大藏當局ニ於カレマシテハ、之ニ對シテ如何様ナ御意見デアリマセウカ

モ東京ノ場末ノ待合トカ、或ハ三流、四流ノ待合トカ云フ所ハ格別デアリマスガ、一流、二流ノ所デハ客選ビヲ致シマシテ一現ノ客ヲセナイ、サウシテ客モオ茶屋ノ「サービス」ヲ好クシテ貰ハウト思ヒマシテ中々無理ヲ言ヒマセヌ、領收書ヲ業者ガ作製シテ客ニ渡スト云フコトニナルサウデアリマスガ、客ト致シマシテハ今申上ダタ通りデアリマスルカラ、領收書ヲ呉レト云フヤウナコトヲ言フ人ハ一人モナカラウト思フノデアリマス、又酒ヲ飲ンデ好イ氣嫌ニナツタラ領收書ヲ呉レナント言フ人モナカラウト考ヘマス、此ノ領收書ノ件ハ、婦人ガ百貨店ニ何カ物ヲ買ヒニ行ツタ時ノ話デアリマシテ、酒ヲ飲ンデ遊ブ所ニハ斯ウ云フモノハ絶對ニ向カヌコトノヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレデハモウ少シ御考ヘニナツテ他ノ方法ニ依ツテ御取締ヲナサツタ方ガ宜カラウト思ヒマス——委員長、引續キ私ノ質問ヲ續ケテ宜シウゴザイマスカ

○松村委員長 ソレハ一寸待ツテ下サイ、申出ノ順序ガアリマスノデ、今アナタノハ關聯事項トシテ御許シ致シマシタノデスカラ、其ノ程度ニ御願ヒシテ置キタイト思ヒマス、宜シウゴザイマスカ

○古河委員 宜シウゴザイマス

○松隈政府委員 遊興飲食稅ノ完全ナ徵收ニ付テハ中々困難ナ問題デアリマシテ、名案ハ遺憾ナガラナイノデアリマス、色々脱稅ガ行ハレルカラ稅務當局ヲ鞭撻下サル投書モ參ルノデアリマスルガ、其ノ投書ニ致シテ見マシタ所デ、最モ多イノハ受取ニ印紙ヲ貼ラセロ、サウスレバオ客ハ自分ノ遊興飲食代ニ課ツテ來ル税金ニ相當スル印紙ヲ見届ケテ消印ヲスルカラ、胡麻化サレル

コトハナイ、斯ウ云フノデアリマスガ、此ノ點ハ受取書ノ發行ト五十歩百歩デアリマシテ、ヤハリ其ノ場合ニ於テモオ客ハ業者ガ馴合ヒニナツテ、印紙ハ少クテ宜カラウデハナイカ、ヒドイ時ニハモウ貼ラナイデ濟マサウデヤナイカ、斯ウ云フコトニナレバドウシテモ取締ハ出來ナイノデアリマシテ、ヤハリオ客ニモ遊興飲食稅ガ國家ノ財源ニナツテ戰費ニ使ハレルモノデアルト云フコトデ協力ヲシテ貰ヒ、業者ニモ自覺シテ貰ヒ、旁ノ手ノアリマスル限リ取締ヲ致シテ行クト云フ外ニ、今ノ所適切ナル案ハナイヤウデアリマス、ソコデ先程申上ダマシタ業者ノ團體ニ協力セシメルトカ、或ハ領收書ニ付キマシテモ、モウ一段ト強化スルト云フヤウナ方法モ一方ニ於テ講ジツツ、他方出來ルダケノコトヲシテ參ル外ナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○松村委員長 ソレデハ有馬君

○有馬委員 私ハ主稅當局ニ酒ノ問題ニ付テニ、三御尋ネシタイト思ヒマスガ、序デニ又專賣局長官ニ煙草ノ問題ニ付テ御聽キシタイト思ヒマスガ……

○松村委員長 一寸御諮リ致シマスガ、先度來テ居リマシタガ、貴族院ノ方ヘ參ラレマシタカラ、煙草ニ關スル問題ハ後デ適當ナ時期ニ一括シテ皆樣カラ御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス

○有馬委員 此ノ度ノ増稅ニ於キマシテ、大藏省ハ特ニ國家重要産業ニ從事スル勞務者ニ限ツテ増稅ノナイ酒ヲ或ル程度配給スルト云フヤウナ御意向デアリマシテ、洵ニ機宜ニ適シタ處置ダト私ハ思ヒマスガ、大藏省ノ御方針トシテハ國家重要産業ト云フノハ如何ナル産業ヲ意味シテ居リマスカ、

具體的ニ伺ヒタイト思ヒマス

○松隈政府委員 重要産業ニ從事致シマスル勞務者トシテ只今考ヘテ居リマスルノハ、軍作業應勞務者、ソレカラ炭礦及ビ鑛山勞務者、次ニ重要時局産業工場勞務者、是ハ内譯ヲ申上ダマスルト、金屬工業デアルトカ、機械器具工業デアルトカ、化學工業デアルトカ、窯業及ビ土石工業トカ、電氣瓦斯及ビ水道事業勞務者デアルトカ、交通運輸事業勞務者デアルトカ、土木建築勞務者デアルトカヲ豫定シテ居ルノデアリマス、是等ハ其ノ勞務ノ種類ニ依リマシテ、筋肉勞働ノ程度、詰リ「エネルギー」ヲ消耗致シマスル結果、回復ヲ要スル程度ガ違ツテ居リマスノデ、是等ニ對シテ總テ一律ノ標準デ分ケルノデアリマセヌデ、是等ヲ大體四階級位ノドノ階級カニ當嵌マルヤウニ致シマシテ、一人當リノ配給數量ヲ變ヘテ行キタイト思ツテ居リマス、例ヘバ鑛山及ビ炭礦勞務者ノヤウナ者ハ坑ニ入ツテ相當苦シイ作業ヲ致シマスノデ、出テ來テ疲勞ヲ回復シ、翌日ノ元氣ヲ養フ爲ニハ他ノ者ヨリモ餘計配給スル必要ガアリマスノデ、是ハ甲ト乙トノ二種類ニ分ケテ居ル、之ニ反シマシテ例ヘバ化學工業ノ中ニハ、或ハ劇藥等ヲ扱ツテ非常ニ體力ナリ身體其ノ他ニ有害ナル瓦斯ヲ吸込ムト云フヤウナ劇シイ勞働ノモノモアリマスレバ、ソレ程デナイト云フヤウナモノモアリマスノデ、是等ニ付テハ乙、丙、丁位ノ階級ニ分ケテ一人當リノ配給量ヲ定メタラ如何カト思ツテ居リマスガ、是等ニ付キマシテハ午前ニモ申上ダマシタヤウニ、今ココニ一應ノ腹案ハ持ツテ居リマスルガ、折角稅法酒類委員會ト云フモノガ設ケラレマスルノデ、具體的

實行ニ當リマシテハ——原案ハ此ノ程度デアリマスガ、之ニ更ニ修正ヲ加ヘマスカ致シマシテ、酒類委員會ニモ掛ケテ關係方面ノ意向モ能ク採入レマシテ決メテ參リタイト思ツテ居リマス

○有馬委員 午前中ノ質問ノ中ニ農村ニ於ケル特配ノ問題ガアリマシタガ、農村ニモ特配ヲヤツテ居ルト云フ主稅局長ノ御話デアリマスガ、今度ノ此ノ特典ヲ受ケタ増稅ノナイ酒ハ、ヤハリ農村ニモ廻ハルノデアリマスカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○松隈政府委員 重要産業勞務者ニ付テハ只今申上ダタ通りデアリマスガ、其ノ以外ニ於キマシテモ、農業、林業、漁業、製鹽業等ノモノニハ重點配給ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ重點配給ヲ致シマスル清酒及ビ合成清酒ノ合計額ハ大體七十萬石デアリマスルガ、其ノ中無稅デハナクシテ今度ノ増稅額ノナイ酒デアリマスガ、ソレガ大體五十萬石程度デアルトハ昨日申上ダタ通りデアリマス、ソコデ先程申上ダマシタ重要産業勞務者バカリデナク、只今申上ダマシタ農林漁業等ノ業者ニ對シマシテモ、今回ノ増稅額ヲ負擔シナイ部分ノ酒ハ配ラレ得ルモノト考ヘテ居リマス

○有馬委員 酒ノ特配ノ中デ重要産業並ニ鑛山、農業方面ニ廻ハリマス内譯ハ大體御分リデハゴザイマセヌデウカ

○松隈政府委員 只今ノ所ハ各業別ニ幾ラト云フコトヲ申上ダゲルマデニ資料ガ固マツテ居リマセヌガ、今後資料ヲ充實致シマスルト共ニ、是ハヤハリ酒類委員會ニ掛ケテ確定致シタイト思ヒマスルカラ、ソレマデハ個々ノ内譯ヲ申上ダゲルマデニ至ラナイカト思ヒマス

○有馬委員 昨年度ノ特配ヨリモ十八年度殖エル見込デアリマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○松隈政府委員 昨年度ノ特配ヨリハ數量ハ少シク殖エル見込デゴザイマス

○有馬委員 酒ノ全體ノ造石高ハ減ル譯デアリマスガ、サウ致シマスルト何處ヲ減ラシテ重要産業ニ振向ケルヤウニナルノデアリマスガ

○松隈政府委員 昨日モ御話致シマシタヤウニ重點配給ノ酒ハ特殊配給トシテ中央留保石數ノ中カラ主トシテ配給サレル譯デアリマスガ、此ノ分ニ付キマシテハ餘リ減ラサズニ、主トシテ業務用酒ヲ減ラシマシテ、ソレヲ特配用ト家庭用トニ振向ケテ居ルヤウナ次第デアリマス

○有馬委員 私ハ今日ノ生産力擴充ノ急務ナル時ニ、モウ酒ハ單ニ嗜好品デナクテ、生産ノ絕對必要品ニナツテ來テ居ルノデハナイカト信ズルモノデアリマスガ、斯クノ如キ意味ニ於テ、昨年度ノ特配ノ狀態ヲ見マス、各鑛山ニ於キマシテモ、農村ニ於キマシテモ、全ク燒石ニ水ト云フ程度デアリマシテ、何處ノ鑛山工場ニ參リマシテモ、モウ少シ酒ガアツタナラバ、又農村ニ於キマシテモ、モウ少シ酒ガアツタナラバト云フヤウナ聲ガ非常ニ悲痛ニ起ツテ居ルノデアリマスガ、更ニ私ハ今主稅局長ガ申サレタヨリ以上ニモツト特配ヲ此ノ際ハ増強シテ貰フ必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、就中今日戰力增強ノ爲ニ特ニ必要ナルモノハ船舶デアルコトハ私ガ申スマデモアリマセスガ、此ノ船舶ノ運営ニ當リマシテ、一番重要ナ問題ハ御承知ノ如ク荷役デアリマスガ、此ノ荷役ノ能率ヲ上ゲル

爲ニハ正シク酒ト云フモノガ一番必要ナ條件ニナツテ居リマスガ、先程ノ御説明ノ中デ荷役ニ對スル特配ト云フモノハドウナツテ參リマスガ

○松隈政府委員 先程御話致シマシタ重要産業業務者ノ中ノ交通業ノ中ニ包含セラレテ居ルノデアリマシテ、從來ニ於キマシテモ港灣荷役ニ從事致シマスル業務者ニハ酒類ヲ特配致シテ居リマスガ、今後ニ於キマシテモ特配ヲ致ス部類ニ入レテ出來ルダケ數量ノ確保ヲ圖リ、且ツ其ノ中ノ一部分ハ増稅ノ負擔ノナイ酒ヲ以テ供給致シタイト思ツテ居リマス

○有馬委員 次イデ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、家庭用ノ酒ガ割當ラレルノデアリマスガ、割當ニナツテ居ルニモ拘ラズ其ノ權利ト申シマスガ、酒ヲ貰フ權利ヲ拋棄シタ場合ニ、酒屋ニソレダケノ酒ガ殘ル譯デアリマスガ、其ノ酒ハ今マデドウ云フ風ニナツテ居リマスガ、今マデ割當通りニ全部配給サレテ居リマスノカ、ソレトモ配給デ餘ツタモノガ又配給ノ統制機構ノ中ニ一遍戻ツテ來テ居ルモノガアリマスモノカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○松隈政府委員 家庭用酒ノ配給ハ、酒類販賣業者ノ店舗ヲ通ジテ配給致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ場合ニ於キマシテ割當配給ヲ行ヒ、其ノ割當ヲ受ケル方法ハ、場合ニ依ツテ切符制或ハ通帳制、時ニハ是等ノ切符制、通帳制ヲ併用シテ自由販賣制ヲ採用シテ居ル地域モアリマシテ、地域ニ依ツテ異ツテ居リマスガ、自由販賣制ヲ加味シナイデ切符制若クハ通帳制ダケデヤツテ居ル所ニ於キマシテ、偶、割當デラレタ數量ヲ買フコトナクシテ所謂棄權ヲシタト

云フ場合ニ於キマシテハ、其ノ數量ハ販賣店ニ殘ル譯デアリマスガ、其ノ場合ニ於テ出來レバ一々返サシムルカ、更ニ配給ノ元マデ戻サシムルト云フコトガ宜シイノデアリマスガ、酒類ニ付テハ品質ガ變更スルト云フヤウナ關係モアリマスノデ、一々戻サセルコトナク、次ノ配給ニソレヲ廻シテ流用割當セシメテ居ルト云フノガ實情デアリマス

○有馬委員 大藏省ノ方針ハ左様ニナツテ居リマスガ知レマセヌケレドモ、現實ノ問題トシテハ不用ニナツテ當然酒屋ニ殘ラナケレバナライ酒ガ、悉クソレハ割當テラレタト云フコトニナツテ、業務用ニ横流シシテ居ルノガ私ハ實情デヤナイカト思ヒマス、大藏省當局トシテハ取締ガ嚴重ニ行ツテ居ルト御考ヘニナツテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、ソレガ酒ノ闇ノ因ヲ作ツテ居ルト私ハ信ズルノデアリマス、モウ少シ回收サルベキ酒ヲ強硬ニ取締ル方法ハナイモノデアリマスガ、御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○松隈政府委員 酒類ノ割當配給ガ販賣業者ノ所ニ來マシタ場合ニ於テ、消費者ノ方ニ於テ受取りニ來ナイモノガアル爲ニ、販賣業者ノ手許ニ酒ガ一時的ニ殘ル、ソレガ結局横流レノ因ニナルカラシテ、ソレニ付テ取締ヲスル必要ガアルト云フコトハ、御說ノ通りデアリマシテ、出來ルダケ取締ルコトニ致シテ居リマス、又今回ハ酒造組合法ノ改正ニ依リマシテ、酒販組合ヲ構成セシメルコトニ致シマシテ、組合ノ整備ト統制ノ強化ヲ圖ルコトニ致シマスシ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、之ニ對シテハ交付金モ交付スルコトニシテ、政府モ助長致シテ參リマスノデ、從來ニ比シテ此ノ點ハ餘程改

善サレルノデハナイカト思ツテ居リマス

○有馬委員 私ハ重ネテ申上ゲマスケレドモ、今日他ノ食料品モサウデアリマスガ、一般家庭並ニ勞務者、農村等ニ於テハ比較的必要物資ガ入手難デアルニモ拘ラズ、都會ノ、就中高級料理店ニ於キマシテハ何デモナイモノハナイト云フコトガ現狀デアリマス、酒モ亦其ノ最モ著シイ例デアルト私ハ思フノデアリマスガ、是ハ單ニ物ノ配給ノ均衡ヲ圖ルトカ云フ配給ダケノ問題デハナクテ、高級料理店其ノ他ニ出入スル者ガ就中指導者階級デアルト云フヤウナコトガ、全國的ナ一ツノ問題トナツテ居リマシテ、是ガ増產ノ第一線ニ從事シテ居リマス勞務者、或ハ農村ノ純眞ナル青年ニ與ヘテ居ル影響ハ極メテ重大ナモノガアルト思フノデアリマス、寧ろ是ハ單ナル經濟問題ト云フ域ヲ通り越シテ、私ハ新シイ一ツノ思想問題ヲ生ミツツアル恐レベキ傾向ニアルノデヤナイカト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ觀點カラモウ少シ業務用ノ酒ヲ思ヒ切ツテ御減ラシニナツテ、勞務者ノ家庭ナリ農村ノ家庭ナリ、或ハ山林業者ナリニ増配ヲシテ行ク御考ヘハナイカドウカ、御伺ヒシタイノデアリマス

○松隈政府委員 業務用ノ酒ニ付キマシテハ、最初カラ見マスルト餘程減ツテ居ルノデアリマシテ、酒類ノ配給計畫ヲ立テマシタ第一期、即チ昭和十六年十一月カラ十七年ノ三月マデノ配給計畫デ申上ゲマスルト、業務用酒ノ比率ヲ從來ノ實蹟等ヲ參酌シマシテ三割四分ト致シタノデアリマスガ、其ノ後大東亞戰爭ノ勃發ニ伴ヒマシテ、料理店待合等ノ如キ場所ノ消費ヲ相理抑制セシメル必要ヲ感ジマシテ、二割五分五厘

ニ縮減シタノデアリマス、ソレカラ十七年ノ四月カラ十二月マデノ第二期ノ配給計畫ニ於キマシテハ、業務用ノ清酒及ビ合成清酒ノ割合ハ二割五分ニ落チタノデアリマス、更ニ本年ノ一月カラ三月マデノ第三期ノ配給計畫ニ於キマシテハ、二割五分ヲ更ニ減ラシマシテ二割六厘ニ致シテ居リマス、隨テ昨年ノ四月カラ本年ノ三月マデノ一年間ノ業務用ノ配給石數ハ六十三万石ニナツテ居リマス、併シ是ハ比較的減リ方ノ少カツタ時期ヲ含デノ一年間デ六十三万石デアリマス、最近ノヤウナ二割六厘ト云フヤウナ比率ニ減ラシテ、其ノ儘一年間ヲ考ヘテ見マス、四十九万石位シカ配給ニナラナイ譯デアリマス、ソコデ之ヲ昭和十三酒造年度ノ業務用酒ノ推定消費高ノ百七十九万石ニ比較シテ見マス、三割五分一厘ニ減ツテ居ル譯デアリマス、即チ六割五分程度モ減少ヲ受ケテ居ル譯デアリマス、先程申上ガマシタ最近ノ狀況デ推定シタ年間配給數量ハ四十九万石ヨリ更ニ減少スル見込デアリマスカラ、昭和十三年當時ニ比ベテハ、二割六厘位ノ配給シカナイ、斯ウ云フ譯デアリマス、酒類全體ノ、詰リ清酒、合成清酒配給石數ガ昨年ノ四月カラ本年三月マデノ一年間デ二百六十三万石デアツテ、此ノ方ハ昭和十三酒造年度ノ推定消費石數ノ四百九十六万石ニ比ベマス、二割三分程度ニ減ズルノデアリマス、デアリマスカラ清酒、合成清酒全體ヲ通ジテハ五割三分程度ニ減ツテ居ルノニ對シテ、業務用酒ダケヲ抽出シテ見レバ三割五分ニ減ツテシマツテ居ル、更ニソレハマダ良イ實績ガ相當人ツテノ上デアツテ、最近ノ惡イ實績ダケヲ一年間ニ直シテ見レバ、實ニ昭和十三年當時ノ二割

六厘ニ減ツテシマツテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀況デアリマス、ノデ、業務用酒ハ相當壓縮ヲ受ケテ居リマス、併シ今後ノ情勢如何ニ依ツテハ、私ハ尙ホ是ヨリモモツト壓縮シテモ差支ナイと思ツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ最近ノ基準ニ依ル年間配給見込石數四十九万石ト云フモノヲ維持シタイトハ考ヘテ居リマセヌ、是ヨリモ又或ル程度減ルヤウナ計畫ガ四月以降ニハ立テラレルと思フノデアリマスガ、餘リ急激ナ變化ヲ與ヘマス業者ノ方デモソレニ對應出來ナイデ、又ソコニ不正行爲ナンカガ行ハレマスノデ、憤レルニ從ツテ業務用酒ハ或ル程度マデ減ラスヤウナ方策ヲ立テテ酒類委員會ニ原案ヲ掛ケヤルウニシテ参リタイト考ヘテ居リマス

キマシテハ、平均ヨリモ強イ歩合ヲ以テ減ラシテ居リマス、第二ノ階級ト致シマシテハ、第一級以外ノ料理店、例ヘバ簡易ナル料理店、或ハオデン屋ト云ツタヤウナ所ガ入ルノデアリマスルガ、ソレニ付テハ大體平均程度ノ減ラシ方ヲシテ居リマス、第三階級ハ主トシテ労働者、下級「サラリーマン」等ノ立飲所ト云ツタヤウナ所デアリマシテ、見方ニ依ツテハ家庭デ飲ムコトガ出來ナイカラ、家庭ノ延長ミタイニシテ簡單ニ酒ダケヲ飲ムト云ツタヤウナ場所デアリマス、サウ云フ所ハ出來ルダケ減ラサナイト云フヤウナ方針ヲ執ルコトニ致シテ居リマス、先程申上ガマシタ本年ノ一月カラ三月マデニ酒類配給委員會ニ於キマシテ、業務用酒ヲ一割五分平均ニ減ラシタイト云フ案ヲ立テマシタ際ニ於キマシテモ、第一級ノ場所ニ於テハ二割五分減ラス、第二級ノ場所ニ於テハ平均一割二分五厘程度減ラス、第三級ノ場所ハ殆ド減ラサヌデ宜シイト云フヤウナ案ヲ同時ニ付ケテ、成ベク其ノ方針ニ從ツテ地方デモ配給案ヲ立テルヤウニト云フ指示ヲシタ例モゴザイマス、尙ホ其ノ平均デ一割五分、減ラシテ、最高ハ二割五分減リ最低ハ殆ド減ラナイト云フ案ガ其ノ儘實行サレテ居ルカト申シマス、其ノ後一層窮迫ニナリマシタノデ、ソレニ對シテ又更ニ一割五分位今度ハ平均ニ減ラセト云ツテ居リマスルカラ、第一級ニ屬シマスル業者アタリデハ、三月ノ減リ方ト云フモノハ相當ナ割合ニナツテ居ルト思ヒマス

是ガ恐ラク現實デナイカト思フノデアリマス、大藏省ノ計畫ハ斯クノ如クモウ時局ニ適シタ配給方法ヲヤツテ居ルニモ拘ラズ、一面サウ云ツタ事實ガ現實トシテ存在シテ居ルト云フコトハ、結局ハ何處カラカ横流レガ行ハレテ居ルト云フコトデアアラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ酒ノ場合ニ付キマシテ横流レヲ防止スルト云フ方法ニ付テ、今日マデ色々御處置モ執ツテ居ラレルと思ヒマスガ、今後更ニモツト私ハ強化スル必要ガアルノデハナイカト思ヒマスガ、何カ其ノ御方針ガアレバ承リタイト思ヒマス

○松隈政府委員 從來ニ於キマシテモ、家庭用酒ト業務用酒ト同ジ徑路ヲ以テ配給致シマスルコト云フト、兎角横流レガ起リマスノデ、家庭用酒ハ一般小賣業者ヲ通ジテ配給致シマスルガ、業務用酒ニ付キマシテハ、從來業務用酒ヲ扱ツテ居リマシタ者ヲ致シマシテ、一種ノ共販組合ノヤウナモノヲ組織セシメテ、個々ニハ扱ハズニ、其ノ扱ツテ居ツタ權利ヲ繼メテシマヒマシテ、酒ハ各需要者ノ營業ノ種類毎ニ取扱者ヲ定メマシテ、製造業者ノ方カラ成ベク繼メテ需要者ノ代表者ノ方ニ渡サヤウニ致シマシテ、其ノ間ノ混淆ヲ避ケルヤウニシテ參ツタノデアリマスガ、今回酒販組合ヲ設置スルニ當リマシテモ、ヤハリ家庭用酒ヲ扱ヒマスル酒販組合ト業務用酒ヲ扱ヒマスル酒販組合トハ之ヲ分チマシテ、サウシテ更ニ組合ノ規定其ノ他ヲ整備致シマシテ、酒類配給ノ適正ヲ期スルコトニ付テハ十分留意シテ参リタイト思ツテ居リマス

○有馬委員 其ノ酒ノ横流レヲ特ニ強固ニ防止シテ貰フコトガ一ツト、今後ノ酒ノ配給ニ當リマシテハ、全面的ニ重要産業

ニ縮減シタノデアリマス、ソレカラ十七年ノ四月カラ十二月マデノ第二期ノ配給計畫ニ於キマシテハ、業務用ノ清酒及ビ合成清酒ノ割合ハ二割五分ニ落チタノデアリマス、更ニ本年ノ一月カラ三月マデノ第三期ノ配給計畫ニ於キマシテハ、二割五分ヲ更ニ減ラシマシテ二割六厘ニ致シテ居リマス、隨テ昨年ノ四月カラ本年ノ三月マデノ一年間ノ業務用ノ配給石數ハ六十三万石ニナツテ居リマス、併シ是ハ比較的減リ方ノ少カツタ時期ヲ含デノ一年間デ六十三万石デアリマス、最近ノヤウナ二割六厘ト云フヤウナ比率ニ減ラシテ、其ノ儘一年間ヲ考ヘテ見マス、四十九万石位シカ配給ニナラナイ譯デアリマス、ソコデ之ヲ昭和十三酒造年度ノ業務用酒ノ推定消費高ノ百七十九万石ニ比較シテ見マス、三割五分一厘ニ減ツテ居ル譯デアリマス、即チ六割五分程度モ減少ヲ受ケテ居ル譯デアリマス、先程申上ガマシタ最近ノ狀況デ推定シタ年間配給數量ハ四十九万石ヨリ更ニ減少スル見込デアリマスカラ、昭和十三年當時ニ比ベテハ、二割六厘位ノ配給シカナイ、斯ウ云フ譯デアリマス、酒類全體ノ、詰リ清酒、合成清酒配給石數ガ昨年ノ四月カラ本年三月マデノ一年間デ二百六十三万石デアツテ、此ノ方ハ昭和十三酒造年度ノ推定消費石數ノ四百九十六万石ニ比ベマス、二割三分程度ニ減ズルノデアリマス、デアリマスカラ清酒、合成清酒全體ヲ通ジテハ五割三分程度ニ減ツテ居ルノニ對シテ、業務用酒ダケヲ抽出シテ見レバ三割五分ニ減ツテシマツテ居ル、更ニソレハマダ良イ實績ガ相當人ツテノ上デアツテ、最近ノ惡イ實績ダケヲ一年間ニ直シテ見レバ、實ニ昭和十三年當時ノ二割

六厘ニ減ツテシマツテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀況デアリマス、ノデ、業務用酒ハ相當壓縮ヲ受ケテ居リマス、併シ今後ノ情勢如何ニ依ツテハ、私ハ尙ホ是ヨリモモツト壓縮シテモ差支ナイと思ツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ最近ノ基準ニ依ル年間配給見込石數四十九万石ト云フモノヲ維持シタイトハ考ヘテ居リマセヌ、是ヨリモ又或ル程度減ルヤウナ計畫ガ四月以降ニハ立テラレルと思フノデアリマスガ、餘リ急激ナ變化ヲ與ヘマス業者ノ方デモソレニ對應出來ナイデ、又ソコニ不正行爲ナンカガ行ハレマスノデ、憤レルニ從ツテ業務用酒ハ或ル程度マデ減ラスヤウナ方策ヲ立テテ酒類委員會ニ原案ヲ掛ケヤルウニシテ参リタイト考ヘテ居リマス

キマシテハ、平均ヨリモ強イ歩合ヲ以テ減ラシテ居リマス、第二ノ階級ト致シマシテハ、第一級以外ノ料理店、例ヘバ簡易ナル料理店、或ハオデン屋ト云ツタヤウナ所ガ入ルノデアリマスルガ、ソレニ付テハ大體平均程度ノ減ラシ方ヲシテ居リマス、第三階級ハ主トシテ労働者、下級「サラリーマン」等ノ立飲所ト云ツタヤウナ所デアリマシテ、見方ニ依ツテハ家庭デ飲ムコトガ出來ナイカラ、家庭ノ延長ミタイニシテ簡單ニ酒ダケヲ飲ムト云ツタヤウナ場所デアリマス、サウ云フ所ハ出來ルダケ減ラサナイト云フヤウナ方針ヲ執ルコトニ致シテ居リマス、先程申上ガマシタ本年ノ一月カラ三月マデニ酒類配給委員會ニ於キマシテ、業務用酒ヲ一割五分平均ニ減ラシタイト云フ案ヲ立テマシタ際ニ於キマシテモ、第一級ノ場所ニ於テハ二割五分減ラス、第二級ノ場所ニ於テハ平均一割二分五厘程度減ラス、第三級ノ場所ハ殆ド減ラサヌデ宜シイト云フヤウナ案ヲ同時ニ付ケテ、成ベク其ノ方針ニ從ツテ地方デモ配給案ヲ立テルヤウニト云フ指示ヲシタ例モゴザイマス、尙ホ其ノ平均デ一割五分、減ラシテ、最高ハ二割五分減リ最低ハ殆ド減ラナイト云フ案ガ其ノ儘實行サレテ居ルカト申シマス、其ノ後一層窮迫ニナリマシタノデ、ソレニ對シテ又更ニ一割五分位今度ハ平均ニ減ラセト云ツテ居リマスルカラ、第一級ニ屬シマスル業者アタリデハ、三月ノ減リ方ト云フモノハ相當ナ割合ニナツテ居ルト思ヒマス

是ガ恐ラク現實デナイカト思フノデアリマス、大藏省ノ計畫ハ斯クノ如クモウ時局ニ適シタ配給方法ヲヤツテ居ルニモ拘ラズ、一面サウ云ツタ事實ガ現實トシテ存在シテ居ルト云フコトハ、結局ハ何處カラカ横流レガ行ハレテ居ルト云フコトデアアラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ酒ノ場合ニ付キマシテ横流レヲ防止スルト云フ方法ニ付テ、今日マデ色々御處置モ執ツテ居ラレルと思ヒマスガ、今後更ニモツト私ハ強化スル必要ガアルノデハナイカト思ヒマスガ、何カ其ノ御方針ガアレバ承リタイト思ヒマス

○松隈政府委員 從來ニ於キマシテモ、家庭用酒ト業務用酒ト同ジ徑路ヲ以テ配給致シマスルコト云フト、兎角横流レガ起リマスノデ、家庭用酒ハ一般小賣業者ヲ通ジテ配給致シマスルガ、業務用酒ニ付キマシテハ、從來業務用酒ヲ扱ツテ居リマシタ者ヲ致シマシテ、一種ノ共販組合ノヤウナモノヲ組織セシメテ、個々ニハ扱ハズニ、其ノ扱ツテ居ツタ權利ヲ繼メテシマヒマシテ、酒ハ各需要者ノ營業ノ種類毎ニ取扱者ヲ定メマシテ、製造業者ノ方カラ成ベク繼メテ需要者ノ代表者ノ方ニ渡サヤウニ致シマシテ、其ノ間ノ混淆ヲ避ケルヤウニシテ參ツタノデアリマスガ、今回酒販組合ヲ設置スルニ當リマシテモ、ヤハリ家庭用酒ヲ扱ヒマスル酒販組合ト業務用酒ヲ扱ヒマスル酒販組合トハ之ヲ分チマシテ、サウシテ更ニ組合ノ規定其ノ他ヲ整備致シマシテ、酒類配給ノ適正ヲ期スルコトニ付テハ十分留意シテ参リタイト思ツテ居リマス

○有馬委員 其ノ酒ノ横流レヲ特ニ強固ニ防止シテ貰フコトガ一ツト、今後ノ酒ノ配給ニ當リマシテハ、全面的ニ重要産業

並ニ農村方面ニ超重點配給ヲシテ戴イテ、農村並ニ重要産業内ニ働イテ居ル勞務者ノ心理的ナ微妙ナ作用ガアル譯デアリマスカラ、其ノ點ヲ十分顧慮サレテ、業務用ノ特ニ高級料理店ニ振向ケラレル酒ハ、數量ノ問題デハナクテ、問題ノ性質ハ思想問題ヲ醸シツアル重要ナ問題デアリマスカラ、尙ホ一層御注意ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、此ノ機會ニ序ニ御伺ヒシタイノハ、最近農村ニ於キマシテハ酒ガ非常ニ入手難ニナツテ居リマス爲ニ、殆ドハ全國的ナ傾向デアルト思ヒマスガ、濁酒ノ醸造ガ行ハレテ居ルノデアリマスガ、此ノ問題ニ付テハ大藏省ハ如何ナル御方針デゴザイマスカ承リタイ

○松隈政府委員 御話ノヤウナ酒類ノ供給ガ減ツテ居リマスノデ、酒類ノ入手難カラ各地ニ於キマシテ多少トモ濁酒ノ密造ガ殖エテ居リマス、濁酒ニ付キマシテハ、特殊趣味ガゴザイマシテ、必ズシモ全國一樣ノ狀況デハナイヤウデアリマス、之ニ特別ノ親シミヲ沿革的ニ持ツテ居リマスル地方ガ、ドウシテモ濁酒密造ノ誘惑ニ掛リ易イヤウデゴザイマス、一方ニ於キマシテ酒稅モ増徴サレテ參リマスル今日、濁酒密造ニ依ツテ租稅負擔ヲ致サナイ酒ヲ飲ムト云フコトハ、負擔ノ權衡上モ洵ニ宜シクナイコトデアリ、違法觀念カラ言ツテモ遺憾ナコトデアリマスルノデ、稅務署ト致シマシテハ、人員經費ノ許ス範圍内ニ於テ、出來ルダケニ是ガ取締ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、密造犯ノ檢舉件數ト云フモノハ、最近ハ漸次増シツツアリマスルコトハ甚ダ遺憾デアリマシテ、昭和十五年當時ニ於テハ三千件程度デアリマシタガ、十六年ニ於テハ

四千件程度ニナリ、十七年ニ於テハ約七千件ニナツテ居ルト云フヤウナ狀況デ、洵ニ寒心ニ堪ヘナイモノガアルノデアリマスルガ、今後トモ取締ヲ強化致シマスル共ニ、農村方面ヘノ酒ノ配給量ノ確保ニ付テハ一層注意スルヤウニシテ參リタイト思ヒマス

○中島(彌)委員 今ノ問題ニ關聯シテ主稅局長ニ一寸御尋ネ致シマス、或ル縣ノ如キハ非常ニ密造ガ激シクテ、更ニ是ガ清酒ニマデ及ンデ居ル、之ヲ嚴重ニ取締ルト治安ガ案レルト云フ所マデ行ツテ居リマス、餘リ取締ラス方ガ宜クハナイカ、相當ニヤハリ緩ヤカニ見テヤツタ方ガ、却テ戰時ニ於ケル人心ノ緩和ニナリハセヌカト思フ、是ハ「笹ノ中」下力「崖」下「下」カ云フ名前ガ酒ニ付イテ居リマシテ、相當ニ行ツテ居ルノデステレドモ、之ヲ下手シテヤルト惡イ、私色色體驗シテ來マシタガ、餘程ソコハ手心ガ要リマスノデ、ヤハリ潤ヒノアル政治ガ必要デス、私ハ曾テ某君ト二人デ某縣ニ密造ノ檢舉ニ行キマシテ、朝ノ六時カラ農家ヲ臨檢シタヤウナコトモアツタノデス、有名ナ猫ノ澤事件ト云フモノヲ起シタコトモアリマシタガ、今日ハ其ノ當時トハ違ヒマシテ、餘程取締ヲ上手ニヤラナレバ、此ノ戰時ニ於ケル人心ヲ害シマスカラ、是ダケ一ツ御注意申シテ置キマス

○小林(綱)委員 關聯シテ質問致シマス、有馬君ノ質問ハ洵ニ適切ナ御質疑デアリマシテ、當局ノ御答ヘニ依リマシテ大イニ得ル所ガアツタノデアリマスガ、關聯シテ一、二點伺ヒタイト思フノハ、酒ニ對スル從來ノ政府ノ考ヘハ大體ニ於テ酒ハ贅澤品デア、成ベク製造高ハ壓縮スルト云フ風ニ努メテ來ラレタカノヤウニモ考ヘル、農林省

ニ於カレマシテモ、米ト云フモノニ重點ヲ置イテ居リマスカラ、成ベク酒ヲ減ラシテ吳レト云フヤウナ主張ヲ段々強メテ來テ居リマス、是ハ事情已ムヲ得ナイ點モアリマセウ、又大藏省ニ於カレテモ、之ト步調ヲ一ニシテ、酒ノ釀造高ハ年々減ラシテ來テ居ル、然ルニ今日ハ最早酒ハ贅澤品デハナイ、酒ハ之ヲ親シム者ニ取ツテハ生活必需品デアルト云フコトヲ認識サレテ來タラウト思フ、ソレハ現ニ其ノ日ノ疲勞ヲ回復シテ翌日ノ工作能率ヲ上ゲルニハ、ドウシテモ酒ヲ飲マセナクテハナラヌト云フ點カラ見テモ明カナコトデアリマス、ソコデ先ヅ根本ノ一ツノ問題ト致シテハ、モウ少シ酒ヲ造ツタラドウカ、米ハ一千万石以上餘計ニ出來タノデアリマスカラ、本年ハ酒ニ米ヲ百五、六十萬石カラ二百万石御使ヒニナツタノデアリマセウガ、モウ五割増シタ所デ百万石デハナイカ、倍ニシタ所ガ三百五、六十萬石米ヲ使フ氣ニナルナラ、相當酒需要ノ狀況ヲ緩和スルコトガ出來ルノデハナイカ、ソコデ問題ハ、餅ニシテ食フ者モアレバ「パン」ニシテ食フ者モアル、團子ニシテ食フ、餛飩ニシテ食フ、素麵ニシテ食フト云フ風ニ米麥ガ使ハレマスガ、酒ニシタ場合ニハソレハモウ食糧トシテノ價值ガナクナル、消エテシマフ、併シナガラ若シ酒ヲ一合飲メバ、米ヲ一合食ツタノト同ジ效

果ガアルトスレバ、餘程是ハ考ヘ直サナケレバナラヌ問題デハナイカ、ソレハ從來酒ガ贅澤品デアルト云フ見地カラ考ヘテ居リマシタ時ト、酒ガ必需品デアルト云フ今日ノ見方カラ見マス時トニ依ツテ、非常ニ其ノ點ガ變ツテ來ルト思フ、是ハ餘程政府ニ於カレテモ、馬ラ壁ニ乘リ付ケテシマツタヤ

ウナ——酒ハ贅澤品ダカラ生産量ハ成ベク減ラスト云フ從來ノ方針デヤツテ來タノヲ、少シ考ヘニユトリヲ以テ考ヘ直シテ行ツタラドウカ、是ハ政府ノ根本政策トシテ一ツ能ク御考ヘニナツテ見ラレタラドウカト思フノデアリマス、從來酒ノ問題ガ年々議會ニ出マシテ、殊ニ有名ナ根本正以來禁酒禁煙ノ論ガ出テ居ル、サウ云フ機會ニ直接生産ニ從事シテ居ル人達カラ色々酒ニ付テノ話ヲ私共伺ツテ居ツテ、今マデ自分等ノ得タ所デハ酒ハ贅澤品ト思ツテ居ラス、酒ヲ飲メバソレダケ飯ヲ少ク食フカラ、翌日ノ能率ニ關係スルト云フ點ヲ除キマシテモ、酒ヲ飲シダツテ宜イデハナイカト云フコトヲ考ヘテ來テ居ルノデアリマスガ、政府ハ之ニ付テ今御答辯ノ必要ハアリマセヌカラ、ドウカ將來酒ノ政策ヲ御檢討ナサル場合ニハ、頭ニユトリヲ以テ、考ヘ直シテ見ラレヤウニ願ヒタイト思フノデアリマス

モウ一ツハ酒ガ非常ニ不足シテ來タ場合、酒ガ非常ニ不足スルコトハ煙草ガ非常ニ不足スル場合ト同ジデセウ、食糧一般ニ非常ニ不足ヲ來シタ場合トヤハリ同様ニ見テ宜イノデハナイカト思フ、今密造ノ話ガアリマシタガ、是ハ主稅局長御承知デアリマセウケレドモ、歐洲大戰中ニ於テ「アメリカ」ハ禁酒法ヲ斷行致シマシタ爲ニ、「ロッキ」山ノ山中、或ハ「ネヴァダ」ノ山中デ「ムイン・シャイン」詰リ酒ノ密造ガ行ハレテ居ツタ、ソレカラ一方「カナダ」カラハ「ナイヤガラ」ノ瀧、アノ邊ノ國境ヲ超エテ酒ヲ持ツテ入ツテ來ル、或ハ「スコットランド」カラ快速艇ニ乗セテ「ニューヨーク」ヤ「ボストン」ニ酒ヲ持ツテ入ツテ來ルト云フコトガアリマシタ、ソレデモ段々窮屈ニナツテ、

終ヒニハ「ベラム」ヲ飲ミ、或ハ「メチー
ル・アル・コール」ヲ飲ンデ、多クノ人命ヲ損
ツタ、果テハ「ダイナマイト」ヲ耳搔デ搔イ
テ「コップ」ニ入レテ水ヲ滿タシテソレヲ飲
ムト、酒ヲ飲ンダヤウニフラノスル、此
ノ禁酒法ノ結果トシテ、「アメリカ」ノ國民
ノ道德、法ノ威信ト云フモノハ全然地ヲ拂
ツタ、是ハ容易ニ取返セナイエライ事態ナ
ノデアリマス、ソコデ此ノ度ノ戰爭ニ於テ
モ禁酒ヲヤルカ、ヤラヌカ、私ハ興味ヲ持
ツテ見テ居リマシタガ、今日マデハ禁酒法
ヲ出シテ居ラス、斯ウ云フ事例カラ見テモ
酒ヲ餘リヒドク抑ヘルト云フコトハ非常ニ
考ヘモノデアリマスカラ、濁酒ヲ造ルナリ、
其ノ他適當ナ方法モ併セテ御考ヘヲ願ヒタ
イト思フノデアリマス

ソレカラモウ一ツハ庫出税ヲ免除シタ酒
ヲ重要産業方面ニ廻ハスト云フコトデアリ
マスガ、是ハ主税局ノ非常ナ親切ナ御考ヘ
カラ來テ居ルト思ヒマスケレドモ、是ハ勞
務者ノ中ニハ酒ヲ好ク者モアレバ、砂糖ヲ
好ク者モアル、砂糖ガ好キナ者ニハ税金ノ
課カラヌ甘イ物ヲ食ベサセル、税金ノ課カ
ラヌ煙草モヤラナケレバナラヌト云フコト
ニナル、税金一本デ以テサウ云フコトニ觸
レルト、寧ロ結果ハ複雑ニナルバカリデア
ツテ感心シナイ、唯配給ノ數量等ニ於テ考
慮サレタラ、ソレガ丁度適當ナ御處置デハ
ナイカト私ハ思ヒマス、ソレダケヲ御伺ヒ
シマシテ私ノ質問ノ場合ニ尙ホ詳シイコト
ヲ申上ゲマス

○松隈政府委員 先ニ中島委員ノ御發言ニ
對シテ先ヅ御返事ヲ申上ゲテ置キタイと思
フノデアリマス、中島政府ハ酒不足カラ各
地ニ或ル程度密造ガ行ハレテ居ル、是ハ由

由シイ政治問題ヲ惹起スル虞モアルカラ、
此ノ際取締ルト云フヤウナコトヲ寧ロ止メ
テシマツタラドウカ、斯ウ云フ御話デアリ
マスルガ、政府ト致シマシテハ、明カニ自
家用濁酒ヲ公許スルト云フヤウナ政策ヲ執
リマスレバ、別デアリマスルケレドモ、之
ニ付テハ研究致シテ見マスル所、種々又弊
害ヲ伴フ問題デアリマスルノデ、到底公許
ヲスル譯ニハ參ラス、斯様ニ考ヘテ居リマ
ス、サウ致シマスルナラバ、此ノ際違法ノ
コトデアリマスルカラ、出來ルダケ取締ツ
テ參リタイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲル外ハ
ナイノデアリマス、中島サンノ御質問ニ對
シテ、主税當局ガ假ニモモウ取締ラナイデ
モ宜シイト云フヤウナコトヲハツキリ言ツ
タト云フコトニナルト、是ハ重大事態ヲ惹
起シテシマヒマスノデアリマスカラ、私ト

致シマシテハ政府ノ方針ガ濁酒公許ト云フ
コトニハツキリ決マリマスマデハ、濁酒ヲ
許可ナクシテ造ル、所謂密造ハ無免許犯デ
アツテ、之ニ對シテハ取締ル外ハナイ、出
來ルダケ取締ツテ參リタイ、斯様ニ存ズル
次第デアリマス

○中島委員 一寸誤解シテ居リマス、
私ノ言フノハサウ云フ意味デハナイノデ
ス、吾々ハ若カリシ頃大藏省ニ居リマシタ
時ニ、仙臺ヘ行ツテヤツテ居ツタ、詰リ餘
リニ過度ナ人権蹂躪ノ取締ラスルナト云
フノデアリマス、例ヘバ農村ヘ入ツテ行ツ
テ濁酒ガアルカナイカ、是位ノモノヲ持ツ
テ壁ヲ突ク、付イテ來ルト直グ引張り上ゲ
ル、農村ノ壁ハ殆ド穴ダラケニナツテ居リ
マス、吾々モ實際白狀スレバヤツタコトガ
アリマス、煙草ト酒ト一緒ニヤリマシテド
ンドン擧ゲテ來マシテ、人権蹂躪ノナヒド

イコトヲヤツテ、稅務官吏ニ傷害ヲ加ヘラ
レルヤウナ事件マデ起ツタ、ソコマデ行ツ
テハイカヌト云フコトヲ言ツタノデアリマ
ス

○松隈政府委員 只今ノ御趣旨デ、人権蹂
躪ノナコトヲヤツテハイカヌト云フコトデ
アリマスレバ、洵ニ御説ノ通りデアリマス、
今日ニ於キマシテハ稅務官吏ノ頭モ昔ト餘
程違ツテ、サウ亂暴ナコトヲヤリモ致シマ
セヌシ、又世間モ中々サウ云フヤウナコト
ヲ默過モシテ居リマセヌカラ、先ヅ行過ギ
ナコトハナイト思ヒマスガ、サウ云フ非立
憲的ナコトヲスルト云フコトニ付キマシテ
ハ十分ノ注意ヲ加ヘツツ、取締ヘ取締デヤ
ツテ行クコトニ致シマスカラ、左様御承知
ヲ願ヒタイト思ヒマス

次ニ小林議員ノ御質問ガ三點バカリゴザ
イマシタカラ、之ニ對シテ御答ヘヲ申上ゲマス、
政府ノ酒ニ關スル方策ガ酒ヲ奢侈品ナリト認メ
テ酒ヲ減ラス方ニ向ツテ來テ、而モ今ヤ其ノ政
策ガ壁ニ馬ヲ乗り付ケタヤウニナツテ居ルデ
ハナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスルガ、其
ノ點ハ些カ所見ヲ異ニシテ居ルノデアリマシ
テ、酒ニ付キマシテハ業務用酒ノ一部等ニ付
キマシテハ奢侈的ナ分子モアリ、或ハ消費
ヲ抑制シテ差支ヘナイヤウナ方面モゴザイ
マスルケレドモ、此ノ方面ハ最近非常ニ減
ラシテ參ツテ居リマスルシ、且ツ酒全體ノ
釀造高モ減ツテ居リマスルノデ、マア今日
ノ程度ノ酒デアリマスレバ、非常ニ生活必
需品ニ近イモノニナツテ來テ居ルノデアリ
マス、隨テ酒ヲ非常ニ減ラス必要ハナイト
認メテ居ルノデアリマス、ソレニモ拘ラズ
昨酒造年度ト今酒造年度ト比ベルト、昨日
モ申上ゲマシタヤウニ清酒ニ於テハ二割カ

ラ減ルト云フヤウナ狀況ニナツテ居リマス
ルノハ、是ハ全ク米穀供給ノ特別ナ事情カ
ラ來テ已ムニ已マレズ之ヲ減ラシタヤウナ
次第デアリマス、酒ダケノ見地カラ申上ゲ
マスレバ、殊ニ之ヲ配給宜シキヲ得テ重要
産業ニ從事致シマスル勞務者等ニ配レバ、
ソレニ依ツテ生産擴充ヲ刺戟スルコトモ出
來マシテ、其ノ效果モ非常ニ認メラレルノ
デアリマスカラ、關係各方面ト相談致シタ
場合ニ於キマシテモ、最近程度ノモノデア
ラバ、モウ出來ルナラバ減ラシタクナイ、場
合ニ依ツテハ幾分増産セシメテ必要ナ方面
ニハ配給致シタイト云フ意見ガ相當強カ
タノデアリマス、併シ御承知ノ通りノ船舶ノ
狀況デアリマシテ、是ガ爲ニ各方面ノ物資
ガ非常ニ壓縮サレ、需要ノ「バランス」ヲ失シ
マシテ規正ヲ受ケルコトニナツタノデアリ
マス、其ノ際ニ於テ酒造用米ガ約二割程度
減ラサレルト云フコトモ、一方ニ於テ「ボー
キサイト」ガ運ベナイトカ、或ハ鐵礦石ガ運
ベナイトカ、石油ガ運ベナイトカト云フコ
トト睨合セテ考ヘレバ、先ヅ「我慢」シ
ナクテハイケナイノデハナイカト、斯ウ云
フコトデ茲ニ落着イテ居ルノデアリマシテ、今
日ニ於キマシテハ酒ノ釀造品ナルガ爲ノ規
正ニアラズシテ、酒ハ配リ方如何ニ依ツテ
ハモウ生活必需品デ、其ノ效果ガ大キイト
云フコトハ十分ニ認メツツ、他ノ方面カラ來
ル政策ニ步調ヲ合ハセル爲ニ已ムヲ得ズ減
ラサレテ居ルト云フヤウナ事情ニアリマス
カラ、其ノ邊ノ事情ガ緩和スレバ、私ハマダ
酒ニ使ヒ得ル米ハ増シ得ルノデハナイカト
思フノデアリマスガ、又一方將來ノ見透シ
トシテ中々其ノ邊ノ事情ガコチラデ思ツテ
居ルヤウニ有利ニ展開スルカドウカ分リマ

セスカラ、米ノ制約ガ續ケラレト云フノデアレバ、米ヲ使ハナイデ酒ヲ殖ヤス方法ヲ並行的ニ考ヘル必要ガアルノデアリマシテ、其ノ方面ニ付キマシテハ目下色々ノ研究ヲ致シテ居リマス、主トシテ「アルコー」ヲ利用シテ合成清酒其ノ他清酒ニ代用シ得ルヤウナモノヲ造リ出スコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ第二點ハ、法令ヲ以テ酒ヲ禁止スルト、其ノ結果色々ノ弊害ヲ生ジテ、ツイ禁酒法ト云フモノハ破レ去ツテシマフデハナイカト云フ御話、是ハ洵ニ御尤モデアリマシテ、私モ其ノ實例ヲ能ク知ツテ居ルノデアリマスルガ、日本ノ現在ノ事情ハ、マダ酒ヲ禁止シテ飲マセナイ、其ノ爲ニ惡弊ノ生ズルト云フノ違ツテ、一時的現象トシテ酒ノ供給ガ減ツタト云フ場合ニ於ケル或ル程度ノ密造ト云フ狀況デアリマスルカラ、マダ是ガ對策ハ比較的立テ易イノデハナイカト思ツテ居ルノデアリマス、第三番目ノ御尋ネノ、酒等ニ付キマシテ税率ヲ輕減シテ配給スルノモ一ツノ方法デアレドモ、寧ろ配給數量ヲ確保スレバ稅ハ負擔サセテモ宜イデハナイカト云フコトモ確カニ一ツノ御意見デアルト思ヒマス、併シ今回間接稅ノ税率ノ引上ハ相當強引上デアリマスルノデ、勞働者ノ賃銀等ニ及ボス影響等モ考ヘマシテ、幾分デモソコニ緩和出來ルナラバ緩和ヲシタラ如何カト、斯様ナ考慮モ手傳ヒマシテ、多少手續上ノ煩瑣ハ忍ブト致シマシテ、特ニ或ル數量ヲ限ツテ安イ稅率ノ酒ヲ配ルヤウニ致シタイト云フ工夫ヲシタヤウナ次第デアリマス

○松村(光)委員長 御諮り致シマス、有馬君ノ質疑中關聯質問ト云フノハ極メテ簡單ト

思ヒマシタガ、併シ多岐ニ互リマシテ皆様カラ關聯質問ガ出マスルト、有馬君ノ質疑ガ色々紛淆致シマスルノデ、關聯質問ハ一遍質問者トモ相談シ、又委員長ニモ御話ヲ願フツ上デ御發言ヲ願フコトニ致シテ置キタイト思ヒマス

○有馬委員 私ハ濁酒ニ關スル所デ關聯質問ヲ承諾シタモノデゴザイマスカラ、濁酒ニ關スル簡單ナ御質問デゴザイマシタラ、私ハ諒承致シマス

○松村(光)委員長 今有馬君カラ濁酒ニ限リト、斯ウ云フコトデアリマスノデ、濁酒ニ關スルコト以外ノ酒ニ關スルコトデアリマシタナラバ、又順位ノ來タ時ニ御願ヒスルコトニ致シテ置キタイト思ヒマス

○中島(彌)委員 濁酒ニ付テ私ハ心配シテ居ルノデ、或ル縣デハ非常ナ官民衝突ノ所マデ行キ掛ケテ居ルノデ、實際主稅局長、サツキ御答辯サレタケレドモ、御承知ノ通り此ノ前ノ選舉デモ、非常ナエライ選舉干渉デ、殆ド品川彌二郎以來ノ選舉干渉ダツタ、下級官吏ノヤルコトハ、徹底的ニ今人權ガ蹂躪サレツツアル、ソレハ今私ガ言ハナクテモ殆ド國民ガ小サクナツテシマツテ居ル、ソレニ馬力ヲ掛ケタラ此ノ問題ハドン／＼爆發スルヤウニナツテ來マス、或ル縣ニ於テハ殆ド官民衝突ノ域マデ行キツツアルノデ、此ノ濁酒ト云フ問題ニ付テモ私ハ餘程心配シテ居ルモノダカラ警告シテ置クダケデス

○有馬委員 農村ニ於ケル濁酒ノコトニ付テハ主稅局長ノ御話デ能ク分リマシタガ、取締ルナラバハツキリ取締ツテ戴ク、又許スナラバ或ル程度限度ヲ決メテ許ストカ、ソコヲハツキリシテ戴クコトガ現下ノ急務

デハナイカ、許スノカ許サナイノカ、所謂大目ニ見テ居ルト云フ風ニ印象ハ映ツテ居リマスカラ、其ノ點ヲドウカ出來ルダケ早イ機會ニ全國的ニ決定サシテ戴キタイト思フノデアリマス、ソレハ私ノ希望デアリマス

○松隈政府委員 濁酒ヲ公許スベキヤ否ヤト云フコトハ、相當世間ノ問題トナツテ居ルノデアリマシテ、之ニ對シマシテ大藏當局ニ於テモ慎重ナル研究ヲ重ネタノデアリマスルガ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、現在ニ於テハ濁酒ハ公許出來ナイ、此ノ事ハ非常ニハツキリシテ居ルノデアリマス、或ル範圍ヲ決メテ公許シタラバト云フノデアリマスケレドモ、ソレハ結局又元ノ所ニ戻ツテ來ルノデアリマス、其ノ理由ヲ少シク詳シクナリマスガ御説明申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、若シ濁酒ヲ公許スルト云フコトニナルト、ドウ云フ事態ヲ捲起スカト云フコトデアリマスガ、第一ニ濁酒ヲ公許スルト云フコトニナリマスルト、大體農民ガ自家用濁酒ヲ造ルト云フコトニナルノデアリマスルガ、其ノ場合ニ於テ普通ノ説明ハ、紛米其ノ他供出不能ノ米ヲ使ツテ濁酒ヲ造ルカラ、ソレデ大目ニ見テモ宜カラウデハナイカ、斯ウ云フノデアリマスルケレドモ、一旦濁酒ヲ造リ出スト云フコトニナルト云フト、供出不能ノ米ベカリテ使ハズ、ツイ供出米ガ減ルト云フヤウナ事態ヲ惹起スル虞ガ多分ニアルノデアリマス、ソレカラ濁酒ヲ公許スルト云フコトニナルト云フト、勢ヒ醸造方法等モ不完全デアリマスルカラ、粗惡酒デアツテモ之ヲ飲ムト云フコトニナリマスルト、衛生上モ考慮ヲ要スルノデアリマスルガ、更ニ恐ルベキコト

ハ、自分ノ家ニ自家用濁酒ガアルト云フコトニナレバ、當時過飲ノ弊ニ陥リ易イト云フコトニナル、殊ニ女子供マデモ、近頃ハオ菓子其ノ他ノ配給モ少イデスカラ、腹ガ空イタ、ソレデヤ濁酒ガアラウ、飲ンデ置ケト云フコトニナレバ、女子供マデニ飲酒ノ弊ガ及ブト云フコトニナルトスレバ、國民ノ體力ノ問題、健康問題カラ云ツテモ、是ハ相當考究ヲ要スル問題デアリマシテ、餘リ安價ニ世間ノ聲ニ同情シテ決メルヤウナ問題デハナイト思ハレルノデアリマス、ソレカラ自家用ノ濁酒ヲ公許スルニ當リマシテハ、現在在外ノ酒ノ稅金ト云フモノガ相當高クナツテ居リマスルカラ、ドウシテモ一定數量ヲ限ツテ許ス、例ヘバ一軒ノ家デ一年ニ一斗ナラ一斗、五斗ナラ五斗ト云フヤウニ限ツテ許サナイト云フト、澤山造ラセレバソレヲ外ヘ賣ツタリ何カスルコトガ起リマス、ソレカラ其ノ場合ニ於テモ丁度自家用醬油ニ對シテ醬油稅ノ課稅ガアツタ時ト同ジヤウニ、自家用酒ヲ許シタト致シマシテモ、外ノ酒ノ稅ガ相當高イ今日、無稅デ造ラセルト云フノモ、ドウモ負擔ノ權衡ヲ得マセスカラ、ヤハリ或ル程度ノ稅ヲ取ルト云フ政策ヲ執ラザルヲ得ナイ、サウスルト農民ニ自家用濁酒ヲ許シテ、例ヘバ一軒ノ家ニ一年ニ二斗マデハ宜シイ、斯ウ言ツテ二斗ノ稅金ヲ取ルノデアリマスガ、一軒ノ家デ果シテ二斗造ツタカ、二斗五斗造ツタカト云フコトヲ調ベルトナルト、農家戸數ト云フモノハ非常ニ澤山アルカラ其ノ検査ハ容易デアリマセス、之ヲ検査ニ行カズニ申告ダケデ稅ヲ納メテ置ケバ宜イト云フコトニナレバ、ソコニ不正ヲシタ者ト不正ヲシナイ者トノ間ニ又負擔ノ均衡ヲ破

ルト云フヤウナコトニナリマシテ、ソレヲ
検査ニ行クト、ヤア多カウタンダ、ヤアソ
レハ間違ッテ居ルシダト云フヤウナ官民ノ
紛争ヲ捲起スト云フコトハ、丁度今濁酒ヲ
造ツテ居ルカ、造ツテ居ナイカト云フコト
ヲ調ベニ行ツテ官民ノ紛争ヲ捲起スノト同
ジ問題ガ、公許サレタ後ニモ殘ルノデアリ
マシテ、決シテ此ノ問題ハ公許ニ依ツテ解
決サレル問題デハナイ、斯様ニ思フノデア
リマス、ソレカラ自家用濁酒ヲ許シテ或ル
程度ノ課税ヲスルト云フヤウナ場合ニ於テ、
農民ダケニ許スノデアルカ、半農半商ノ者
ハドウナルノデアルカ、半農半商マデ許ス
ト云フコトニナレバ、今度ハ労働者ニ對シ
テモ何トカ安イ酒ヲ供給シロト云フヤウナ
問題ニナリマシテ、其ノ範圍ガ又頗ル切リ
ニクナツテ參リマス、其ノ結果ハ酒税全
體ノ減收ヲ來スト云フヤウナコトニナツテ、
是ハ財政問題ニモ關係シテ來ル、政府ハ財
政問題一點張りデ此ノ問題ニ反對スルモ
デハゴザイマセスケレドモ、ヤハリ財政收
入ノ見地カラモ相當ニハ重要ナ問題デア
ルト思フノデゴザイマスノデ、大藏當局トシ
テハ慎重ニ研究ハ續ケテ居リマスガ、濁酒
公許ニ依ツテ問題ガ解決スルモノデナイト
スルナラバ、ヤハリ濁酒ハ公許セズ、其ノ
源ヲ正スト云フ意味ニ於テ酒類ノ配給ヲ出
來ルダケ計畫合理化致シマシテ、農村ノ
方面ニ酒ノ廻ハルヤウニ、又酒不足ノ對策
トシテハ、米ガ使ヘナイナラバ使ヘナイデ
他ノ方法デ酒ヲ殖ヤスヤウニスルト云フヤ
ウナ方法ニ向ケテ行クベキモノデアルト斯
様ニ存ジテ居リマスノデ、聊カ考ヘテ居ル
所ヲ申上ゲテ御理解ヲ得タイト思フ次第デ
アリマス

○有馬委員 濁酒ノコトニ付テハ能ク諒承致
シマシタ、次ハ同ジク酒ノ配給ノ問題デアリマス
ガ、先程主税局長ノ話デハ、此ノ度ノ酒ノ恩典
配給ガ森林業者ニモ及ブト云フヤウナ御話
デアリマシテ、其ノ點ハ分リマシタガ、今
日マデハ森林業者ニ對シテハ——森林業者
ト申スヨリモ森林ノ伐採ヲヤツテ居リマス
第一線ノ勞務者ニ對シテハ酒ノ特配ガナイ
ノデアリマス、所ガ一面木炭ヲ増産シテ居
リマス木炭ノ増産戰士ニ對シテハ酒ノ特配
ガ行ハレテ居ルノデアリマス、是ハ同ジ山ノ
中デ同ジ仕事ヲシテ居ルノデアリマスガ、
木炭ハ勿論生活必需品トシテ必要缺クベカ
ラザルモノデアリマセウガ、木材ノ重要性
ト云フコトニ付テハ私ガ申上ゲルマデモナ
ク、今日ハ造船資材或ハ坑木ヲ初メトシテ
全ク直接軍需資材ノ一部ヲ占メテ居ルモノ
デアリマシテ、ソレデナクテモ木材ノ問題
ハ色々支障ガアリマシテ、今日ニ於テハ
木材飢饉ノ深刻ナ狀況ヲ現出シテ居ルノデ
アリマス、伐採シテ居ル勞務者ニ酒ヲヤツ
タカラト云ツテ木材問題ガ解決スルモノデ
ハナイト思ヒマススケレドモ、少クトモ木炭
ヲ燒イテ居ル勞務者ト同様ナ取扱ヒ位ハシ
テ呉レテモ宜イノデハナイカト云フノガ伐
採シテ居ル勞務者ノ聲デアリマス、其ノ點
ニ付キマシテ今後ドウ云フ御取計ラヒガ出
來マスカ、御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○松隈政府委員 只今御指摘ノ點ハ洵ニ御
尤モデアリマシテ、實ハ從來ノコトヲ申上
ゲマス、木炭増産ノ爲ニハ木炭生産戰士
ニ對シテ獎勵ノ意味デ酒ヲ特配シテ貰ヒタ
イト云フヤウナ話ガ、木炭ヲ生産シテ居ル
者ノ組合ノ方カラアリマシテ、ソコデ早
速酒ノ或ル數量ヲ特配致シタノデアリマス、

所ガドウモ酒ハ貴ツタケレドモ木炭ガ思フ
ヤウニ出ナイ、ソナ答ハナイガト言ツタ
所ガ、炭燒ク方ハ酒ヲ貴ツテ喜ンデ居ルケ
レドモ、其ノ材料ニナル木ヲ伐ル方ニ酒ガ來
ナイカラソツチガ木ヲ伐ラナイノデ炭燒ハ
酒ヲ飲ンデ遊ンデ居ル、斯ウ云フヤウナ話
ヲ聽キマシタノデ、成ル程ハドウモ片手
落デ、サウ云フコトガアツタノデハ木炭増
産ノ本當ノ目的ヲ達シナイ斯様ニ考ヘマシ
テ、又農林省ノ山林當局カラモ其ノ點ニ關
スル話ガアリマシタノデ、今年ノ一月分カ
ラ山林ヲ伐採スル向キニ對シテモ出スコト
ニ致シテ居ルノデアリマスガ、今後モ其ノ
邊ノ權衡ニ付キマシテハ關係當局トモ能ク
打合せシマシテ、大體同ジヤウナ職場ニ働
ク者ニ付テハ出來ルダケ不合理ヲナクサ
ウニシテ參リタイト思ヒマス
○有馬委員 次イデ私ハ酒ノ小賣業者ノ整
理統合問題ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス、
今日マデ大藏當局ハ酒屋ノ整理統合ヲ全國
的ニ進メラレテ居ルト思フノデアリマス
ガ、此ノ際其ノ現況ト申シマスカ、概況ヲ
伺ヒタイト思ヒマス
○中島委員 議事進行ニ付テ——是ハ
農林當局トモ關係スル重要問題デスカラ、
農林大臣ノ出席ヲ要求シマス
○松村委員長 此ノ際御諮リ致シマス、今
中島君カラ動議ガアリマシタガ、尙ホ是ハ農
林大臣バカリデナク商工大臣ニモ關係ガア
リマスシ、商工大臣ニ對スル質疑モ留保シ
テアリマスカラ、一應主税局長ノ答辯ヲ得
マシテ、ソレカラ御協議致シタイト思ヒマ
ス
○松隈政府委員 酒類小賣業ノ整備ニ付キ
マシテハ、昨年ノ四月二十一日ニ小賣業ノ

整備ニ關シマス閣議決定ガアリマシタノ
デ、大體其ノ方針ニ則ツテ居リマス、尙ホ昨
年五月十二日付關係五省ノ次官通牒モ出テ
居ルヤウナ次第デアリマス、酒類ニ付キマ
シテハ農林省ト協議ハ致シマスガ、大體大
藏省ニ於テ整理ノ内案ヲ作ルト云フコトニ
協議サレテ居リマス、ソコデ大藏省ノ整理
内案ノ大體ノ方針ヲ申上ゲマス、消費者
ニ對シマスル配給ノ便宜モ考ヘナケレバナ
ラナイノデアリマス、ソレト共ニ營業者ノ
適正經營規模ト云フコトモ考慮スル必要ガ
アリマスノデ、一店舗當リノ配給擔當世帯
數ト云フモノノ標準ヲ決メタノデアリマス
ガ、其ノ標準ハ六大都市等ノ密集地域ニ付
テハ三百戸、其ノ他ノ市部集團地域ニ付テ
ハ二百五十戸、町部集團地域ニ付テハ二百
戸、村落地域ニ付テハ百戸ト一應定メタノ
デアリマスガ、是ハ中央デ定メタ一應ノ標
準デアリマスノデ、尙ホ地方ノ實情ニ應ジ
マシテ適宜ノ斟酌増減ヲ行ヒ得ルコト致
シマシテ、店舗配置ノ適正ヲ期セシムルコ
トト致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ酒
類小賣業ト密接ナ牽聯ヲ有シマスル味噌醬
油小賣業ノ整備トノ關係ニ付キマシテハ、
大藏省、農林省ニ於テ協議ノ上地方廳ニ對
シ、實情ニ即應セシメルヤウニ格別ノ指導
ヲ行ツテ居リマス、此ノ場合共同シテ案ヲ立
テルノヲ適當ト認メル向キハソレニ依リ、或
ハ別個ニ整理案ヲ立テルノガ宜シイト云フ事
情ニアリマスル所ハ別個ニ立テテ居ル所モゴ
ザイマス、整備實施ニ當リマシテハ財務局、地
方廳間ニ密接ナ連絡ヲ保チマシテ、財務局
系統内案ハ作成致スノデアリマスルガ、
其ノ作成ニ當ツテモ能ク地方廳ノ意見ヲ聽
クヤウニ致シマシテ、サウシテ出來上リマ

シタ上ハ各府縣ニ設ケラレテ居リマスル中
小商工業再編成協議會ト云フモノノ議ニ付
シテ、之ヲ決定スルコトニ致シテ居ルノデ
アリマス、本年ノ一月十日現在ニ於キマシ
テ、中小商工業再編成協議會ノ議ヲ經マシ
テ實施ニ移シマシタ府縣ハ大體十八程アル
ヤウデゴザイマス、ソレカラ酒類小賣業ノ
整備ニ當リマシテハ、同時ニ整備實施ノ圓
滑ヲ促進スルヲ爲メ、共助施設ヲ考
ヘテ居ルノデアリマシテ、此ノ共助施設ハ、

○松隈政府委員 一般小賣業者ノ整備方針
ト同様デアリマシテ、小賣業ヲ整備致シマ
シテ、配給ノ適正圓滑ヲ期シマスルト共ニ、
整理ニ依ツテ得マシタ人員ハ之ヲ必要ナ
ル方面ニ動員致シタイ、斯ウ云フ趣旨ニ出
テ居リマス、

其ノ一ツハ生活援護共助金ト致シマシテ、
一般ノ小賣業整備ニ於キマスル同様ニ、
生計困難ニ陥ル虞ノアルモノニ對シマシテ
ハ、當該機關ニ於テ一箇月五十圓程度ヲ殘
存同業者ノ團體カラ支給セシメルノデアリ
マスガ、其ノ中半額程度ヲ國庫カラ補助ス
ルコトニ致シテ居リマス、尙ホ營業補償共
助金ト致シマシテハ、從來ノ販賣實績ニ應
ジマシテ、殘存シマスル同業者カラ一定ノ
補償金ヲ支出セシメルノデアリマス、補償
金ニ付キマシテハ清酒及ビ合成清酒ニ付キ
マシテハ、昭和十三酒造年度ノ販賣實績一
石當リ三十圓程度ト致シテ居リマス、ソレ
カラ轉廢業者ノ資産處分ノ引受ニ付キマシ
テハ、手持商品、營業用什器等ハ成ベク有
利ナ價格ヲ以チマシテ、同業者團體又ハ國
民更生金庫ヲシテ其ノ處分ヲ引受ケシムル
ヤウニ致シテ居ル次第デアリマス、以上概
略御説明申上ゲマス

○有馬委員 整理ノ基準ガ酒屋一軒ニ當テ
テ戸數三百戸ト云フヤウナコトヲ聞イテ居
リマスガ、サウ云フ御方針針デゴザイマセウ
カ

○松隈政府委員 左様デゴザイマシテ、其
ノ點ハ先程申上ゲマシタヤウニ、六大都市、
密集地域ニ付キマシテハ三百戸程度ト致シ
タノデアリマス、此ノ一店舗當リノ配給戸
數ヲ定メマシタ標準ハ、大體兩方面カラ來
テ居ルノデアリマス、一ツハ配給ヲ受ケマ
スル、即チ酒ノ需要者ノ便宜ヲ考ヘマシテ、
三百戸ニ一軒位デアアルナラバ餘リ遠クマデ
買ヒニ行カナイデモ配給ヲ受ケ得ルデアラ
ウト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、
他ノ一面ハ、營業ヲ致シテ居リマス者ガ其
ノ程度ノ配給戸數ヲ受持チマスルナラバ、
最近多少配給ノ石數ハ減ラサレタノデアリ
マスルガ、ソレダケノ戸數ニ對スル配給ヲ受
持チマシタ場合ニ於テ、酒類配給ノ販賣差
益及ビ多クノ酒類小賣業者ハ或ル程度同時
ニ味噌醬油ヲ扱ツタリ、或ハ「マツチ」、罐詰
ノヤウナモノヲ賣ツテ居リマスルガ、ソレ
等ノ附隨業務ノ利益ヲ或ル程度見込ミマシ
テ、一年ノ所得トシテドウヤラヤツテ行ケ
ル程度ニハ致シタイ、斯ウ云フ所カラ來テ
居ルノデアリマシテ、六大都市密集地域ニ
於テ擔當戸數三百戸ヲ受持ト致シマスルト、
酒及ビ附隨商品ヲ合セテ年所得ハ千六百圓
乃至千七百圓位ノ所ニナル見込デアリマス

○有馬委員 整理ノ基準ガ酒屋一軒ニ當テ
テ戸數三百戸ト云フヤウナコトヲ聞イテ居
リマスガ、サウ云フ御方針針デゴザイマセウ
カ

○松隈政府委員 左様デゴザイマシテ、其
ノ點ハ先程申上ゲマシタヤウニ、六大都市、
密集地域ニ付キマシテハ三百戸程度ト致シ
タノデアリマス、此ノ一店舗當リノ配給戸
數ヲ定メマシタ標準ハ、大體兩方面カラ來
テ居ルノデアリマス、一ツハ配給ヲ受ケマ
スル、即チ酒ノ需要者ノ便宜ヲ考ヘマシテ、
三百戸ニ一軒位デアアルナラバ餘リ遠クマデ
買ヒニ行カナイデモ配給ヲ受ケ得ルデアラ
ウト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、
他ノ一面ハ、營業ヲ致シテ居リマス者ガ其
ノ程度ノ配給戸數ヲ受持チマスルナラバ、
最近多少配給ノ石數ハ減ラサレタノデアリ
マスルガ、ソレダケノ戸數ニ對スル配給ヲ受
持チマシタ場合ニ於テ、酒類配給ノ販賣差
益及ビ多クノ酒類小賣業者ハ或ル程度同時
ニ味噌醬油ヲ扱ツタリ、或ハ「マツチ」、罐詰
ノヤウナモノヲ賣ツテ居リマスルガ、ソレ
等ノ附隨業務ノ利益ヲ或ル程度見込ミマシ
テ、一年ノ所得トシテドウヤラヤツテ行ケ
ル程度ニハ致シタイ、斯ウ云フ所カラ來テ
居ルノデアリマシテ、六大都市密集地域ニ
於テ擔當戸數三百戸ヲ受持ト致シマスルト、
酒及ビ附隨商品ヲ合セテ年所得ハ千六百圓
乃至千七百圓位ノ所ニナル見込デアリマス

○有馬委員 整理ノ基準ガ酒屋一軒ニ當テ
テ戸數三百戸ト云フヤウナコトヲ聞イテ居
リマスガ、サウ云フ御方針針デゴザイマセウ
カ

○松隈政府委員 左様デゴザイマシテ、其
ノ點ハ先程申上ゲマシタヤウニ、六大都市、
密集地域ニ付キマシテハ三百戸程度ト致シ
タノデアリマス、此ノ一店舗當リノ配給戸
數ヲ定メマシタ標準ハ、大體兩方面カラ來
テ居ルノデアリマス、一ツハ配給ヲ受ケマ
スル、即チ酒ノ需要者ノ便宜ヲ考ヘマシテ、
三百戸ニ一軒位デアアルナラバ餘リ遠クマデ
買ヒニ行カナイデモ配給ヲ受ケ得ルデアラ
ウト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、
他ノ一面ハ、營業ヲ致シテ居リマス者ガ其
ノ程度ノ配給戸數ヲ受持チマスルナラバ、
最近多少配給ノ石數ハ減ラサレタノデアリ
マスルガ、ソレダケノ戸數ニ對スル配給ヲ受
持チマシタ場合ニ於テ、酒類配給ノ販賣差
益及ビ多クノ酒類小賣業者ハ或ル程度同時
ニ味噌醬油ヲ扱ツタリ、或ハ「マツチ」、罐詰
ノヤウナモノヲ賣ツテ居リマスルガ、ソレ
等ノ附隨業務ノ利益ヲ或ル程度見込ミマシ
テ、一年ノ所得トシテドウヤラヤツテ行ケ
ル程度ニハ致シタイ、斯ウ云フ所カラ來テ
居ルノデアリマシテ、六大都市密集地域ニ
於テ擔當戸數三百戸ヲ受持ト致シマスルト、
酒及ビ附隨商品ヲ合セテ年所得ハ千六百圓
乃至千七百圓位ノ所ニナル見込デアリマス

○有馬委員 整理ノ基準ガ酒屋一軒ニ當テ
テ戸數三百戸ト云フヤウナコトヲ聞イテ居
リマスガ、サウ云フ御方針針デゴザイマセウ
カ

○松隈政府委員 左様デゴザイマシテ、其
ノ點ハ先程申上ゲマシタヤウニ、六大都市、
密集地域ニ付キマシテハ三百戸程度ト致シ
タノデアリマス、此ノ一店舗當リノ配給戸
數ヲ定メマシタ標準ハ、大體兩方面カラ來
テ居ルノデアリマス、一ツハ配給ヲ受ケマ
スル、即チ酒ノ需要者ノ便宜ヲ考ヘマシテ、
三百戸ニ一軒位デアアルナラバ餘リ遠クマデ
買ヒニ行カナイデモ配給ヲ受ケ得ルデアラ
ウト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、
他ノ一面ハ、營業ヲ致シテ居リマス者ガ其
ノ程度ノ配給戸數ヲ受持チマスルナラバ、
最近多少配給ノ石數ハ減ラサレタノデアリ
マスルガ、ソレダケノ戸數ニ對スル配給ヲ受
持チマシタ場合ニ於テ、酒類配給ノ販賣差
益及ビ多クノ酒類小賣業者ハ或ル程度同時
ニ味噌醬油ヲ扱ツタリ、或ハ「マツチ」、罐詰
ノヤウナモノヲ賣ツテ居リマスルガ、ソレ
等ノ附隨業務ノ利益ヲ或ル程度見込ミマシ
テ、一年ノ所得トシテドウヤラヤツテ行ケ
ル程度ニハ致シタイ、斯ウ云フ所カラ來テ
居ルノデアリマシテ、六大都市密集地域ニ
於テ擔當戸數三百戸ヲ受持ト致シマスルト、
酒及ビ附隨商品ヲ合セテ年所得ハ千六百圓
乃至千七百圓位ノ所ニナル見込デアリマス

○有馬委員 整理ノ基準ガ酒屋一軒ニ當テ
テ戸數三百戸ト云フヤウナコトヲ聞イテ居
リマスガ、サウ云フ御方針針デゴザイマセウ
カ

○松隈政府委員 左様デゴザイマシテ、其
ノ點ハ先程申上ゲマシタヤウニ、六大都市、
密集地域ニ付キマシテハ三百戸程度ト致シ
タノデアリマス、此ノ一店舗當リノ配給戸
數ヲ定メマシタ標準ハ、大體兩方面カラ來
テ居ルノデアリマス、一ツハ配給ヲ受ケマ
スル、即チ酒ノ需要者ノ便宜ヲ考ヘマシテ、
三百戸ニ一軒位デアアルナラバ餘リ遠クマデ
買ヒニ行カナイデモ配給ヲ受ケ得ルデアラ
ウト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、
他ノ一面ハ、營業ヲ致シテ居リマス者ガ其
ノ程度ノ配給戸數ヲ受持チマスルナラバ、
最近多少配給ノ石數ハ減ラサレタノデアリ
マスルガ、ソレダケノ戸數ニ對スル配給ヲ受
持チマシタ場合ニ於テ、酒類配給ノ販賣差
益及ビ多クノ酒類小賣業者ハ或ル程度同時
ニ味噌醬油ヲ扱ツタリ、或ハ「マツチ」、罐詰
ノヤウナモノヲ賣ツテ居リマスルガ、ソレ
等ノ附隨業務ノ利益ヲ或ル程度見込ミマシ
テ、一年ノ所得トシテドウヤラヤツテ行ケ
ル程度ニハ致シタイ、斯ウ云フ所カラ來テ
居ルノデアリマシテ、六大都市密集地域ニ
於テ擔當戸數三百戸ヲ受持ト致シマスルト、
酒及ビ附隨商品ヲ合セテ年所得ハ千六百圓
乃至千七百圓位ノ所ニナル見込デアリマス

○有馬委員 整理ノ基準ガ酒屋一軒ニ當テ
テ戸數三百戸ト云フヤウナコトヲ聞イテ居
リマスガ、サウ云フ御方針針デゴザイマセウ
カ

○松隈政府委員 左様デゴザイマシテ、其
ノ點ハ先程申上ゲマシタヤウニ、六大都市、
密集地域ニ付キマシテハ三百戸程度ト致シ
タノデアリマス、此ノ一店舗當リノ配給戸
數ヲ定メマシタ標準ハ、大體兩方面カラ來
テ居ルノデアリマス、一ツハ配給ヲ受ケマ
スル、即チ酒ノ需要者ノ便宜ヲ考ヘマシテ、
三百戸ニ一軒位デアアルナラバ餘リ遠クマデ
買ヒニ行カナイデモ配給ヲ受ケ得ルデアラ
ウト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、
他ノ一面ハ、營業ヲ致シテ居リマス者ガ其
ノ程度ノ配給戸數ヲ受持チマスルナラバ、
最近多少配給ノ石數ハ減ラサレタノデアリ
マスルガ、ソレダケノ戸數ニ對スル配給ヲ受
持チマシタ場合ニ於テ、酒類配給ノ販賣差
益及ビ多クノ酒類小賣業者ハ或ル程度同時
ニ味噌醬油ヲ扱ツタリ、或ハ「マツチ」、罐詰
ノヤウナモノヲ賣ツテ居リマスルガ、ソレ
等ノ附隨業務ノ利益ヲ或ル程度見込ミマシ
テ、一年ノ所得トシテドウヤラヤツテ行ケ
ル程度ニハ致シタイ、斯ウ云フ所カラ來テ
居ルノデアリマシテ、六大都市密集地域ニ
於テ擔當戸數三百戸ヲ受持ト致シマスルト、
酒及ビ附隨商品ヲ合セテ年所得ハ千六百圓
乃至千七百圓位ノ所ニナル見込デアリマス

○有馬委員 整理ノ基準ガ酒屋一軒ニ當テ
テ戸數三百戸ト云フヤウナコトヲ聞イテ居
リマスガ、サウ云フ御方針針デゴザイマセウ
カ

○松隈政府委員 左様デゴザイマシテ、其
ノ點ハ先程申上ゲマシタヤウニ、六大都市、
密集地域ニ付キマシテハ三百戸程度ト致シ
タノデアリマス、此ノ一店舗當リノ配給戸
數ヲ定メマシタ標準ハ、大體兩方面カラ來
テ居ルノデアリマス、一ツハ配給ヲ受ケマ
スル、即チ酒ノ需要者ノ便宜ヲ考ヘマシテ、
三百戸ニ一軒位デアアルナラバ餘リ遠クマデ
買ヒニ行カナイデモ配給ヲ受ケ得ルデアラ
ウト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、
他ノ一面ハ、營業ヲ致シテ居リマス者ガ其
ノ程度ノ配給戸數ヲ受持チマスルナラバ、
最近多少配給ノ石數ハ減ラサレタノデアリ
マスルガ、ソレダケノ戸數ニ對スル配給ヲ受
持チマシタ場合ニ於テ、酒類配給ノ販賣差
益及ビ多クノ酒類小賣業者ハ或ル程度同時
ニ味噌醬油ヲ扱ツタリ、或ハ「マツチ」、罐詰
ノヤウナモノヲ賣ツテ居リマスルガ、ソレ
等ノ附隨業務ノ利益ヲ或ル程度見込ミマシ
テ、一年ノ所得トシテドウヤラヤツテ行ケ
ル程度ニハ致シタイ、斯ウ云フ所カラ來テ
居ルノデアリマシテ、六大都市密集地域ニ
於テ擔當戸數三百戸ヲ受持ト致シマスルト、
酒及ビ附隨商品ヲ合セテ年所得ハ千六百圓
乃至千七百圓位ノ所ニナル見込デアリマス

○有馬委員 整理ノ基準ガ酒屋一軒ニ當テ
テ戸數三百戸ト云フヤウナコトヲ聞イテ居
リマスガ、サウ云フ御方針針デゴザイマセウ
カ

ルカラ、其ノ程度ノ所得ガアリマスレバ食
ツテ行ケナイコトハナイ、サウスレバ酒ヲ
横流シシタリ、其ノ他不正ナ行爲ヲシナイ
デヤツテ行ケルダラウ、斯様ニ考ヘテ作ツ
タ標準デアリマス

○有馬委員 所ガ實情ニ於キマシテハ其ノ
程度デハナク相當矛盾シタ問題ガ起ツテ居
ルノデアリマス、三百戸ノ戸數ヲ基準トシ
テ一店舗ガ酒屋ヲ經營シテ居リマス場合ニ、
大體一箇月ノ差益ガ四十五圓程度ト云フ
ヤウナ話ヲ私ハ聞イテ居リマスガ、是デハ
到底店舗トシテヤツテ行ケル譯ガナイノ
デアリマシテ、如何ニ地方ト申シマシテ
モ今日ハ生計費モ相當上ツテ居リス、ソ
コデ現實ノ問題トシテハ利益ガ足りマセ
ヌ爲ニソカラ色々ナ横流シガ起ツテ居ル、
主税局長ノ話ニ依レバ、サウ云フ懸念ハナイ
ヤウデアリマスケレドモ、實際問題トシテハ全
ク違ツタ傾向ニ進ンデ居ルノデアリマス、
又モウ一ツノ問題ト致シマシテハ、三百戸
ヲ基準ト致シマシタ爲ニ三百戸以上ニナツ
タ場合、例ヘバ從來六百戸ヲ一軒ノ店舗ガ
相手ニシテ酒ヲ賣ツテ居ツタ場合ニ、今度
ノ整備令ガ出タ後ニ於キマシテハ、其處ニ
二軒ノ酒屋ガ出來ナケレバナナイコトニ
ナツテ居ルノデアリマス、是ハ單ニ理屈ダ
ケデハナク、現實ノ問題トシテ各地方ニ酒
屋ノ整理統合ニ依リマシテ三百戸ヲ基準ニ
シテ居リマス爲ニ、逆ニ整理統合デハナク
シテ酒屋ハ現實ニ於テ殖エテ居ルノデアリ
マス、是ハ整理ノ方針カラ言ツテモ正シク
矛盾シタ點デアアルト同様ニ、是ガ一般ノ小
賣業ニ與ヘテ居ル政治的ナ影響ト云フモノ
ハ寧ロ恐ルベキモノデアアルノデアリマス、
御承知ノ如ク小賣業者ハ身ヲ切ルヤウナ思

ヒヲシテ進ンデ轉廢業ヲ斷行シテ、時局產
業ニ挺身シテ居ル時デアリマス、ソレニモ
拘ラズ、單ニ酒屋ダケガ擁護サレテ、而モ
今度ノ整備令ニ依ツテ殖エテ行ク、是ハド
ウシテモ納得ノ出來ナイモノガアルノデア
リマシテ、整備令ガ政府、中央ニ於テ如何
ニ嚴重ニ指令サレマシテモ地方ニ於テ何ト
ナク進ミガ鈍イト云フコトニ付テハ色々ナ
理由モアリマセウガ、斯ウシタコトモ大キ
ナ支障ヲ來タスコトニナル譯デアリマスカラ、
中小商工業ノ整理統合ト、國家ノ重要産業
ニ勞力ヲ供出スベキ此ノ重大ナル使命ヲ持
ツテ居リマス整理統合ノ際ニ當リマシテハ、
大藏當局トシテハモウ少シ酒屋ノ一店舗當
リノ基準ト云フモノヲ、實情ニ副フベク改
メルベキデハナイカト存ジマスガ、其ノ點御
所見ヲ伺ヒタイト思ツテ居リマス

○松隈政府委員 一店舗當リ六大都市ノ密
集地域ニ於キマシテ三百戸ト定メマシタノ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、ソレニ依ル
酒類ノ配給及ビ附隨商品ノ賣上ゲニ依リマ
シテ、私共ガ大體千六百圓乃至千七百圓位
ノ年所得ヲ上ゲ得ル、隨ツテ適正經營規模
ト認メ、ソノ程度デアアルナラバ無理ヲシナ
イデ成立ツテ行ク、斯様ニ認メタノデアリマ
スルガ、只今ノ御話デハ月ニ四十五圓程度
ト云フコトデアリマスルノデ、其ノ點ハ大
分計算ノ根據ガ違フノデアリマス、是等ニ
付キマシテハ私共ノ方デモ一應資料ヲ持ツ
テ居リマスルカラ、申上ゲテ見マスルガ、
一店舗當リ三百戸ト致シマス、一箇年ノ
酒類ノ取扱ヒ石數ハ五十九石程度ニナルノ
デアリマス、其ノ程度ノ酒ヲ扱フト所得標
準率等カラ換算致シマス、年ニ九百五十
圓程ノ所得ニナルノデアリマス、其ノ外ニ

○松隈政府委員 一店舗當リ六大都市ノ密
集地域ニ於キマシテ三百戸ト定メマシタノ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、ソレニ依ル
酒類ノ配給及ビ附隨商品ノ賣上ゲニ依リマ
シテ、私共ガ大體千六百圓乃至千七百圓位
ノ年所得ヲ上ゲ得ル、隨ツテ適正經營規模
ト認メ、ソノ程度デアアルナラバ無理ヲシナ
イデ成立ツテ行ク、斯様ニ認メタノデアリマ
スルガ、只今ノ御話デハ月ニ四十五圓程度
ト云フコトデアリマスルノデ、其ノ點ハ大
分計算ノ根據ガ違フノデアリマス、是等ニ
付キマシテハ私共ノ方デモ一應資料ヲ持ツ
テ居リマスルカラ、申上ゲテ見マスルガ、
一店舗當リ三百戸ト致シマス、一箇年ノ
酒類ノ取扱ヒ石數ハ五十九石程度ニナルノ
デアリマス、其ノ程度ノ酒ヲ扱フト所得標
準率等カラ換算致シマス、年ニ九百五十
圓程ノ所得ニナルノデアリマス、其ノ外ニ

○松隈政府委員 一店舗當リ六大都市ノ密
集地域ニ於キマシテ三百戸ト定メマシタノ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、ソレニ依ル
酒類ノ配給及ビ附隨商品ノ賣上ゲニ依リマ
シテ、私共ガ大體千六百圓乃至千七百圓位
ノ年所得ヲ上ゲ得ル、隨ツテ適正經營規模
ト認メ、ソノ程度デアアルナラバ無理ヲシナ
イデ成立ツテ行ク、斯様ニ認メタノデアリマ
スルガ、只今ノ御話デハ月ニ四十五圓程度
ト云フコトデアリマスルノデ、其ノ點ハ大
分計算ノ根據ガ違フノデアリマス、是等ニ
付キマシテハ私共ノ方デモ一應資料ヲ持ツ
テ居リマスルカラ、申上ゲテ見マスルガ、
一店舗當リ三百戸ト致シマス、一箇年ノ
酒類ノ取扱ヒ石數ハ五十九石程度ニナルノ
デアリマス、其ノ程度ノ酒ヲ扱フト所得標
準率等カラ換算致シマス、年ニ九百五十
圓程ノ所得ニナルノデアリマス、其ノ外ニ

○松隈政府委員 一店舗當リ六大都市ノ密
集地域ニ於キマシテ三百戸ト定メマシタノ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、ソレニ依ル
酒類ノ配給及ビ附隨商品ノ賣上ゲニ依リマ
シテ、私共ガ大體千六百圓乃至千七百圓位
ノ年所得ヲ上ゲ得ル、隨ツテ適正經營規模
ト認メ、ソノ程度デアアルナラバ無理ヲシナ
イデ成立ツテ行ク、斯様ニ認メタノデアリマ
スルガ、只今ノ御話デハ月ニ四十五圓程度
ト云フコトデアリマスルノデ、其ノ點ハ大
分計算ノ根據ガ違フノデアリマス、是等ニ
付キマシテハ私共ノ方デモ一應資料ヲ持ツ
テ居リマスルカラ、申上ゲテ見マスルガ、
一店舗當リ三百戸ト致シマス、一箇年ノ
酒類ノ取扱ヒ石數ハ五十九石程度ニナルノ
デアリマス、其ノ程度ノ酒ヲ扱フト所得標
準率等カラ換算致シマス、年ニ九百五十
圓程ノ所得ニナルノデアリマス、其ノ外ニ

○松隈政府委員 一店舗當リ六大都市ノ密
集地域ニ於キマシテ三百戸ト定メマシタノ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、ソレニ依ル
酒類ノ配給及ビ附隨商品ノ賣上ゲニ依リマ
シテ、私共ガ大體千六百圓乃至千七百圓位
ノ年所得ヲ上ゲ得ル、隨ツテ適正經營規模
ト認メ、ソノ程度デアアルナラバ無理ヲシナ
イデ成立ツテ行ク、斯様ニ認メタノデアリマ
スルガ、只今ノ御話デハ月ニ四十五圓程度
ト云フコトデアリマスルノデ、其ノ點ハ大
分計算ノ根據ガ違フノデアリマス、是等ニ
付キマシテハ私共ノ方デモ一應資料ヲ持ツ
テ居リマスルカラ、申上ゲテ見マスルガ、
一店舗當リ三百戸ト致シマス、一箇年ノ
酒類ノ取扱ヒ石數ハ五十九石程度ニナルノ
デアリマス、其ノ程度ノ酒ヲ扱フト所得標
準率等カラ換算致シマス、年ニ九百五十
圓程ノ所得ニナルノデアリマス、其ノ外ニ

○松隈政府委員 一店舗當リ六大都市ノ密
集地域ニ於キマシテ三百戸ト定メマシタノ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、ソレニ依ル
酒類ノ配給及ビ附隨商品ノ賣上ゲニ依リマ
シテ、私共ガ大體千六百圓乃至千七百圓位
ノ年所得ヲ上ゲ得ル、隨ツテ適正經營規模
ト認メ、ソノ程度デアアルナラバ無理ヲシナ
イデ成立ツテ行ク、斯様ニ認メタノデアリマ
スルガ、只今ノ御話デハ月ニ四十五圓程度
ト云フコトデアリマスルノデ、其ノ點ハ大
分計算ノ根據ガ違フノデアリマス、是等ニ
付キマシテハ私共ノ方デモ一應資料ヲ持ツ
テ居リマスルカラ、申上ゲテ見マスルガ、
一店舗當リ三百戸ト致シマス、一箇年ノ
酒類ノ取扱ヒ石數ハ五十九石程度ニナルノ
デアリマス、其ノ程度ノ酒ヲ扱フト所得標
準率等カラ換算致シマス、年ニ九百五十
圓程ノ所得ニナルノデアリマス、其ノ外ニ

○松隈政府委員 一店舗當リ六大都市ノ密
集地域ニ於キマシテ三百戸ト定メマシタノ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、ソレニ依ル
酒類ノ配給及ビ附隨商品ノ賣上ゲニ依リマ
シテ、私共ガ大體千六百圓乃至千七百圓位
ノ年所得ヲ上ゲ得ル、隨ツテ適正經營規模
ト認メ、ソノ程度デアアルナラバ無理ヲシナ
イデ成立ツテ行ク、斯様ニ認メタノデアリマ
スルガ、只今ノ御話デハ月ニ四十五圓程度
ト云フコトデアリマスルノデ、其ノ點ハ大
分計算ノ根據ガ違フノデアリマス、是等ニ
付キマシテハ私共ノ方デモ一應資料ヲ持ツ
テ居リマスルカラ、申上ゲテ見マスルガ、
一店舗當リ三百戸ト致シマス、一箇年ノ
酒類ノ取扱ヒ石數ハ五十九石程度ニナルノ
デアリマス、其ノ程度ノ酒ヲ扱フト所得標
準率等カラ換算致シマス、年ニ九百五十
圓程ノ所得ニナルノデアリマス、其ノ外ニ

○松隈政府委員 一店舗當リ六大都市ノ密
集地域ニ於キマシテ三百戸ト定メマシタノ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、ソレニ依ル
酒類ノ配給及ビ附隨商品ノ賣上ゲニ依リマ
シテ、私共ガ大體千六百圓乃至千七百圓位
ノ年所得ヲ上ゲ得ル、隨ツテ適正經營規模
ト認メ、ソノ程度デアアルナラバ無理ヲシナ
イデ成立ツテ行ク、斯様ニ認メタノデアリマ
スルガ、只今ノ御話デハ月ニ四十五圓程度
ト云フコトデアリマスルノデ、其ノ點ハ大
分計算ノ根據ガ違フノデアリマス、是等ニ
付キマシテハ私共ノ方デモ一應資料ヲ持ツ
テ居リマスルカラ、申上ゲテ見マスルガ、
一店舗當リ三百戸ト致シマス、一箇年ノ
酒類ノ取扱ヒ石數ハ五十九石程度ニナルノ
デアリマス、其ノ程度ノ酒ヲ扱フト所得標
準率等カラ換算致シマス、年ニ九百五十
圓程ノ所得ニナルノデアリマス、其ノ外ニ

○松隈政府委員 一店舗當リ六大都市ノ密
集地域ニ於キマシテ三百戸ト定メマシタノ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、ソレニ依ル
酒類ノ配給及ビ附隨商品ノ賣上ゲニ依リマ
シテ、私共ガ大體千六百圓乃至千七百圓位
ノ年所得ヲ上ゲ得ル、隨ツテ適正經營規模
ト認メ、ソノ程度デアアルナラバ無理ヲシナ
イデ成立ツテ行ク、斯様ニ認メタノデアリマ
スルガ、只今ノ御話デハ月ニ四十五圓程度
ト云フコトデアリマスルノデ、其ノ點ハ大
分計算ノ根據ガ違フノデアリマス、是等ニ
付キマシテハ私共ノ方デモ一應資料ヲ持ツ
テ居リマスルカラ、申上ゲテ見マスルガ、
一店舗當リ三百戸ト致シマス、一箇年ノ
酒類ノ取扱ヒ石數ハ五十九石程度ニナルノ
デアリマス、其ノ程度ノ酒ヲ扱フト所得標
準率等カラ換算致シマス、年ニ九百五十
圓程ノ所得ニナルノデアリマス、其ノ外ニ

○松隈政府委員 一店舗當リ六大都市ノ密
集地域ニ於キマシテ三百戸ト定メマシタノ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、ソレニ依ル
酒類ノ配給及ビ附隨商品ノ賣上ゲニ依リマ
シテ、私共ガ大體千六百圓乃至千七百圓位
ノ年所得ヲ上ゲ得ル、隨ツテ適正經營規模
ト認メ、ソノ程度デアアルナラバ無理ヲシナ
イデ成立ツテ行ク、斯様ニ認メタノデアリマ
スルガ、只今ノ御話デハ月ニ四十五圓程度
ト云フコトデアリマスルノデ、其ノ點ハ大
分計算ノ根據ガ違フノデアリマス、是等ニ
付キマシテハ私共ノ方デモ一應資料ヲ持ツ
テ居リマスルカラ、申上ゲテ見マスルガ、
一店舗當リ三百戸ト致シマス、一箇年ノ
酒類ノ取扱ヒ石數ハ五十九石程度ニナルノ
デアリマス、其ノ程度ノ酒ヲ扱フト所得標
準率等カラ換算致シマス、年ニ九百五十
圓程ノ所得ニナルノデアリマス、其ノ外ニ

○松隈政府委員 一店舗當リ六大都市ノ密
集地域ニ於キマシテ三百戸ト定メマシタノ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、ソレニ依ル
酒類ノ配給及ビ附隨商品ノ賣上ゲニ依リマ
シテ、私共ガ大體千六百圓乃至千七百圓位
ノ年所得ヲ上ゲ得ル、隨ツテ適正經營規模
ト認メ、ソノ程度デアアルナラバ無理ヲシナ
イデ成立ツテ行ク、斯様ニ認メタノデアリマ
スルガ、只今ノ御話デハ月ニ四十五圓程度
ト云フコトデアリマスルノデ、其ノ點ハ大
分計算ノ根據ガ違フノデアリマス、是等ニ
付キマシテハ私共ノ方デモ一應資料ヲ持ツ
テ居リマスルカラ、申上ゲテ見マスルガ、
一店舗當リ三百戸ト致シマス、一箇年ノ
酒類ノ取扱ヒ石數ハ五十九石程度ニナルノ
デアリマス、其ノ程度ノ酒ヲ扱フト所得標
準率等カラ換算致シマス、年ニ九百五十
圓程ノ所得ニナルノデアリマス、其ノ外ニ

○松隈政府委員 一店舗當リ六大都市ノ密
集地域ニ於キマシテ三百戸ト定メマシタノ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、ソレニ依ル
酒類ノ配給及ビ附隨商品ノ賣上ゲニ依リマ
シテ、私共ガ大體千六百圓乃至千七百圓位
ノ年所得ヲ上ゲ得ル、隨ツテ適正經營規模
ト認メ、ソノ程度デアアルナラバ無理ヲシナ
イデ成立ツテ行ク、斯様ニ認メタノデアリマ
スルガ、只今ノ御話デハ月ニ四十五圓程度
ト云フコトデアリマスルノデ、其ノ點ハ大
分計算ノ根據ガ違フノデアリマス、是等ニ
付キマシテハ私共ノ方デモ一應資料ヲ持ツ
テ居リマスルカラ、申上ゲテ見マスルガ、
一店舗當リ三百戸ト致シマス、一箇年ノ
酒類ノ取扱ヒ石數ハ五十九石程度ニナルノ
デアリマス、其ノ程度ノ酒ヲ扱フト所得標
準率等カラ換算致シマス、年ニ九百五十
圓程ノ所得ニナルノデアリマス、其ノ外ニ

○松隈政府委員 一店舗當リ六大都市ノ密
集地域ニ於キマシテ三百戸ト定メマシタノ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、ソレニ依ル
酒類ノ配給及ビ附隨商品ノ賣上ゲニ依リマ
シテ、私共ガ大體千六百圓乃至千七百圓位
ノ年所得ヲ上ゲ得ル、隨ツテ適正經營規模
ト認メ、ソノ程度デアアルナラバ無理ヲシナ
イデ成立ツテ行ク、斯様ニ認メタノデアリマ
スルガ、只今ノ御話デハ月ニ四十五圓程度
ト云フコトデアリマスルノデ、其ノ點ハ大
分計算ノ根據ガ違フノデアリマス、是等ニ
付キマシテハ私共ノ方デモ一應資料ヲ持ツ
テ居リマスルカラ、申上ゲテ見マスルガ、
一店舗當リ三百戸ト致シマス、一箇年ノ
酒類ノ取扱ヒ石數ハ五十九石程度ニナルノ
デアリマス、其ノ程度ノ酒ヲ扱フト所得標
準率等カラ換算致シマス、年ニ九百五十
圓程ノ所得ニナルノデアリマス、其ノ外ニ

○松隈政府委員 一店舗當リ六大都市ノ密
集地域ニ於キマシテ三百戸ト定メマシタノ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、ソレニ依ル
酒類ノ配給及ビ附隨商品ノ賣上ゲニ依リマ
シテ、私共ガ大體千六百圓乃至千七百圓位
ノ年所得ヲ上ゲ得ル、隨ツテ適正經營規模
ト認メ、ソノ程度デアアルナラバ無理ヲシナ
イデ成立ツテ行ク、斯様ニ認メタノデアリマ
スルガ、只今ノ御話デハ月ニ四十五圓程度
ト云フコトデアリマスルノデ、其ノ點ハ大
分計算ノ根據ガ違フノデアリマス、是等ニ
付キマシテハ私共ノ方デモ一應資料ヲ持ツ
テ居リマスルカラ、申上ゲテ見マスルガ、
一店舗當リ三百戸ト致シマス、一箇年ノ
酒類ノ取扱ヒ石數ハ五十九石程度ニナルノ
デアリマス、其ノ程度ノ酒ヲ扱フト所得標
準率等カラ換算致シマス、年ニ九百五十
圓程ノ所得ニナルノデアリマス、其ノ外ニ

味噌醬油ヲ經營シテ居ルモノガ通例デアリマスノデ、其ノ方ノ所得ヲ五百圓程見込ミマシテ、ソレカラ先刻申上ガマシタ罐詰トカ「マッテ」ト云フヤウナ雜品ノ賣上ガヲ百九十圓位見込ムト、大體先程申上ガタヤウナ程度ニ參ルノデアリマス、之ニ付テハ或ハ意見ノ相違ト云フヤウナコトニナルカモ知レマセヌガ、私共ノ考ヘ方ハ只今申上ガタヤウナ次第デアリマスルカラ、御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ是ハ一應中央立テマシタ標準デアリマシテ、何デモソレニ依ツテ強行スルト云フ趣旨デハナイノデアリマシテ、各地域々々ニ於キマシテ、其ノ地域ノ實情ヲ見マシテ或ル程度擔當戶數ガ多クデモソレデ濟シ居ルト云フヤウナ所ハ、強ヒテ増サヌデモ宜シイヤウナ次第デアリマス、唯東京市内ニ於ケル其ノ實例デ申上ガマスルト、先ニ申上ガマシタ昨年四月ノ閣議ノ前ニ於キマシテ、一時假整備ヲ斷行致シマシテ共同配給所ト云フモノヲ定メタノデアリマスガ、其ノ共同配給所ノ定メ方ガ數ガ非常ニ少カツタノデ、市内ニ於テ相當議論ヲ捲キ起シマシタ、而モ其ノ場合ニ於テハ店ヲ廢メマシタ者ノ轉職先等ニ付テノ連絡モマダ十分付イテ居ラナイ爲ニ、共同配給所ニ當ツタ店ハ宜イノデアリマスガ、サウデナイ店ハ共同配給所ニ勤人ノ形デ出テ居ルト云フヤウナコトニナリマシテ、店ノ數ハ減ツテシマツテ、而モ共同配給所ニ出テ居ツタノデハ、生活モ十分出來ナイト云フヤウナコトカラ、是ハ少シ行キ過ギデハナイカ、斯ウ云フヤウナ點モアリマシテ、東京市内等デハ共同配給所ノ數カラ見レバ、今度ノ整備案ハ數ガ少シ増シテ居リマス、ソレハ前ノ案ガ少シ行

キ過ギデアツタヤウニ思ハレルノデ斯ウ云フヤウニ數ガ増スノモ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、他ノ地域ニ於キマシテハ必ズシモ數ヲ増スト云フコトヲ標準ニヤツタノデハナイノデアリマスノデ、其ノ點御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○有馬委員 私ハ唯酒屋ガ儲カルトカ儲カラナイトカ云フコトハ第二義的ノ問題トシテ、全面的ニ中小工業ヲ整備シテ居ル際ニ、如何ナル御理由ガアルニシテモ此ノ際酒屋ダケガ數ガ殖エルト云フコトハ、一般ニ及ボス影響ガ極メテ重大デアルカラ、其ノ點ハ更ニ御考ヘ直シヲ御願ヒ致シマシテ、何等カ普通一般ニ行ハレテ居リマス整理統合ノ進ミ方ト同ジヤウニ、大藏當局ニ於テ步調ヲ合ハシテ行クベキデハナイカト思フノデアリマス、續イテ此ノ際醸造業者ノ整備問題ニ付テ御伺ヒ致シタイノデアリマス、今日進メテ居リマス整備ハ小賣酒屋ノ整備デアリマスガ、今後ノ酒ノ情勢ヲ先程來主稅局長カラ承ツテ居リマス、造石高ハ益、減ツテ行クヤウナ傾向ニアルノデアリマス、全國ニ於ケル醸造業者ハ是ガ爲ニ相當ナ減石ヲサレマシテ、生産力モ十分ニ發揮スルコトガ出來ナイヤウナ實狀ニアルノデアリマスケレドモ、將來此ノ醸造業者ニ對シテモ整理統合ヲ御進メニナルノデアリマスカドウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○松隈政府委員 酒類ノ中ニ於キマシテモ清酒ト他ノ酒類、殊ニ果實酒、雜酒等デハ大分趣ガ違ツテ居ルノデアリマスガ、今日最モ代表的ナ酒精飲料ハ清酒デアリマスノデ、此ノ清酒ノコトガ問題ニナルト思フノデアリマス、清酒ノ原料デアリマス米ガ消費ノ規正ニ依リマシテ段々窮屈ニナツテ參リマスル結果、清酒ノ釀造高ノ連年減ツテ居リマスルコトハ御説ノ通りデアリマス、隨ヒマシテ小釀造家等ニ至リマシテハ、段段ニ經費高ニモナツテ參リ、此ノ儘デハ維持經營ガ困難デアルト云フ所カラ、中ニハ自發的ニ整理合同ヲスルト云フヤウナ機運ニモ大分向ツテ來テ居ルヤウデアリマス、從來大藏省ノ方針ト致シマシテハ、積極的ニ整理統合ノ命令ヲ發スルト云フ所マデハ行ツテ居リマセヌガ、業者ノ間ニ整理統合ノ基準ガアリマシレバ、ソレヲ出來ルダケ助長、援助致シマシテ整理スルコトニ致シテ參ツテ居ルノデアリマス、併シ最近ノ情勢ヲ以テシマス、益、釀造高モ減ツテ參リマスルシ、又一方物資關係カラ申シマシテモ戰力增強ノ爲ニモ出來ルダケ物資ノ利用ヲ有效適切ナラシメル必要ガアリマスノデ、若シ酒釀造業者ノ整理統合ニ依ツテ遊休設備ガ出來テ、其ノ遊休設備ヲ他ノ有效ナ産業ニ轉用スルコトガ出來マシレバ、洵ニ結構ナ次第デアリマスノデ、今後ハ釀造業者ノ生産條件ヲ有利ナラシメル立場ト、又一面國家的ニ見テ物資ヲ最モ必要ナ方面ニ重點的ニ使フト云フ此ノ兩方面カラ整理案ト云フモノヲ立テテ參ル必要ガアルト思ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ案ヲ立テテ實行出來マシレバ爲ニハ法制上ニ於テモ其ノ體制ヲ整備スル必要ガアルノデアリマスルノデ、今回酒造稅法中改正法律案ニ於キマシテモ政府ノ統制命令、又之ヲ受ケマスル酒造業者ノ團體ノ統制ニ關シマシテノ規定等ニ付キマシテモ從來餘程面目ヲ一新シマシタ規定ヲ置イテ居リマスノデ、業者ノ方ノ計畫、ソレカラ政府ノ方ノ指導ト相俟

ツテ、御説ノヤウニ何等カノ具體案ヲ得ルヤウニ致シタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○有馬委員 酒ニ付テハ分リマシタガ、酒ノ種類ノ中デ「ビール」製造業、就中大企業ニ依ル「ビール」製造業ニ付テハハリ同様ト解シテ宜シウゴザイマスカ

○松隈政府委員 「ビール」ニ付キマシテハ原料ノ方面ニ於キマシテハ最近ニ於テ左程減ツテ居ラナイノデアリマスガ、是ハ石炭ノ關係カラ致シマシテ此ノ一年ハ前年ニ比ベテハ二割程度減ルダラウト思ツテ居リマス、此ノ程度デアリマスナラバ工場ヲ非常ニ集約スルト云フ所マデハ行カヌデ宜イト思フノデアリマスルガ、今後ノ石炭情勢等トモ睨合ハセマシテ或ル程度減ラスト云フコトニナリマスレバ、現在ノ工場ノ操業率ト云フモノハ非常ニ落チテ參リマスカラ、其ノ場合ニ於テハ工場ノ整理統合ヲ行フト云フコトモ考ヘラレルカト思ツテ居リマス

○有馬委員 最後ニ一點御伺ヒタイノデアリマスガ、入場稅ノ問題デアリマス、關聯シタ問題デアリマスガ、入場稅ノ徵收並ニ入場稅ノ實施ニ當リマシテ、所謂「ニュー」映畫ト云フモノニ對シテハ如何ナル御取扱ヲサレテ居ルノデアリマセウカ

○松隈政府委員 入場稅ノ課稅ニ當リマシテハ「ニュー」映畫ノヤウナ報道ヲ目的トスル映畫ト、其ノ他ノ娛樂ヲ目的トスル映畫トヲ區別シテ課稅スルト云フコトモ考ヘラレルノデアリマスルガ、之ヲ實際問題トシテ區別スルコトガ困難デアリマスノデ、現在ノ所ト致シマシテハ、免稅點モ金額決メテ、一人一回十九錢ト云フコトニ致シテ居リマス、隨テ「ニュー」ノ映寫シマシテ十九錢ニモナラスト云フヤウナ

所デアレバ、課税ニナラナイノデアリマス

ガ、ソレハ大體田舎デアラウト思フノデアリマス、都會デアレバ「ニュース」ノミ映寫シマシテモ、先ヅ税込ミ二十錢位ノ入場料ニハナツテ居ルカト思フノデアリマス、ソレ等ノ點ヲ考慮ニ入レマシテ、今回入場税ノ税率ノ引上ニ當リマシテハ、一人一回五十錢未滿ノモノハ從來モ百分ノ二十デアリマスガ、今回税率ヲ百分ノ二十ニ據置クコトニ致シマシタ、隨テ「ニュース」映畫ガ主トナツテ居ルヤウナ場合ニ於キマシテハ、課税ヲ受ケタト致シテモ、今回ノ増税ハ先ヅ受ケテ居ラスト認メラレルノデ、ニュース映畫等ニ付テ或ル程度ノ考慮ガ拂ハレテ居ルモノト御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○有馬委員 私ガ御尋ネスル趣旨ハ、今日「ニュース」映畫並ニ之ニ準ズル文化映畫デ

アルトカ或ハ戰爭其ノ他ノ記録映畫トカ云フモノハ、モウ單ニ娛樂デハナクテ、國民ノ思想戰上絕對ニ必要ナモノデアルト思フノデアリマス、隨テ各鎮山ニ或ハ工場、農村ニ於キマシテモ、全國至ル所ノ勞務者ガ、高能率ヲ以テ増産ニ挺身シテ居ル際デアリマスカラ、此ノ人達ニ先程モ酒ノ増配ト云フ話ガアリマシタガ、ソレモ勿論必要デアリマス、或ハ食糧ヲ確保スルコトモ必要デアルト思ヒマス、又精神的ノ訓練ヲスルコトモ決シテ私ハ反對デハアリマセヌケレドモ、百萬言ノ訓示ヲスルヨリモ、例ヘテ言フナラバ「マレー戰記」ヲ一遍見セル方ガ遙カニ時局認識ヲ強ク體得セシメ得ルノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於テ私ハドウシテモ「ニュース」映畫又ハ之ニ準ズル映畫ヲ以テ、國民ノ時局認識ヲ涵養スルト云フコトガ、一番必要ナコトデハナイカト

思フノデアリマス

ソレニ付キマシテモ今日マデ動トモスレバ活動寫眞ガ娛樂デアルト云フ風ナ觀點カラ、色々ノ政策ノ上ニ於テ是ガ取扱ハレテ居ツタノデハナイカト思フノデアリマス、徵税上色々ナ不便ハ私ハアルト思ヒマスケレドモ「ニュース」並ニ之ニ準ズル記録映畫ノ如キモノハ、是ハ全ク國策デアリマシテ、モツト強ク言ヘバ是ハ思想戰上絕對ニ必要ナ超國策デアリマスカラ、租税對策上ニ於テモ何等カサウ云フ意味ニ於テ、御考慮ガ拂ハレナイモノカト云フコトヲ御尋ネシタイノデアリマス

○松隈政府委員 只今御述ベニナリマシタ趣旨ハ同感ナノデアリマスガ、ソレ等ノ點モ考慮ニ入レマシテ、一人一回五十錢未滿ノ入場料ノ支拂ノ場合ニ於キマシテハ、健全娛樂トゾモ申シマスガ、同ジ娛樂ニシテモ増税ヲ此ノ際負擔セシメルノハ如何カト

思ハレルノデ、政府モサウ云フ風ニ取扱ツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點御諒承ヲ得タイノデアリマスガ、ソレ以上ノ金額ヲ拂フト云フコトニナリマス、或ル程度負擔力ガアルノデアリマスカラ、此ノ際トシテハ増税モ已ムヲ得ナイカト思フノデアリマス、尙ホ一人一回五十錢未滿ノモノハ税ヲ據置クト致シマス、映畫觀覽者總人員ノ八割マデハ、今回ノ増税ヲ受ケナイト云フコトニナリマス、有馬委員ノ御述ベニナツタ趣旨モ或ル程度達セラレテ居ルノデハナイカト思ヒマス

○中島(彌)委員 議事進行ニ付テ此ノ際：
○松村委員長 中島君
○中島(彌)委員 濁酒政策ハ農村問題ニ於テモ大問題デアリマスルカラ、農林大臣ニモ來テ戴イテ、此ノ問題ハ此ノ議會ヲ通ジテ解決シタイト思フノデス、局長ノ御答辯ハ全ク結構デアリマシタケレドモ、政治的ニ考ヘマシテ、戰時ノ國民思想ヲ動カシテ行ク上ニモ非常ニ問題ガ大キイノデスカラ、其ノ積リデ委員長御取計ラヒヲ願ヒマス
○松村委員長 承知致シマシタ、尙ホ小野君カラ昨日以來ノ質疑ニ關聯シテ、極メテ簡單ニ政府カラ配付サレタ公債發行ノ表ニ付キマシテ補足致シタイト云フノデアリマスガ、簡單ナラバ此ノ際質疑ヲ許シマス
○小野(義)委員 委員各位ニ洵ニ相濟ミマセスガ、二、三分時間ヲ御許シ願ヒマス、先程河野委員カラ最近五箇年間ニ於ケル公債發行額及ビ消化ノ狀況ヲ表ヲ頂戴シマシテ一寸思ヒ出シタノデアリマスガ本會議ニ於ケル速記録ヲ引用致シマテ大藏大臣トノ質問應答、ソレヲ掘下ゲタイ、オ喋リヲシテ居リマス内ニ、第二ノ公債發行ノ方法ノ轉換ト云フコトニ付テ申漏レマシタカラ、此ノ際補ツテ置キタイノデアリマス、速記録ニ追加ヲ願ヘバ結構デアリマス
○松村委員長 大臣ニハ必要ハナイノデアリマス
○小野(義)委員 必要アリマセス——、私ガ本議場デ伺ツタ時ニハ大變ニ自分ノ意見ト距離ガアツタヤウデアリマシタノデ速記録ヲ拜見スルト、サウデハナイ、要點ハ資金ノ蓄積ニアリ、蓄積如何ニ依ツテハ君ノ言フヤウナ公募ノ方法ニ出ルコトモアル、或ハ又現在ノ特別發行ニ依ルコトモアル、マア當

分ノ所デハ現在ノ發行方法デ宜シイト云フコトデアリマシタカラ、根本的ニ對立シタ意見デハナイ、謂ハバ緩急前後ノ差デアアル、斯ウ了解致シタノデアリマス、是ダケデアリマス
○松村委員長 本日ハ是ヲ以テ終了致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シタイト存ジマス、尙ホ此ノ際特ニ御願ヒ致シタイコトハ委員ノ各位、殊ニ質疑ノ御通告ヲナサツテ居リマス方々ハ木村君、小野秀一君、正木君、田中君、原口君、藤本君、一松君、尙ホ古河君ガ殘ツテ居リマス、明日ハマダ未定デアリマスガ、出來ルダケ大藏大臣其ノ他政府委員ノ出席ヲ求メマシテ質疑ヲ進メタイト思ヒマス、特ニ大藏大臣ノ出席ヲ求メマシタ際ハ、集中シテ質疑ヲ致シタイト思ヒマス、就キマシテハ委員各位、殊ニ質疑ノ通告ヲナサツテ居ラレル各位ハ成ベク一ツ遲滞ナク御出席下サランコトヲ此ノ際特ニ御願ヒシテ置キマス、本日は是ヲ以テ散會致シマス
午後四時十四分散會